

ムトス飯田まちづくり 活動報告集



第30回ムトス飯田賞
南信州獅子舞フェスティバル実行委員会



第30回ムトス飯田賞
長野県飯田OIDE長姫高等学校
高校戦隊テックレンジャー



第30回ムトス飯田賞 特別賞
地域ぐるみ環境ISO研究会



第30回ムトス飯田賞 特別賞
NPO法人 南信州おひさま進歩



平成26年度
ムトス飯田推進委員会

「ムトス」という言葉は、広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は、昭和57年3月に市が作成した「10万都市構想」において、理想とする都市像の実現に向けての行動理念・合言葉として「ムトス」を使用しました。

飯田市自治基本条例（平成19年4月1日施行）にも、まちづくりに進んで参加するムトスの精神について謳われております。「ムトス」を地域づくりの合言葉にして、私たち一人ひとりの心の中にある「地域を愛する想い、自分ができることからやってみよう」とする自発的な意志や意欲、具体的な行動をあらわし、住みよいまちづくりをめざしています。

ムトス飯田表彰事業は、「ムトス飯田の精神を広めるために役立ててください」という一市民の寄付が契機となり、昭和60年度に創設されました。以来、「ムトスの精神」が際立ち、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰してきました。この賞には、受賞者のムトスの活動をたたえ励ます気持ちと、受賞者の生き生きとした活動の姿が、私たち一人ひとりの秘めているムトスを呼び起こし、市民活動が発展していくことへの「期待」が込められています。ムトス飯田賞は、創設から今回の第30回までに、64団体と2個人に授与され表彰されております。

ムトス助成事業は、平成3年度からふるさと創生の1億円を基金として、公益的な地域づくり活動を支援するために、独創的で波及効果のある地域づくりの活動に対して助成事業を開始しました。毎年、団体・個人からの助成金申請に対して、会長（飯田市長）と各分野で活動する市民でつくる「ムトス飯田推進委員会」が審査し、ムトスの精神にふさわしい団体等に助成をしています。昨年度までに384の団体・個人の活動を支援してきました。

飯田市のまちづくりは、多様な主体の協働により、団体や個人、NPO・NGO、各地区のまちづくり委員会などに支えられています。社会経済状況が好転に向かう兆しが見え隠れする昨今、市民協働においても益々の広がりが期待されています。市民を軸に、多様な主体が地域で連携して取り組む「結い」が、今後の飯田市のまちづくりには大変重要と思います。

ムトス飯田推進委員会では、市民の皆様の活動状況を広く情報提供して、今後のまちづくりや協働の参考にしていただくよう、ムトス飯田に関係する団体等を中心にしたまとめた「活動報告集」を毎年発行しています。新たな繋がりや構築や連携、地域づくり活動の一助としていただければ幸いです。

この活動報告集を作成するにあたり、情報提供をいただきましたムトス飯田助成団体、歴代ムトス飯田賞受賞団体、まちづくり委員会等及びNPO法人の皆様のほか、ご協力いただきました方々に、深く感謝を申し上げます。

皆様のご活躍と、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

平成27年2月

ムトス飯田推進委員会

— 目 次 —

I 第30回 ムトス飯田賞受賞団体のご紹介	ページ
・ 南信州獅子舞フェスティバル実行委員会	1
・ 長野県飯田OIDE長姫高等学校 高校戦隊テックレンジャー	2
・ 地域ぐるみ環境ISO研究会 <特別賞>	3
・ NPO法人 南信州おひさま進歩 <特別賞>	4
II 平成26年度 ムトス飯田助成事業 助成団体活動報告	ページ
まちづくり・地域づくり応援事業	
・ 上郷地域まちづくり委員会	5
・ Life & Dream Project	7
・ パンタロン	9
・ 立石高齢者クラブ	11
・ 中郷自治会	13
・ 国際ポムリエ協会	15
・ 天龍峡観光開発整備推進協議会	17
・ 麻績の里振興委員会	19
・ 感環自然村	21
・ 千栄小を考える会	23
・ 龍江地域づくり委員会	25
・ 松尾地区まちづくり委員会	27
・ 天龍峡この指とまれ 食プロジェクト	29
・ 郷土料理を考える会	31
・ 羽場まちづくり委員会	33
・ いいださんぼ会	35
・ 橋南まちづくり委員会	37
・ りんご並木iプロジェクト実行委員会	39
・ South-Heart (南心)	41
・ 冒険遊び場プロジェクトinいいだ	43
・ 遠山郷観光協会	45
・ NPO法人川路グリーンカルチャー	47
・ あぐりネット南信州	***
多様な主体が連携する協働活動	
・ 羽場まちづくり委員会	49
・ 丸山まちづくり委員会	51
・ 橋北面白倶楽部	53
・ NPO法人南信州おひさま進歩	55
・ 一般社団法人南信州ここに+春日二八会+天龍峡この指とまれ	57
・ 橋南まちづくり委員会	59
・ 東野まちづくり会議	61
・ 看取りの文化研究所+NPO法人飯田ボランティア協会	63

Ⅲ 市民活動団体のご紹介（情報提供いただいた団体）

1 ムトス飯田賞 受賞団体（受賞年度順）			ページ
・飯田東中学校	昭和60年度	第1回受賞	65
・NPO法人 大平宿をのこす会	昭和60年度	第1回受賞	66
・猿庫の泉保存会	昭和61年度	第2回受賞	67
・伊那史学会	平成元年度	第5回受賞	68
・飯田文化協会	平成3年度	第7回受賞	69
・飯田市民吹奏楽団	平成8年度	第12回受賞	70
・飯田少年少女合唱団	平成9年度	第13回受賞	71
・飯田市連合婦人会	平成11年度	第15回受賞	72
・上飯田夕市グループ	平成12年度	第16回受賞	73
・飯田観光ガイドの会	平成12年度	第16回受賞	74
・朗読奉仕の会「声の輪」	平成13年度	第17回受賞	75
・飯田子ども劇場	平成13年度	第17回受賞	76
・黒田人形保存会	平成14年度	第18回受賞	77
・飯田交響楽団	平成15年度	第19回受賞	78
・科学工作教室推進研究会	平成16年度	第20回受賞	79
・下栗里の会	平成17年度	第21回受賞	80
・木沢地区活性化推進協議会	平成17年度	第21回受賞	81
・秋葉街道を愛する会	平成20年度	第24回受賞	82
・杵原学校応援団	平成20年度	第24回受賞	83
・おもしろ科学工房	平成21年度	第25回受賞	84
・麻績の里振興委員会	平成21年度	第25回受賞	85
・遠山山の会	平成22年度	第26回受賞	86
・社会医療法人栗山会 飯田病院	平成22年度	第26回受賞	87
・北方古老に聞く会	平成23年度	第27回受賞	88
・NPO法人 飯田ボランティア協会	平成23年度	第27回受賞	89
・みんなの家 むくむく	平成24年度	第28回受賞	90
・南信州竹宵の会	平成24年度	第28回受賞	91
・大宮通り桜保存会	平成25年度	第29回受賞	92
2 ムトス飯田助成事業 平成24、25年度の助成団体			ページ
・かざこし体操クラブ			93
・梅ヶ久保自然愛護会			94
・長野原地域づくり委員会 公民館長野原分館			95
・上久堅観光協会			96
・日本伝統芸能継承実行委員会			97
・竜丘児童自由画保存顕彰委員会			98
・キッズ山本大作戦推進委員会			99
・橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト			100
・米川会			101
・花依			102
・龍江天龍峡桜街道さくら並木愛護会			103
・野底山森林公園もみじ祭り実行委員会			104
・龍江公民館（龍江の歌、龍江かるた）			105 (2P)
・薪人			107

3 まちづくり委員会等	ページ
・ 橋北まちづくり委員会	108
・ 橋南まちづくり委員会	109
・ 羽場まちづくり委員会	110
・ 丸山まちづくり委員会	111
・ 東野まちづくり会議	112
・ 座光寺地域自治会	113
・ 松尾地区まちづくり委員会	114
・ 下久堅地区まちづくり委員会	115
・ 上久堅地区まちづくり委員会	116
・ 千代地区まちづくり委員会	117
・ 龍江地域づくり委員会	118
・ 竜丘地域自治会	119
・ 川路まちづくり委員会	120
・ 三穂まちづくり委員会	121
・ 山本地域づくり委員会	122
・ 伊賀良まちづくり協議会	123
・ 鼎地区まちづくり委員会	124
・ 上郷地域まちづくり委員会	125
・ 上村まちづくり委員会	126
・ 南信濃まちづくり委員会	127

4 特定非営利活動法人（NPO法人）	ページ
・ よつば	128
・ くらりnet	129
・ あやめ	130
・ 中国帰国者等のための介護・福祉の会ニイハオ	131
・ みんなの手	132
・ 南信州おひさま進歩	133
・ 飯伊学生防犯対策支援協会	134
・ 七和の会	135
・ ラブリーズ	136
・ 環境わくわく体験スクール	137
・ ケアアンドキュア	138
・ 日和向晴会	139

南信州獅子舞フェスティバル実行委員会

～ 伝統を継承し華やかな演舞で賑わいを ～

飯田下伊那地方に保存伝承されている獅子舞は、全国的にも珍しい屋台獅子をはじめ約70～80ほどあると言われ、多様な伝統文化を象徴しているが、後継者不足や保存会休会など、存続が難しい状況も見受けられる。昭和63年に鼎地区で始まった「鼎獅子祭り」が第20回を迎えたとき「南信州の獅子舞が一堂に会する賑やかな祭典をしよう」という思いから「南信州獅子舞フェスティバル」がスタートし、昨年で第7回を数える。

子供たちと一緒に獅子舞をする保存会も増え、地域の絆や関わりも深まり、後継者育成や社会教育推進のほか、地域活性化にも貢献している。

開催日を毎年10月第3日曜日に設定することで、秋の南信州に迫力と楽しみが増幅し、数万人の観光客を呼び込む起爆剤となり、文化継承のみならず地元の産業経済に好循環を生み出した。

「獅子ガール」登場でフェスティバルは賑わいを増し、勇壮な舞は今後も華麗なる躍動を続ける。

◆代表者 戸崎 敬

◆発 足 平成20年度

◆会 員 50名（実行委員会）



長野県飯田OIDE長姫高等学校 高校戦隊テックレンジャー

～ ヒーロー大活躍！専門性を活かし地域活動に貢献 ～

2010年、飯田工業高校コンピューター制御部で発足。

OIDEの精神を胸に、統合後も継続して活動している。授業で学んだ専門知識や工作技術を活かして、マスクやベルト、衣装や武器、小道具、を自作している。

台本やショーの構成も生徒のオリジナル。実験講座では、地球資源を狙う侵略者と戦って放射能攻撃に屈しないヒーローを演じる。防犯協会のカレンダーポスターに採用され、公民館やまちづくり委員会等の催事にも多数出演し、市民に親しまれるヒーローは多方面に「出動」し大活躍している。園児向けの交通安全ショーでは、「高校戦隊テックレンジャーZ」が交通事故で失われる魂をエネルギーにする怪人を撃退する。

飯田市ポイ捨て等防止市民条例の施行後、自ら啓発活動しようを奮起し、今年もプラカードを掲げてアップロード周辺を行進。道路清掃活動にも取り組む高校生勇士の取り組みは、多くの共感をもたらす。

感動や夢、希望、元気を届けるテックレンジャーに、未来の地域づくりの輝きを感じる。

◆代表者 コンピューター制御部 部長 山崎洸平

◆発 足 平成22年度

◆部 員 9名



地域ぐるみ環境 ISO 研究会

～ P D C A サイクル普及、市民の環境意識向上に貢献 ～

飯田下伊那の6事業所による「地域ぐるみでISOへ挑戦しよう研究会」から改名し、取り組みを拡大し続けて17年。「地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境改善の地域文化を創造する」を理念に掲げ、枠を超えた幅広い活動を展開し、率先して環境負荷低減と環境ISOに取り組んでいる。

会員の従業員や職員に対する意識啓発は地域や家庭にまで広がり、温室効果ガス削減および環境モデル都市推進の原動力となっている。また、CO2削減推進プロジェクト「いいこすいいだプロジェクト」や、年2～3回実施している家庭や職場を対象とした省エネ「一斉行動週間」が徐々に効果を上げており、まさに地域ぐるみの環境改善活動が功を奏している。

事業所のISO14001認証取得の支援と並び、中小・個人事業所向けの地域独自EMS「南信州いいむす21」は既に60事業所が認定取得している。研究会内では、各事業所の省エネ推進のために「省エネ診断」を新規に実施するなど、協働や連携がたゆまない。

環境意識の向上に貢献度が高く、地域を越えた波及的効果が認められる。

◆代表者 萩本範文（多摩川精機株式会社 副会長） ◆発足 平成9年度 ◆会員31事業所



NPO 法人 南信州おひさま進歩

～ 一步、二歩、さんぽ、そして未来へ環境教育を推進 ～

平成16年、廃食用油から軽油代替燃料を製造する実験プラントを稼働したり、市民共同発電「おひさま発電所第1号」を明星保育園に設置して環境自治体会議いいだ会議を盛り上げたり、先駆的な活動が注目を集めた。飯田市が選定された環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業(平成のまほろば事業)」では、温暖化対策の理念理想を掲げ、エネルギー会社発足の母体となった。当法人は温室効果ガス排出削減など環境教育の第一人者であり、独自キャラクター「さんぽちゃん」とパネルシアターを駆使して、保育園や公民館を訪問し子供たちの環境マインドを刺激する取り組みを展開中。ビニールハウスへの木質バイオマス熱エネルギー供給サービス事業、小規模発電を利用した地域認証グリーン電力実証実験事業、自然エネルギー起業セミナーなど実施して普及啓発をしている。

竹宵まつり百万人のキャンドルナイト、薪人、南信州自然エネルギー普及協議会などの事務局も務め、まさしく「おひさま」と「もり」がはぐくむ低炭素な環境モデル都市を創造すべく、ひたむきに前進している。「みんなの環境学習講座」は地区公民館と連携して企画、市民活動も定着している。

南信州・飯田市が自然エネルギーと環境教育の郷となるよう、未来に向かい着実に歩み続ける。

◆代表者 松江良夫

◆発 足 平成15年度

◆会 員 41名



取組名称	上郷地域基本構想・基本計画策定
団体名	上郷地域まちづくり委員会
代表者氏名	会長 山田雅士
地区名	上郷

取組みの目的

地域を取り巻く状況として、高齢化に加え社会構造の変化、コミュニティの希薄化など環境が大きく変わっています。現在、上郷地域の組合加入率は約6割となっており、役員の成り手不足が顕著化しています。将来を見据えて、住民協働による自主自立と少子高齢社会に対応する地域づくりが急がれます。

また、2027年開業を目指すリニア中央新幹線建設が具体化され、上郷飯沼に駅が設置されることになりました。上郷地域も今まで経験のしたことがない劇的な変革期を迎えることになります。

このような時代の変化と課題に対処するため、リニア時代を見据えた、住民主体の地域づくりを進める上での指針となる基本構想・基本計画を策定します。

具体的内容

◆計画期間◆ 2014～2023

◆目指す将来像◆
**「地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした
 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦」**

6つの郷づくり

- 1 地域全体の結束力と住民自治の組織力向上の郷づくり
- 2 活気に満ちた健康づくりの郷づくり
- 3 地域で育み地域で支え合う福祉の郷づくり
- 4 組織的な災害対応と安心安全で快適な郷づくり
- 5 リニア時代を見据えた郷づくり
- 6 地域を支える人づくりと文化を尊ぶ郷づくり

具体的な施策

現状分析と課題
↓
目的と目標
↓
具体的な方針
(重点事業設定)

土地利用計画

進行管理 …… 「基本構想・基本計画推進会議」の設置
 まちづくり各委員会・各種団体へ提言→事業計画・予算編成→目指す将来像の実現



説明

住民説明会



説明

基本構想・基本計画冊子

取組の経過	<p>平成24年8月に上郷地域まちづくり委員会の特別委員会(まちづくり委員会+各種団体)である、基本構想策定委員会を組織し具体的な検討に入りました。</p> <p>住民アンケートを実施し、目指す将来像、基本理念及び6つの郷づくり(柱)を決定いたしました。</p> <p>平成25年度に入り、6つの柱毎に部会(住民自治・健康・福祉・住環境・リニア・人づくり)を設置し検討を重ね、住民説明会を開催し意見を聴取し、其々の郷づくり(柱)毎に施策を決定し具体的な方針を定めました。役員会で原案を確定し、平成26年度の総会にて承認をいただきました。</p> <p>今年度の7月に、印刷した概要版を全世帯に、本編を役員等に配布いたしました。</p>
取組の効果	<p>リニア時代を見据えた住民主体の地域づくりの指針が定まったことにより、この構想・計画に基づき、まちづくり委員会や各種団体は事業を推進することになります。</p> <p>また、役員の任期満了による地域づくりの継続性の課題の解決にも繋がります。</p>
今後の取組	<p>この構想・計画は上郷地域の目指す将来像の実現に向けて、10年間(2014年度から2023年度)の取組指針を示したものです。</p> <p>なお5年間で前期とし、リニア計画の進捗状況などにより、適宜見直しを行い時代に見合ったものにします。</p> <p>この構想・計画を基本として、上郷地域の将来像実現のためにPDCAサイクルで事業改善を繰り返し、毎年まちづくり委員会各委員会は事業計画を立案し、予算を執行していきます。特にリーディング事業(重点事業)に位置付けたものについては、重点的に予算配分を行います。</p> <p>また、各種団体等もこの構想を念頭におき、其々の団体等の目的と役割を認識し事業等を実行していきます。</p> <p>進行管理のために「基本構想・基本計画推進会議」(特別委員会)を設置をしました。その構成員にまちづくり委員会の監事を充て、会計監査だけでなく事業監査も実施します。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		680,400
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷製本費	680,400

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	～心豊かに生きるために～Life & Dream Project（女性のための講座）
団体名	Life & Dream Project
代表者氏名	久保田 かおり
地区名	飯田市内

取組みの目的

子育て・仕事・家事・妻として、いくつもの役割をこなす女性の中には、悩みや苦しみを抱え、一人で抱え込んでしまっている人や生きることが難しいと思っている人がいます。そんな人たちに「あなたはこのままでいい、自分を責めるのではなく、自分に優しく生きていいんだ」と感じてもらえるような時間と場所を提供することを目的としています。

具体的内容

例えば、乳幼児を持つ母親については、子育て支援が充実してきています。集いの広場、乳幼児学級、乳幼児サークルなど、気軽に集い、話ができる居場所があります。しかし、そのほかの女性にとって、そんな居場所がどれほどあるのか…。もちろん趣味の集まり、友達との集まりは多少あるかもしれませんが。しかしホントは悩み苦しんでいる、そのことを一人で抱えている女性が多いはずで。教育相談室、女性の悩み相談、若者サポート事業…。いろいろな行政の取り組みがあることは知っています。しかし、私たちが求めているものは一人の専門家でも、相談相手でもありません。悩みは子供のことばかりでもありません。私たちは、みんなと思いを共有することのできる安心できる居場所、集える居場所を提供しています。



説明 涙言セラピー



説明 北原 昇氏



説明 菓匠Shimizu 夢ケーキ 清水慎一氏



説明 オルゴールの響きを体感

取組の経過	<p>5月19日 ブログ立ち上げ</p> <p>第1回 *日時:6月16日(月) 18:30～ 長野県内初「涙活」 講師:なみだ先生(感涙療法士 吉田英史) ★涙活 ★涙言セラピー ★心に響く朗読をお届け</p> <p>第2回 *日時:9月29日(月) 18:30～ 自分らしく「夢」を描くこと 講師:菓匠Shimizu 夢ケーキ 清水慎一氏 ★清水さんのお話 ★心に響く朗読や動画をお届け</p> <p>第3回 *日時:1月19日(月) 18:30～ 「こころとからだの癒し」 講師:北原 昇氏 ★オルゴールと心のお話やコンサート ★オルゴールの音色にのせた朗読 ★オルゴールの響きの体感</p> <p>第4回 *日時:3月9日(月) 18:30～ 家族と幸せに生きる癒し話 講師:ヨガ整体教室 小嶋紀子氏</p>
取組の効果	<p>これまで誰にも相談できずに抱え込んでいた悩みを打ち明ける入口となり、解決へのきっかけとなっています。</p> <p>行政の取り組みがあることは知っています。しかし、私たちが求めているものは一人の専門家でも、相談相手でもありません。悩みは子供のことばかりでもありません。みんなと思いを共有することのできる安心できる居場所、集える居場所がほしいと思っています。だからこそ私たちはこの取り組みを行っています。いきなり凄いのをしようとは思っていません。ゆっくり進んで行こうと思います。そして、このような場所、機会がより多くなってくれることを期待しています。</p>
今後の取組	<p>今回の取り組みでは、私たち自身が一番勉強になっているかもしれません。自分たちでイベントなんてできるのか不安で・・・しかし、これも良い経験だと思っています。イベントを成功させることは大切です。しかしそこまでのプロセスが一番大切だということを教えてもらえました。このことがその次のイベントや別の取り組みへの経験となっていくことを実感しています。</p> <p>ただのママたちの集まりでも1つのイベントができるということもまた事実・・・私たちの姿がほかの人たちを勇気づけ、元気に、前向きになってもらえればと思います。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		190,000
うち助成金(見込み)		45,000
主な経費内訳 (上位3項目)	講師謝礼	98,000
	映像上映用ディスプレイ	25,980
	会場使用料	20,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	青空パンタロン(遊休農地を利用した農作業体験による出会いの場を創出)
団体名	パンタロン
代表者氏名	田口 満雄
地区名	飯田市全域(農場は上久堅)

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「愉しむこと」を前提とした農作業体験イベントを通じて、参加者に承認欲求の充足や自己実現、達成感、また恋人や結婚相手を得てもらい、来年度以降も継続的に参加してもらえるファン層の獲得を目指す。 ・1組以上のカップル成立を目指す。 ・そば粉を使った海外の家庭料理(フランス:ガレット、ロシア:カーシャ)を現場で調理提供することにより生産物への興味と愛着を持ってもらう。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の勧誘と飲食店・美容院へのフライヤー配布、インターネット上での告知により、当地域在住の独身男女30名程を募集し、申し込み者から参加費(飲食代等)を徴収した上で農作業体験に参加してもらう。 ・7月に種まき、9月に刈取り、10月に脱穀・唐箕、11月に試食会の計4回開催する。作業終了後には懇親会を設け、参加者相互の親睦を図る。 ・作業時の昼食にそば粉を使った食事を提供し、作業に親しみを感じてもらう。 ・収穫したそば粉は製粉し試食会にて参加者と一緒に調理をして食べ、その際に告白タイム的なものを設けて、カップルの成立を促す。 ・余ったそば粉は参加者や地主へ一定量還元し、それ以外のものはフードイベント等や商品開発に使用し、今後の活動の資源に充てる。



説明

草刈の様子



説明

乗用トラクターにて耕す



説明

種まきの様子



説明

作業終了後BBQ懇親会

取組の経過	<p>07月11日: イベントの説明会 いろはにほへと飯田駅前店にて</p> <p>07月19日: 種まき 参加者6名 上久堅農場にて</p> <p>08月09日: 認知度向上のため、アップルタウンイベント出店 知久町4丁目</p> <p>09月13日: 刈取りの予定であったが生育不順のため延期</p> <p>10月18日: 脱穀/唐箕予定であったが生育不順のため延期</p> <p>10月25日: 刈取り開催 参加者1名+京都より体験希望1家族 上久堅農場にて</p> <p>11月01日: 脱穀/唐箕開催 参加者2名 上久堅農場にて</p> <p>11月29日: 試食会開催 参加者3名 ネバーランドにて</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント告知、当団体の認知不足から見込んでいた人数の1/5程度しか参加者を集められなかった。 ・結婚相談所や生命保険会社から提出されるアンケート等においては、恋人ないし結婚相手が欲しいという感覚がないようで婚活イベント自体のニーズが低いことが判明した。 ・参加者の撒いた種に対する愛着や責任感が見込んでいたより稀薄で、継続的に作業に参加しようという意欲がなく、イベントへの継続参加も得られなかった。 ・お盆の長雨や天候不順により生育状況が悪く、当初の予定通り農作業が行えずスケジュール管理が非常に厳しくなった。 ・参加者がゼロのケースがないことから単発的であったり紹介や直接の勧誘であれば、体験したいというニーズはあることがわかった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・動向等をよく鑑みて、ニーズをしっかりと掴んでいきたい。 ・今年度の取り組みで今後に向けての改善点が把握できたので、遊休農地の活用方法と絡めてなにかができるのがしっかり検討していきたい。 ・また、継続してイベント等に参加することで当団体を認知してもらい、スムーズなイベント運営につなげていきたい。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	266,516
	うち助成金(見込み)	210,000
主な経費内訳 (上位3項目)	テント購入・ロゴマーク印刷	119,716
	フライヤー印刷	64,800
	キャンピングカーレンタル	22,000
	飲食代(見込み)	60,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ゲートボール場の休憩所の建設
団体名	飯田市立石地区高齢者クラブ
代表者名	久保田英輔
地区名	飯田市立石

取組みの目的
 本会は健康で生きがいのある生活のために、スポーツ活動を推進している。今回、昨年2月の豪雪により、倒壊したゲートボール場の休憩所を再建、年間をつうじて継続すると共に、会員相互の親睦を図る契機としたい

具体的内容
 倒壊した休憩所は先輩会員の資材提供と出工により建設した施設であった。倒壊時には会員の高齢化などにより再建は困難との意見もあったが、健康であるためにはスポーツ活動の継続は重要であり、施設の再建は会員の総意で決定した。休憩所の再建は立石地区内の業者の指導を仰ぎながら会員の出工で行うこととしている。また、この取り組みを周知して会員の獲得を計りながら、地区内外の他団体交流拠点として活動する



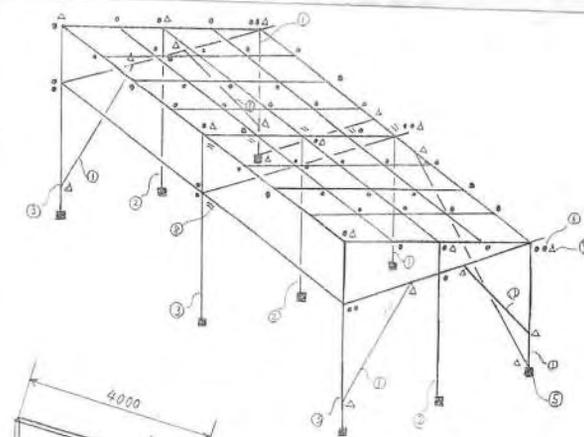
北伊豆木との交流試合の一コマ no 1



立石クラブの活動の一コマ



北伊豆木との交流試合の一コマ no 2



休憩所の設計単管骨組み

取組の経過	<p>毎週土曜日を定例練習日とする。4月からの実施実績 4/19・4/26・5/3・5/11・5/18・5/25・5/31・6/8 ・6/21・6/25・7/5・7/15・7/13・7/20・7/27・8/3・8 /9・8/23・8/30・9/6・9/13・9/21・928・ 10/10・10/21 これ以後は立石柿の収穫作業…および出荷作業のため s ばらく お休み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/13午前中は高齢者クラブ全員によるスポーツデーとして4チーム総当たりで試合を実施し、その後会場を移動し、昼食をとり、会食をする ・9/10は三穂北伊豆木地区ゲートボールクラブと練習試合を実施し、懇親をする。 <p>本題の<u>ゲートボール場休継所の建設</u>は1月7日現在建設予定業者の都合により、未実施である。 20</p>
取組の効果	<p>三穂地区は農業が盛んで高齢者もその作業の中心となって活躍している。 農業は自然との共存であるが、ややもすれば他の人や地域との関係が疎遠となる場合もあり、高齢者クラブではこのような状況を苦慮している</p> <p>施設の再建をクラブ活動活性化の起爆剤として「健康づくり・生きがづくり」を推進していきたい。また、この施設を健康づくりの拠点として位置付け、他団体の利用にも開放することにより地域間の交流を図り、地区内外に高齢者クラブの活動を展開していくことが出来る。</p>
今後の取組	<p>高齢者クラブへの新規加入が少なく、実際に活動の中心となって活躍できる人材が不足している。施設の整備によってクラブの活動を周知することにより会員獲得の一助とする。</p> <p>また施設はゲートボールの利用に限定せず、屋外での健康教室の開催や、世代間交流、他団体との運動交流などへの利活用により、多様な主体と連携して地域づくりの一翼を担って行く。</p>

○ 取組経費（単位：円）

事業費総額（見込み）		269,266
うち助成金（見込み）		131,000
主な経費内訳 （上位3項目）	単管他	143,320
	単管他材料運搬費	10,000
	建屋組立	96,000

取組名称	流宮岩(ながれみやのいわ)を活用した地域づくり
団体名	中郷自治会
代表者氏名	自治会長 熊谷 栄三郎
地区名	飯田市上村

取組みの目的	中郷地区は、国道152号の沿線に位置しているにもかかわらず「素通りの中郷」といわれ、観光客が通過してしまっている。昨年より飯田美術博物館の坂本先生に依頼し、観光資源の発掘に取り組んできた結果、国道沿いある巨石が約2億年前の地層のかけらであると発見できた。非常に価値のある岩石であるため、この岩を活かした地域づくりに取り組み地域に元気を取り戻すことを目的に事業を実施した。
--------	---

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○巨石周辺の整備 ○パンフレットの作成 ○パネルの作成
-------	---



説明 完成写真 上町方面から



説明 完成写真 程野方面から



説明 住民による岩の苔落とし作業



説明 住民による岩周辺整備作業

取組の経過	<p>4月24日 飯田市美術博物館 坂本先生講演会 5月10日 中郷自治会評議員会にて事業実施について決定 7月27日 流宮岩苔落とし作業 9月14日 流岩周辺整備作業 9月26日 看板整備 10月 パンフレット印刷 11月 パネル作成 (隣接喫茶かみ等に展示)</p>
取組の効果	<p>南アルプスが本年6月にユネスコエコパークに登録され、また伊那市で全国ジオパーク大会が開催されるなど遠山郷地域の新たな魅力が発信された年であり、全国ジオパークの見学コースにも選ばれ情報発信をすることが出来た。 さらにこの流宮岩は国道152号の沿線に位置するため目立ち、車をとめて見学するにも条件が良いことから、見学する人も数多く見受けられた。素通りの中郷と言われたが汚名を晴らすことが出来た。</p>
今後の取組	<p>中郷地区でも、飲食店・木工センター・地区の交流施設などが集まっている場所であることから、花桃を周辺に植えるなどさらなるイメージアップを図り、滞在時間を増やす取り組みを行いたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	319,580
	うち助成金(見込み)	221,000
主な経費内訳 (上位3項目)	岩周辺整備事業	103,580
	パンフレット印刷	151,200
	パネル作成	64,800

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ポムリエ活動推進事業
団体名	国際ポムリエ協会
代表者氏名	理事長 後藤高一
地区名	

取組みの目的	<p>市民に向けて、リンゴの消費促進及びシードル等飲料の認知向上を図る。さらに、農業者、製造業者、流通業者、販売店、観光業者等と協働し、地域活性化に効果的なシードル等飲料の流通方法を研究し、販売実践に結びつける。</p> <p>このため、以下の事業を実施する。</p> <p>(1) 流通モデル研究事業 (2) 消費促進・地域活性化事業 (3) 人材育成事業(平成26年度ムトス助成金対象外) (4) 協会の体制強化事業(ムトス助成金対象外)</p>
具体的内容	<p>(1) 平成27年度の委託醸造品製造を短期目標として、飯田市内のリンゴ生産者、流通業者、販売店、観光業者、研究機関などの異業種が連携し、地域活性化に有効な流通販売方法を研究。事例研究、先進地視察、意見交換会を実施する。(2) 飯田りんごん、南信州酒メッセに出展し、市民へ既存のリンゴ文化の再認識及びシードル等飲料の認知向上を図る。さらに、市内製菓職人を講師に、りんご並木を有する中心市街地で、リンゴを使ったスイーツ教室を実施。家庭におけるリンゴ(青果)の消費を促進するとともに、製菓業者と連携し新商品開発を目指す。収穫期の9月から11月の間に3回、りんご並木のエコハウスを会場に、1回あたり15名の参加者を募集する。いずれの企画においても、ポムリエは共通のユニフォームを着用し、リンゴ文化を基盤としたまちおこしを発信する。(3)ポムリエ養成講座及び初級認定試験の実施。</p>



説明 10月11日アオモリシードル講演



説明 10月18日スイーツレッスン



説明 10月22日飯綱町視察



説明 11月3日酒メッセ出展

取組の経過	<p>(1) 流通モデル研究会:研究会参加 18名(内訳 飲食店2名、酒飯店4名、製造業2名、観光2名、農業4名、研究機関1名、NPO及び行政3名)。 平成26年9月24日「芋焼酎「伊那八峰」に学ぶブランドづくりと異業種間連携」伊那八峰の会 会長池上明氏(講義)／10月1日「シードル流通に欠かせない酒税法の知識とワイン特区」松本税務署酒税指導官 清水太氏(講義)／10月11日「アオモリシードルに学ぶブランディングと共創戦略」JA東日本青森商業開発 営業部次長兼A-FACTORYキャプテン平岡和也氏(講義)／10月15日シードル流通モデルをデザインしようⅠ(ワークショップ)／10月22日〈先進地視察〉リンゴとシードルを活用したまちおこし(飯綱町(株)サンクゼール本社 池田健二郎氏、三浦秀一氏による生産現場見学及び講義、小布施町 財団法人小布施町振興公社 視察)／10月29日シードル流通モデルをデザインしようⅡ(ワークショップ)</p> <p>(2) 消費促進・地域活性化事業: 飯田りんご 企画運営担当ポムリエ6名、事務局1名／南信州酒メッセ 企画運営担当ポムリエ5名、事務局1名／女子ポムリエプロデュース リンゴのまちのパティシエから学ぶ シードルと一緒に楽しむりんごのスイーツレッスン、9月27日 田月 城田茂氏、10月18日HOTA PASTRY 鈴木正太氏、11月15日 ノエル 宮沢忠氏、参加者延べ38名、講師3名、企画運営担当ポムリエ3名</p> <p>(3) 人材育成事業:2015年養成講座 受講申込者 38名(定員35名)全6回講座、初級試験</p>
取組の効果	<p>(1) 研究会に参加した異業種が連携し、飯田市産原料を使用したシードルの流通販売モデルが構築された平成27年度に販売開始予定。</p> <p>(2) 催事出展では、シードルの認知度が低く、その知名度向上に寄与した。シードルを飲んだ顧客から「美味しい」、「シードルが出来るのを待っていた」などの感想が得られ、潜在的な市場があることがわかった。スイーツ教室では、家庭でできる、又、手作りだからこそできるリンゴの製菓を学習。調理して食したいと考える消費者層があることが明らかになった。いずれも、共通のユニフォームを身につけ活動することにより、りんご文化を基盤としたまちおこしを実践するポムリエの活動をPRできた。</p> <p>(3) リンゴ文化の振興、シードル等飲料の認知度向上、リンゴに関わる市民の交流促進。</p>
今後の取組	<p>(1) 飯田市産原料を使用したシードルの流通販売モデルの実践。その他、流通モデル研究会のワークショップで得られたアイデアの事業化を検討する。</p> <p>(2) 製菓から、リンゴを使った料理の講習会へステップアップする。製菓や料理など加工や調理を目的とするクッキングアップルの需要開発を進める。</p> <p>(1)及び(2)より、長期的に、品種の選定や省力新しい化栽培という生産面の技術開発につなげる。</p> <p>(3) 養成講座を継続し、リンゴ文化の振興、シードル等飲料の認知度向上、リンゴに関わる人材を育成する。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	1,371,868円
	うち助成金(見込み)	300,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	ポムリエ ユニフォーム制作	226,011円
	視察バス借上料	108,260円
	講師謝礼(合計)	95,000円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	名勝指定80周年記念事業天龍峡秋の彩展
団体名	天龍峡観光開発整備推進協議会
代表者氏名	会長 西尾久仁男
地区名	川路・龍江

取組みの目的	<p>～天龍峡観光の活性化を図る～</p> <p>三遠南信自動車道・リニア中央新幹線の開通を見据え、将来的には天龍峡へ観光客を誘導するきっかけとなるよう天龍峡の歴史と文化を掘り起こし、他の各種イベントと合わせて内外に発信することにより知名度を上げるとともに、地区住民には、天龍峡が地域の宝(名勝指定＝重要文化財)であるとの認識を深めて貰うことにより天龍峡観光の活性化につなげたい。地区住民の自主的な取組を促して連携を深め、一体感を共有できる活動に結びつけたい。</p>
--------	--

具体的内容	<p>①天龍峡十勝磨崖原字展と安藤耕斎展 十勝磨崖原字3点(仙牀磐、芙蓉峯、龍角峯)の展示と富岡鉄斎の弟子で、名勝指定にも貢献した川路出身の南画家安藤耕斎展(36点)を開催し、歴史と文化を広める。</p> <p>②天龍峡の焼き物展(地区内17店舗) 篆刻を施した独特の伝統工芸文化である天龍峡焼とこれを引き継いだ地元の焼き物を展示。</p> <p>③ドーム菊を中心に花木で地区内を彩ってもてなす。 ・天竜川右岸再生道路東法面にドーム菊80本を植栽し、笑顔の人面を演出。 ・ドーム菊鉢植え100鉢を天龍峡周辺の公共施設に配置。 ・旧中村陶苑店舗において菊花鉢植えと3本仕立大菊展・盆栽展を開催。</p>
-------	---



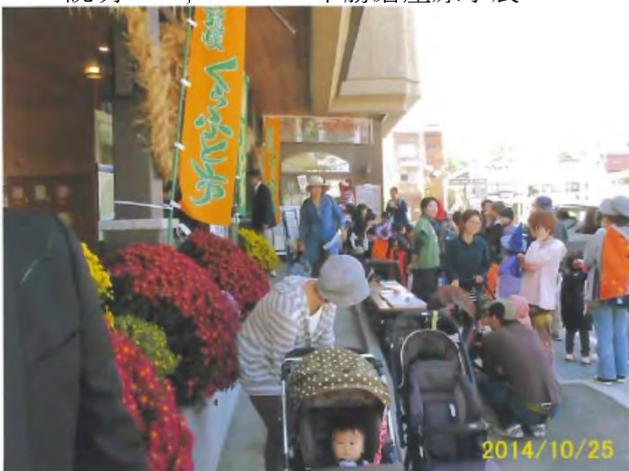
説明

十勝磨崖原字展



説明

安藤耕斎展



説明

秋の彩展ドーム菊鉢植とクラフト市



説明

天龍峡の焼き物展

取組の経過	<p>4/24 事業打ち合わせ全体会(以後10/24までに4回) 5/14 再生道路法面ドーム菊管理作業(以後8/30までに4回の除草・施肥・消毒) 9/3 安藤耕斎展実行委員会(以後10/26までに3回) 10/11 鉢植えドーム菊配置始める(以後10/18・23・24の3回) 11/1～20 天龍峡秋の彩展開催 11/20 事業のまとめ・反省</p>
取組の効果	<p>①天龍峡十勝磨崖原字展と安藤耕斎展 昨年開催した「天龍峡十勝命名日下部鳴鶴展」における原字の展示は龍角峯1点のみであったが、この展示により他の2点の原字の所在が確認される効果を生み、今回3点を展示するに至ったもので、これをきっかけにさらに新たに原字の所在が明らかになることが期待される。 安藤耕斎は地元川路出身で、南面の巨匠富岡鉄斎の唯一の弟子ともいわれ、伊那谷南画界の先駆者として県内外で活躍した。今回の展示は、川路・龍江両地区の32名から協力を得て合計36点を展示することが出来た。鑑賞者は約180名を数えた。安藤耕斎は、明治41年に行われた日本新聞主催全国避暑地選抜で天龍峡の第3位入選に多大の貢献をした。また、皇族閑院宮家に「信濃天龍峡図」を献上しており、今回の展示により地区内外に改めて天龍峡にとって欠かすことのできない財産として、その作品が天龍峡の価値を一層高めていることを示すことが出来た。</p> <p>②天龍峡の焼き物展 昨年に続いて開催した事業であるが、今年は幟旗を新調して各店舗に掲示したことにより、訪客の目を引き関心を強める効果をもたらした。</p> <p>③天龍峡秋の彩展 鉢植えドーム菊の配置を昨年より20鉢増やして100鉢にしたことで昨年にも増して一層彩りを深め、再生道路法面の人面模様と相まって文字どおり華やかな雰囲気を出した。水やり・除草等の管理活動にもより多くの地区民の参加があり、一体感が強まった。菊花鉢植え・盆栽展は、菊花鉢植えと大菊3本仕立ての追加展示をして秘境駅ツアー客などのおもてなしをし、来年以降の空き店舗有効活用への展望を広げる可能性を見出すことができた。</p>
今後の取組	<p>本年度の事業は、昨年の「天龍峡十勝磨崖完成130周年記念事業」の趣旨を踏まえた上で継続発展させたもので、いずれの事業でも地元民や観光客に好評を博した。この内容と成果を検証し、地区民が一体となって目指している天龍峡観光の活性化に結びつく事業を、さらに充実させるよう取組を進めたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		457,866
うち助成金(見込み)		219,000
主な経費内訳 (上位3項目)	ドーム菊装飾	129,616
	備品整備費	107,350
	チラシ・ポスター代	73,440
	その他	147,460

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月14日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	麻績の里おもてなし事業
団体名	麻績の里振興委員会
代表者氏名	今村 衛
地区名	座光寺

取組みの目的	<p>麻績の里の活性化を目指す！そのために、来年開催される元善光寺御開帳を契機として地域の魅力を再発見、再認識できる取り組みを多くの団体と連携して展開する。</p> <p>併せて、現在休止している伝統の菊人形展の復活に向けて、小学生とPTA及び地域の参加を得て「菊」の里づくり文化に取り組んで行く。</p>
具体的内容	<p>○座光寺おもてなしマップの作成をし全家庭へ配布する(単年度)。また、小学生のふるさと学習へ利用していく。(合計10,000部)</p> <p>○元善光寺参道(周辺)にて花(春はパンジー、秋はドーム菊)のおもてなしを行う。</p> <p>○地域の伝統である菊人形展が休止の中「ドーム菊」の普及に努める。また、地域住民にも呼び掛け育ててもらい、住民参加の意識を高め、菊の里づくりに取り組む。</p> <p>○H26.9開設の座光寺ホームページに座光寺おもてなしマップ等をアップし地域内外へ発信</p> <p>○関東座光寺会、渋谷区との交流を活かし、マップを活用した県外観光客の誘致を実施</p> <p>○座光寺小学校の児童に家族とともにドーム菊を育てて頂き、菊の文化づくりに取り組む。</p>



説明 7/16 座光寺小学校へ菊の配布



説明 座光寺おもてなしマップ



説明 11/2・3渋谷くみん祭でのマップPR



説明 門前町 菊飾り

取組の経過	<p>○座光寺おもてなしマップの制作・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/20～10/20 商工会と協力の元、座光寺地域の魅(味)力を満載したマップを検討・作成 ・10/20～11月 マップを活用し、飯田観光協会の観光宣伝キャラバン隊が地域をPR(全国) ・11月 座光寺ホームページにおもてなしマップをアップ 全国へ発信 ・11月 パンフレット配布(座光寺全戸、座光寺小学校、ふるさと座光寺会、観光協会等) ・11/2～3日 渋谷くみん祭にてマップを配布し地域をPR ・11/20～22日 渋谷竹垣交流、関東座光寺会でマップを配布し地域をPR <p>○菊の里づくりへの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/20～10/25 麻績の里振興委員会でドーム菊の栽培・育成を行った。 ・7/16 座光寺小学校に菊の苗を配布(250鉢) 家庭で菊の文化づくりに取り組んだ。 ・7/16～7月末 地域に菊の苗を配布(200鉢) 地域で菊の文化づくりに取り組んだ。 ・10/25～11月末 門前町に育成した菊を飾り、住民や地域に訪れる観光客をもてなした。
取組の効果	<p>○地域の魅(味)力に視点を置いたマップの制作の取り組みは、地域の新たな資源を発見することができた。また、このマップを利用することで各団体のPR活動の幅も広がった。</p> <p>○小学生やその保護者、地域を取り込んだ菊の育成や門前町の参道演出は、現在に休止している菊人形展に代わる菊の里の文化づくりへ一歩前進した。</p>
今後の取組	<p>○今後はマップを活用した地域住民対象のイベントを企画することで地域を盛り上げる仕掛けづくりを行う(夜のオリエンテーリング座光寺版など)</p> <p>○平成27年4月に開催される元善光寺御開帳に訪れる参拝客を地域内へ循環させる仕組みに取り組む(マップを活用した地域ボランティアガイドの育成などによる「地域でのおもてなしの環境づくり」)</p> <p>○地域住民誰もが「菊の里づくり文化」に触れられる企画に取り組む。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		484,385
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	パンフレット等製作費	304,020
	フラワープランター	113,616
	菊栽培用材料	66,749

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	KANKANハロウィンin天龍峡2014
団体名	感環自然村
代表者氏名	坂井公淳
地区名	天龍峡

取組みの目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 天龍峡地域興しイベントとして、多文化共生を身近に感じてもらい、子ども達が飯田に居ながらにして海外文化に触れること。 2. 同時に地域の土産物店、りんご農家を中心とした様々な店舗に狭路y丸を依頼し、参加者とその保護者が各店舗をまわることにより、地域交流と活性化を目的とする。 3. 子ども達がハロウィンの恰好をして地域を巡る事で天龍峡の観光や地域活性化に繋がる。観光客、子ども、地域の人達との関係を築く。 4. ロングコースの参加者が天龍峡遊歩道を巡る事で、天龍峡景観の美しさを知ってもらう。
--------	---

具体的内容	<p>開催日 10月25日(土)10時～15時まで 募集範囲 飯田市、高木村、豊丘村 対象 飯田市とその周辺の子供達(および親子) 参加費 1,000円 会場 天龍峡温泉交流館 内容 参加者はロングもしくはショートコースを選択し、スタッフ誘導のもとコースを周る。天龍峡周辺の地図を渡し、遊歩道、商店街を観光しながら協力頂いている店舗にて「トリックオアトリート」と言って海外のお菓子をもらう。条件は仮装している事。地図にお菓子をもらえる場所が明記されている。無料仮装レンタル、フェイスペイントあり。</p>
-------	---



説明

第一グループ



説明

コスチューム



説明

遊歩道を歩きます



説明

スタッフ集合写真

取組の経過	<p>多文化共生こどもサポート団体である感環自然村では、日本の文化を外国籍のこどもに、そして海外の文化を日本の子どもに紹介することを1つの目的としています。その取り組みの一つとして毎年10月末にハロウィンを開催し、2014年で4回目となりました。</p> <p>2012年よりムトス助成金のサポートを受けながら、飯田市、飯田市教育委員会の後援で開催を続け、今年度は250名近くの参加者、その保護者と兄弟姉妹を合わせると、約400名が仮装をして天龍峡を歩きました。嬉しいことにハロウィンの時期が近くなると、ご協力いただいている地元の方々からも開催についての問い合わせといただくまでになりました。初年度団体内のイベントとして行った時より地元が喜びイベントを開催することを目標をしてきましたので、ムトスのサポートで行ってきたことにより、イベントとして定着してきたようです。</p>
取組の効果	<p>① 地域の人達が楽しむ 地域の方々にも認知され、年一度の天龍峡イベントの一つとなっている。</p> <p>② 観光客も観光資源。 観光客と一緒に歩く姿が見られた。来年は仮装して参加したいとのお声もあり観光資源に繋がっている。</p> <p>③ 地元の特産品の提供 観光客がもらえるおかしの中には地元の名産のお土産や特産物の試食・も含まれているので地元の良さを感じてもらえるきっかけに繋がり、さらに商品販売に繋がる。</p> <p>④ 天龍峡温泉交流館の活用 温泉交流館を本部とし、参加者とその家族が全員交流館を利用することにより、温泉の利用に繋がる</p>
今後の取組	<p>今年度から天龍峡観光協会主催の軽トラ市と飯田内外のクラフト作家によるクラフト市が、同日開催となりました。それぞれのイベントが天龍峡という土地を共有することで、相乗効果が生まれ、三つのイベントがお互いに次回へ繋ぐことの可能性を見出すことが出来ました。来年度はムトスのサポートから離れ、自己資金によっての運営となります。</p> <p>地元との協力体制を整え、決して質を落とすことなくイベントの継続をめざします。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		550,000
うち助成金(見込み)		245,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷費	80,000
	ハロウィン飾り付け用品	65,000
	レンタル用仮装用品	50,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ちはえ550プロジェクト(千栄GO! GO! OH! 5年間で児童数50名)
団体名	千栄小を考える会
代表者氏名	井澤逸男
地区名	飯田市千栄地区

取組みの目的	<p>少子化と過疎化の影響で特に近年は千栄小学校の児童数減少に歯止めがかからない。そこで地域の活性化を図り、IターンUターンを積極的に推進し地域住民を増やす。昨年度立ち上げた5年間で児童数50名を目指す『千栄GO!GO!OH!』プロジェクトを継続する。小学校の存在意義を明確に2つに分ける。一つは学び舎としての学校。もう一つは地域のコミュニティセンターとしての学校。学校を守るとは地域を守り、地域外に出た人々の故郷を守る事に繋がる。</p>
--------	--

具体的内容	<p>今年度の児童数32名を5年間で50名を目標にする。それに向かって努力する。千栄をアピールする手段として『田舎で子育てしませんか』のキャッチコピーでチラシを1000枚作り、飯田市で行われるイベント会場(やまびこマーチ、人形劇フェスタ、りんごん等)、千栄小わらび販売、千栄こども夏祭りで配布。都会の県人会(ふるさと千代会)等にも郵送する。ホームページの活用を進める(住宅情報の継続と地域イベント情報)。千栄小を考える会便り(web情報ではなく紙媒体)を作り活動報告、転入者情報等、地域住民に広く情報発信をする。地元の小さな祭りイベント(カッセイカマンショー)を企画し、地域外から集客すると共に地元住民が団結して祭りを盛り上げる原動力とする。</p>
-------	---



説明 パンフレット

説明 やまびこマーチ出発式



説明 千栄こども夏祭り

説明 カッセイカマンショー

取組の経過	<p>4月12日 パンフレットの内容を最終確認 4月23日 パンフレット1000枚発行 4月26日 やまびこマーチに参加して会場でパンフレット400枚配布 4月28日 千栄小わらび販売でパンフレット150枚配布 5月15日 千栄小を考える会総会で今年度の活動計画の説明と承認 7月21日 千栄こども夏祭り。カッセイカマンショー企画運営 8月9日 児童、保護者、地域の方々と飯田りんごんに参加 9月30日 千代公民館の協力の下、ふるさと千代会にパンフレットと千栄小を考える会便り発送</p> <p>○上記活動の為に各々の会合を持つ パンフレット企画校正会議を4回開催 千栄こども夏祭りの計画、カッセイカマンショー企画運営と下条村との打ち合わせ会議を10回行う 飯田りんごん参加募集のチラシ、運営打ち合わせ会合3回 企画の内容、参加者募集、活動報告等の為に各戸に「千栄小を考える会便り」を発行 パンフレットと千栄小を考える会便りを同封して東京の「ふるさと千代会」に発送</p>
取組の効果	<p>地域住民が千栄小に寄せる関心が以前と全く違ってきた。 転入希望者の情報が増えた。 地域を元気にする事は住民が元気になる事が前提で、過疎対策の重要な要因になるとの理解が深まった。 千栄こども夏祭りはカッセイカマンショーの効果もあり、従来より3割増し程度の集客力があつた。 やまびこマーチや飯田りんごんに児童も交えて参加できた事は地域交流として効果が有つた。 地域を結びつけるのはちょっとしたきっかけと、誘導であると認識した。 発行回数は5回だったが、各戸配布の千栄小を考える会便りは活動報告と、イベント告知で広く情報を発信できた。</p>
今後の取組	<p>現在の千栄小学校児童数は32名である。50名まではかなりの隔たりが有るが、継続した活動が求められる。 この地域から転出していった方々の二世や三世がUターンする事も大いに期待できる(帰って来たいと思わせる地域づくり)。次年度からは東京に住む千代人会にも継続的に情報発信を行う。範囲を名古屋や関西にも広げる。 過疎になると地域の活力が失われると考えがちだが、逆に地域に元気がなくなると過疎に繋がるのである。活力のある地域には人は集まるとの考え方で意識改革を進める。 生活環境のメリットデメリットは人によって違う。田舎は不便と考えるか静かで落ち着くと思うか捉え方の違いである。その点からも何を地域のストロングポイントとして訴えるかも重要だ。 その辺のコンセンサスをもう少し掘り下げる必要が有る。 もっと多くの地域住民を巻き込んでのシンポジウムのような公開討論会を開催する。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		168,400
うち助成金(見込み)		105,000
主な経費内訳 (上位3項目)	パンフレット発行	51,840
	広報用備品	52,000
	ポスター印刷	34,560
	謝礼	30,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	龍江地区観光パンフレット作成事業
団体名	龍江地域づくり委員会
代表者氏名	会長 藤本 典治
地区名	龍江地区

取組みの目的	<p>三遠南信自動車道龍江ICが平成29年に供用開始になり、リニア中央新幹線も2027年に開通する見込みの中で、今から定住人口、交流人口、観光人口を増加させていくための活動を推進していく。</p> <p>名勝天竜峡に架かる三遠南信自動車道天龍峡大橋を起点に、りんご狩り、イチゴ狩り等の観光客の増加、今田平を中心にしたラフティング、体験農業など若年層の誘客の増加を見込むために、また三遠南信自動車道、リニア中央新幹線全線開通時に間に合わせるためにも、今から龍江の認知度を上げておく事が重要である。</p>
--------	---

具体的内容	<p>龍江地区の魅力を広く発信するためのツールとして、観光パンフレットの作成を行い、県内外のイベント時に配布を行い、積極的なPRを行う。</p> <p>8/25 竜峡中今田人形座渋谷公演(観客及び渋谷駅前) 9/24 地域振興委員会視察(愛知県半田市内) 9/28 関東ふるさと龍江会(会員及び霞ヶ関ビル周辺)</p> <p>その他 今田人形座県外上演時等</p>
-------	--



説明	<p>8月25日に竜峡中学校今田人形座が渋谷区で公演を行いました。</p> <p>地域づくり委員会ではその公演に随行し、今般作成したパンフレットを来場された方々に配付しました。</p> <p>多くの方々から、「近いうちにぜひ行ってみたい」「リニアの開通が楽しみです」等、多くの感想をいただきました。</p>
----	---

説明	<p>パンフレットに地図はつきものですが、今回のパンフレットには、リニア開通を見越して、リニアを利用したときの所要時間を入れました。(赤マルの部分)</p> <p>パンフレットを見た県外の人たちにも「リニア早期開通」を応援していただきたいと思います。</p>
----	---

取組の経過	<p>6月～8月 パンフレット作成チーム発足(検討委員会10回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載項目検討 ・掲載写真選考 ・掲載レイアウト検討 等 <p>8月 パンフレット印刷、納品 竜峡中学校今田人形座渋谷公演にて配付</p> <p>9月 地域振興委員会視察(半田市)にて配付 関東ふるさと龍江会にて配付</p> <p>1月 成人式にて新成人に配付</p> <p>以降、同年会、同窓会等で地区住民が配付</p>
取組の効果	<p>多くの人たちに、龍江の魅力を知ってもらい、実際に来てもらうことにより、定住人口、交流人口、観光人口の増加が見込める。</p> <p>名勝天竜峡に架かる三遠南信自動車道天龍峡大橋を起点に、りんご狩り、イチゴ狩り等の観光客の増加、今田平を中心にしたラフティング、体験農業など若年層の誘客の増加を見込んでいる。</p> <p>三遠南信自動車道、リニア中央新幹線全線開通時に間に合わせるためにも、今から龍江の認知度を上げておく事が重要である。</p>
今後の取組	<p>龍江地区としては、多くの人たちに来てもらうための受け皿づくりとして、地区内の整備、食の開発等、地区内での活動の活性化が必要となる。</p> <p>今まで以上に地域の魅力や観光資源を発信し、あわせて、自らが安全で安心して住み続けることができる地域を目指していくことが重要になってきます。</p> <p>これらの活動を継続して実施していくことにより、少子高齢化、若者減少という事態が改善していくことが望まれます。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		299,160
うち助成金(見込み)		209,000
主な経費内訳 (上位3項目)	パンフレット印刷	299,160

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ事業
団体名	松尾地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 小木曾 博人
地区名	松尾地区

取組みの目的	<p>鳩ヶ嶺八幡宮を中心とした街道筋及び商店街は、古くから松尾地区民の心の拠り所であり、地区の象徴のひとつと言えるが、近年は地域を中心としての活力を失いつつある。</p> <p>八幡宮を中心とした当該地区の活性化は、松尾地区全体の活性化に寄与すると考えられるため、八幡宮を中心としたイベントを実施し、賑わいを創出するとともに、イベントの開催過程における関係者の交流、意識改革、住民の郷土意識や一体感の醸成、人づくりを目的として、八幡宮紅葉ライトアップ及び関連イベントを開催した。</p>
--------	---

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○紅葉ライトアップ(11月8日(土)～11月22日(土)に開催) <ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップ用照明器具の購入 ○住民交流イベント(主に11月22日(土)に開催) <ul style="list-style-type: none"> ・地元の笛奏者森田梅泉氏、松尾小篠笛クラブによる篠笛(横笛)演奏によるコンサート ・住民有志による茶会(商工団体が主担当として企画) ・地元有志による竹宵キャンドルの製作・設置 ・写真コンテスト(八幡宮主催の関連イベント) ・日赤奉仕団と住民有志による五平餅販売・豚汁サービス(関連イベント・独自採算)
-------	---



説明 ライトアップされた紅葉



説明 森田氏と松尾小児童の笛コンサート



説明 参道に竹宵キャンドルを並べる



説明 日赤奉仕団による五平餅販売

取組の経過	<p>5月22日 まちづくり委員会担当部会にて企画協議(以降、4回協議)</p> <p>6月27日 まちづくり委員会役員、飯田商工会議所松尾支部、JAみなみ信州松尾支所と協議</p> <p>7月22日 まちづくり委員会定例会にて企画案の審議(以降、2回協議)</p> <p>10月6日 まちづくり委員会役員、飯田商工会議所松尾支部、八幡宮関係者とのプロジェクト立ち上げ(以降、会議を2回開催)</p> <p>10月28日 チラシ・ポスター完成・配布</p> <p>11月6日 電源設置、照明器具設置</p> <p>11月8日 ライトアップ点灯式(11月22日まで15日間ライトアップ、毎日17時30分～21時)</p> <p>11月8日 写真コンテスト応募作品受付開始(11月18日まで受付)</p> <p>11月22日 ライトアップイベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17時～ 五平餅販売・豚汁サービス、竹宵点灯 ・17時30分～ 茶会 ・18時30分～ 写真コンテスト表彰式、笛コンサート <p>11月24日 照明等撤去・収納</p> <p>11月25日 写真コンテスト応募作品展(松尾公民館ロビーで展示)</p>
取組の効果	<p>本事業は鳩ヶ嶺八幡宮を中心とした地区の賑わいの創出、住民の郷土意識や一体感の醸成、多様な主体の協働による関係者の交流、人づくりを目的として実施した。</p> <p>期間中は紅葉を観覧に多くの方が訪れ、また、イベント当日も天候にも恵まれたので、多くの方が郷土の宝を再発見できたのではないかと考える。</p> <p>また、まちづくり委員会担当役員のみでなく、商工会議所松尾支部、日赤奉仕団、まちづくり委員会役員有志、ボランティアグループ、地元のお茶愛好者の皆さん、八幡宮関係者の皆さんなど、多くの方々の協働により実施できたことが大きな成果である。</p> <p>松尾小学校篠笛クラブの児童についても、八幡宮という厳かな場所で、クラブ活動の成果を発表することができたことは大変貴重な経験になった。篠笛は地域伝統行事である「獅子舞」や「お囃子」にも活かすことができるものでもあり、人づくりの観点からも成果があったと考える。</p>
今後の取組	<p>今年度をもってムトス飯田助成金は終了となるが、地域の活性化や住民の郷土意識の向上を図るため、次年度以降も継続して事業を実施することを予定している。さらに多くの多様な主体の参画を促すよう、事業内容を検討していく。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		573,713
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	照明器具購入費	281,880
	イベント等経費	188,153
	照明器具設置費	59,400

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	天龍峡この指とまれ食プロジェクト
団体名	天龍峡この指とまれ
代表者氏名	松尾 真由美
地区名	川路 龍江

取組みの目的	天龍峡では、来峡者に気楽に提供できる食べ物がないと数年前から課題があってもそのままになっている現状がある。そこで、地元の食材を利用し、天龍峡オリジナル名物を開発して、観光客や地元住民に提供できればと「天龍峡そば豚まん」を、25年秋に試し販売を数回実施してきた中で、手ごたえを感じるとともに、人材確保、味の追求など課題がはっきりみえたので、今回、制作から販売に至るシステムを作り、天龍峡で自信を持って販売提供できる新しい名物を作り、将来の担い手として地域活性化に取り組む。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・天龍峡のそば粉、天龍峡元気豚肉、地元野菜、果物を使い「天龍峡そば豚まん」の開発、制作、販売をおこなう。主に、天龍峡でのイベントや、天龍峡テント市など地元催事で販売し盛り上げる。 ・味の追求のため、商品改良点など専門的な方の指導講習会をおこなう。 ・販売戦略についての講習会や現地視察研修で学び活す、また地域の方へ商品リサーチを行う。 ・新規メニューについても、開発検討する。



説明

天龍峡テント市販売



説明

この指とまれ会議



説明

調理講習会



説明

天峡まん(左)ふくまん(右)

取組の経過	<p>*「天龍峡そば豚まん」販売実施日 ・4/6(天龍峡さくらグルメ祭り) ・4/11,4/13(テント市) ・4/20(天龍峡花祭り) ・4/27,4/29,5/4(テント市) ・5/5(天龍峡みつばつつじ祭り) ・6/21(あざれあ) ・7/19(天龍峡そば祭り) ・8/23(天龍峡夏の和に遊ぶ) ・9/7(天龍峡をどり) ・9/13,14(天龍峡そばまつり) ・10/25(天龍峡かぼちゃマルシェ) ・11/3(丘の上フェスタ) ・11/21,22,23(姑射橋市) 全19回(1回に50個～100個余りの販売でほとんど売れ残りはなかった)</p> <p>*甘い、ふくまんを6回、プレミアム角煮まんを数限定で2回販売したが、ふくまんはPR不足のため売れ残りもでてしまった。</p> <p>*7/17に川路公民館活動の場、9/8ムトス交流会の場でリサーチを実施した。 *10/2に横浜市の吉江氏を講師に調理講習会を実施した。 *11/6この指とまれの会議にて商品名を「天峡まん」に変更決定。 *2/5 視察研修 *2/13 食プロジェクト講演会</p> <p>・この指とまれ会議(4/10.5/7.6/2.7/2.7/30.9/1.9/17.10/2.11/6.12/15.1/21)</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「天峡まん」を販売することで、観光客や地元住民に、気楽に食べてもらえた。 ・地元の主婦数人が仕込みから販売の協力体制ができてきた。 ・地元の食材を使い地元農産物のPRになり、地産地消につながった。 ・地元の方の激励など多く聞かれるようになった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「天峡まん」が、天龍峡のオリジナル名物と自信を持って販売できる商品にする。 ・地元主婦など人材確保により、仕込みから販売までの体制を確立する。 ・イベントでの販売だけでなく、常時継続的に販売できる体制を整えたい(空き店舗の活用につなげたい) ・新規名物開発のきっかけにしたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		426,732
うち助成金(見込み)		298,000
主な経費内訳 (上位3項目)	備品(粉攪拌機など)	125,532
	消耗品	220,000
	講師費	30,000
	使用料	15,320

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	上郷の郷土料理を考える
団体名	郷土料理を考える会
代表者氏名	渡邊義昭
地区名	上郷地区

取組みの目的	<p>上郷の郷土料理にはどんなものがあるのかを考え、レシピ(現代風アレンジしたもの)を含めて試作し、上郷公民館文化祭(11月15・16日)で来場者に振る舞う。</p> <p>リニア時代、地域外からの来訪者に郷土料理を振る舞ってもてなす、という『上郷地域基本構想・基本計画』(「上郷地域まちづくり委員会策定)の取り組みに繋がる活動をする。</p>
具体的内容	<p>(1) 講座「年中行事と行事食」の内容を確認。</p> <p>(2) 出品する料理を決定。1回試作。</p> <p>(3) レシピの検討(味付け、食材の量など)と試作(複数回)</p> <p>(4) 上郷公民館文化祭(11月15・16日)で振る舞う。レシピの配布も行う。</p>



説明

試作



説明

ムトス飯田交流会 料理の説明



説明

上郷地区文化祭出品



説明

焼きもちを手に取る文化祭来場者

取組の経過	<p>・7月1日 第1回実行委員会 焼きもち、塩イカときゅうり を試作(試食)することとし、焼きもち(おやき)をテーマに、会員がレシピを作り、次回の実行委員会で試作することにした。</p> <p>・8月2日 第2回実行委員会 試作・試食。4種類―「下平さんちのおやき」、「残りご飯入りおやき」、「ピザ風森のやきもち」、「フルーツ焼きもち」を試作。感想を出し合うが、この中のどれかに絞る、ということはない。</p> <p>・9月7日 ムトス飯田交流会に出品。 試作品に対して様々な意見を聴く機会として捉え、出品。前回試作した「残りご飯入り焼きもち」を改良して「塩いか入り焼きもち」とし、合計4種類の焼きもちと牛乳入り甘酒を出品した。会場内、広い年齢層で「塩いか入り焼きもち」が好評だった。</p> <p>・10月14日 第3回実行委員会 ムトス飯田交流会の反省、文化祭出品料理決定。</p> <p>・11月15日、16日 上郷地区文化祭出品。レシピも配布した。 「懐かしおやき」、「塩イカとハナビラタケのやきもち」、「ピザ風森のやきもち」、「りんご焼きもち」の4種。</p> <p>・12月24日 成人式実行委員会との打合せ 地域で成人を祝う一環として、出品依頼あり。</p> <p>・1月11日 上郷地区成人式 出品</p> <p>・1月22日 野底山森林公園さくら祭り実行委員会 郷土料理を考える会に出品依頼。</p> <p>以下実施予定 2～3月 飯田女子高生徒との共同試作</p>
取組の効果	<p>・上郷住民は、いまは食べることのない(又は少ない)行事食や料理を食べる機会を得ることができ、郷土料理として将来に伝承されていく。</p> <p>・郷土料理の試作を通して、高齢の方であれば懐かしく感じたり、実際の経験者でなくとも、かつての上郷の人々の暮らしを思い浮かべたりして、上郷の歴史の一端に想いを馳せることができる。</p> <p>・「文化祭で振る舞った郷土料理以外にもこんな料理があるよ」と、様々な郷土料理の掘り起しにつながる。</p> <p>・成人式で焼きもちを振る舞うことにより、若い方にも郷土料理の1つを味わってもらうことができた。</p>
今後の取組	<p>4月18日 野底山森林公園もみじ祭り 高校生と共同出品予定 ※事前に、女子高生との試作(郷土料理実習のような講座形式にすることも検討)</p> <p>郷土料理に関連した年中行事を復活させたいという声から出ており、料理のみならず、行事についてもあわせて研究していく可能性がある。 次年度以降、具体的にどのようなことに取り組むのかは、今後の実行委員会で検討する。 上郷地域の高校との協働など、他団体との連携した取組みも推進できるとよい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		61,000
うち助成金(見込み)		24,000
主な経費内訳 (上位3項目)	原料費(見込み)	55,000
	消耗品(見込み)	6,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	サルの被害を防ぐ警備体制づくり
団体名	羽場まちづくり委員会
代表者氏名	羽場まちづくり委員会会長 佐々木祥二
地区名	羽場

取組みの目的
 羽場地区では、山林および農地に隣接する大休や正永町を中心に、住宅の近くまでサルが出没し、家庭菜園や建物への被害が増えてきており、人への被害も心配されるようになってきた。そこで、地域住民でサル害対策チームを編成し、サルの被害を防ぐ警備体制をつくることにした。

具体的内容
 ○サルの被害が多い自治会の住民を中心に、サル害対策活動への参加を呼びかけて賛同者を募り、サル害対策チーム(サル去れ警備隊)を結成する。
 ○隊員に猟友会のベストに似たオレンジベストを貸与し、警備活動をするときに着用してもらう。
 ○地区ごとの状況に応じてチームをつくり、週1回、約1時間の警備活動を行う。
 ○警備活動の途中でサルを見かけたら動物駆逐用煙火やパチンコなどで追払う。
 ○家の近くにサルが出没したら、動物駆逐用煙火やパチンコなどで追払う。
 ○隊員証を兼ねたスタンプカードを作成して隊員に配布する。
 ○スタンプカード用のスタンプ印を作成し、各チームの代表者に貸与する。
 ○代表者は各チームの警備活動に参加した隊員のスタンプカードにスタンプ印を押す。
 ○10回の警備活動に参加した隊員は、スタンプカードを提出し、追払い用品と交換してもらう。



説明

大休自治会



説明

サル去れ警備隊結成式



説明

警備活動



説明

サル去れ警備隊中間報告会

取組の経過	<p>7月28日:サル去れ警備隊結成準備会の開催 8月1日～:サル去れ警備隊の活動に必要な物品の発注を開始する。 9月6日:サル去れ警備隊結成式を開催。あわせて動物駆逐用煙火の使用法講習会を行う。 9月～11月:各地区の警備隊ごとにチームを編成し、週1回、約1時間の警備活動を行う。 大休(28名で3チーム)、正永町一丁目(12名)、正永町二丁目(22名で2チーム)、宮本(3名) 11月26日:サル去れ警備隊中間報告会を開催。現状確認と今後の改善点の検討を行う。 12月～:各地区のサル去れ警備隊ごとの警備活動を継続する。</p>
取組の効果	<p>○警備隊を結成し、住民が連携して活動することにより、地域の連帯感が強まってきた。 ○ベストを着用してチームで活動することにより、住民にサル害対策活動がアピールでき、住民のサル害対策に対する意識が高まってきている。 ○警備活動に10回参加すると、サル追払い用の煙火と交換でき、隊員の意欲にも高まる。 ○追払い活動を続けている場所では、サルの出没が減ってきており、成果が実感できる。</p>
今後の取組	<p>○各地区の実情に応じて警備隊ごとの活動を継続していく。 ○隊員がそれぞれ近くの住民への呼びかけを行い、新たな隊員を増やしていく。 ○各地区、各チームの代表者が時々集まって、現状を確認し合い、警備活動を改善していく。 ○必要に応じて、警備活動や追払い活動以外の対策(餌場をなくす、隠れ場所をなくす、畑を守るなど)にも連携して取り組めるようにしていきたい。 ○農家で組織している鳥獣被害対策協議会や猟友会そして丸山地区などとの連携も考えていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		245,000
うち助成金(見込み)		163,000
主な経費内訳 (上位3項目)	隊員用オレンジベスト代	142,128
	動物駆逐用煙火代	75,000
	スタンプカード用スタンプ印代	26,400

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	裏界線を歩く、庭先いいたさんぽ
団体名	いいたさんぽ会
代表者氏名	樋口貴彦・小室勇樹
地区名	飯田市 橋南・橋北

取組みの目的	裏界線を活用した橋南・橋北の飯田市街地(丘の上)の巡回導線の創出と、回遊性のあるまちづくりを目的としたイベントの企画や研究会の開催、資料の作成を行なう。裏界線が飯田特有の都市インフラであることは知られているもの、未だその全容を網羅的に示す資料はない(特に橋北においては実態が把握されていない)。本活動は、この裏界線の都市インフラとしての本格的な活用の推進をめざす取組みである。そのために市民参加による①裏界線の現状調査と、それらをまとめた②地図資料の作成、旧測候所を活用した③調査結果に関する企画展と既に裏界線の研究を行なっている④専門家を招いた研究会と、⑤裏界線を巡る「庭先さんぽ会」を開催する。
具体的内容	調査はいいたさんぽの会を中心によって行なった。調査では、裏界線の今後の活用計画の基礎的資料とするため裏界線の位置、幅等の実態を把握する。②は①に基づいて作成されるもので、⑤で活用することを念頭に、携帯しやすいリーフレット形状にレイアウトする。また③は、3月を目処に行う予定。④と⑤についても平成27年8月に予定されている「歴史的景観」をテーマとした飯田市歴史研究所主催の研究集会の1テーマとして活用する。



説明

「庭先さんぽ会」①



説明

裏界線の現状調査様子



説明

「庭先さんぽ会」②



説明

裏界線の現状調査様子

取組の経過	<p>9月26日 裏界線の現状調査(橋北東栄町・江戸浜付近を調査)</p> <p>9月30日 裏界線の現状調査(橋北仲ノ町・江戸町付近を調査)</p> <p>10月10日 裏界線の現状調査(橋北浜井町・小伝間町付近を調査)</p> <p>10月19日 裏界線を巡る「庭先さんぽ会」(旧飯田測候所スタート→橋北地区)</p> <p>11月11日 裏界線の現状調査(橋北東新町・小伝間町付近付近を調査)</p> <p>11月18日 裏界線の現状調査(桜町・吾妻町付近付近を調査)</p> <p>11月30日 裏界線を巡る「庭先さんぽ会」(桜町駅スタート→橋南地区)</p>
取組の効果	魅力的な裏界線沿いの歴史的な建築物、史跡や公園、空き地巡るコースを設定することで、南北に広がる橋南と橋北の回遊性を低コストで高めることができる。
今後の取組	<p>裏界線の活用に対する地域住民への理解を高める、「庭先さんぽ会」を定期的開催する。</p> <p>裏界線のスケール感や庭先感を活かしたイベント(人形劇団による小規模庭先講演や庭先マーケット、庭先マラソンなど)等の企画をまちづくり団体に働きかけながら、新設される春草邸公園などの空き地利用ともに検討する。</p> <p>活動対象地を徐々に広げ、市街地(丘の上)と周辺部を結ぶ散歩道や、旧街道、山里などにおける散歩道の調査・開発・地図資料化を行なっていく。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	162,500
	うち助成金(見込み)	162,500
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷費地図資料用(見込み)	77,500
	印刷費地図資料用(見込み)	30,000
	講師招聘費(交通費)	30,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	囲碁ボールで地域活動の活性化のきっかけを作る
団体名	橋南まちづくり委員会
代表者氏名	会長 原 勉
地区名	橋南

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての年代が簡単に行うことができる囲碁ボールを用いて地区内の住民の世代間交流を推進し、老若男女、地区住民同士が顔見知りの関係となることで、お互いの顔が見え、住民が安心して暮らせるまちとなるようにする。 • 地区住民同士が顔見知りの関係となることで、若い世代の住民が地域活動へ気軽に参加できるきっかけとする。 <p>* 橋南地区には現在、囲碁ボールがないため、囲碁ボールを使った事業をするためには他地区から借りてこなくてはならない。しかし、囲碁ボールが大きく重いため運搬が大変で、気軽に囲碁ボールを借りてきて楽しむことができない。また、1セットでは使用人数も限られるため、2セット用意し、多くの住民が使用できるようにする。</p>
--------	---

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> • 囲碁ボール体験会、大会の開催 • 囲碁ボールサークルの立ち上げ(月1～2回程度開催) • その他、地区活動での活用
-------	---



説明

橋南文化祭囲碁ボール体験

写真

説明



説明

囲碁ボール体験会

写真

説明

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・11月1日 橋南文化祭にて囲碁ボール体験会開催 ・12月16日、21日 囲碁ボール体験会開催 <p>以下実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月8日 橋南囲碁ボール大会開催 ・広報橋南(2月24日発行)にて、囲碁ボールの紹介 ・3月1日 丘の上囲碁ボール大会開催 ・3月 囲碁ボールサークル立ち上げ
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者から子どもまで気軽に参加できるスポーツなので、異世代交流の場となった。 ・足腰が弱り、気軽にゲートボールやマレットゴルフに行けなくなった高齢者も参加することができるスポーツであるため、高齢者の地域交流の場となった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内活動、まちづくり委員会事業、公民館事業への積極的参加を呼びかけ、地域活動の輪を広げていく。 ・囲碁ボールサークルを立ち上げ、多くの住民の交流の場とする。 ・定期的に、囲碁ボールの大会を開催し、異世代交流の場及び地域活動の参加へのきっかけとなるようにしたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		325,981
うち助成金(見込み)		140,000
主な経費内訳 (上位3項目)	囲碁ボール購入費	319,680
	チラシ用カラーコピー用紙	3,343
	囲碁ボール大会用用箋挟み	2,958

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	リンゴ並木の賑わい創出プロジェクト
団体名	リンゴ並木iプロジェクト
代表者氏名	森下ちよ子
地区名	リンゴ並木通り

取組みの目的	<p>(1) リンゴ並木の歴史的意義や価値を理解してもらうとともに、新たな魅力を発見してもらう。</p> <p>(2) 子供たちや親子連れで、リンゴ並木を散策し、ショッピングやランチをしたり、また清掃、草取り、チューリップ植え作業などに参加してもらい、リンゴ並木への愛着心を育成する。</p> <p>(3) リンゴ並木通りにてハロウィンイベント(パレード、カボチャの展示等)や動物園でのイベントを開催し、リンゴ並木に賑わいを作る。</p>
--------	---

具体的内容	<p>(1) リンゴ並木にぎわい隊抽選会セール11月8日～12月7日の期間、リンゴ並木の商店を利用されたお客さんに、抽選会応募券を渡し、応募してもらい、抽選にて当選者に景品を差し上げる。</p> <p>(2) リンゴ並木ハロウィンイベント</p> <p>① 巨大カボチャの展示 動物園及びリンゴ並木の各商店に10月1日から10月末までの1か月間、巨大カボチャを展示し、ハロウィンの雰囲気づくりを行う。</p> <p>② カボチャのランタン工作 10月25日(日)、動物園にて親子のカボチャのランタン工作を実施。カボチャの中身をくりぬいて、ろうそくを立てる工作教室を実施。</p> <p>③ ハロウィン仮装パレード ハロウィンの仮装をして、リンゴ並木の商店を巡り、お菓子をもらうイベント。</p> <p>(3) リンゴ並木パンフレットの作製 リンゴ並木にある記念碑や商店、歩行者天国を紹介したパンフレットの作成</p>
-------	--

リンゴ並木にぎわい隊 抽選会セール
 応募期間 2014年 11月8日～12月7日

参加協力店舗より景品多数!
現金20,000円
温泉入湯回数券
クリスマスケーキ
 リンゴ並木で使える商品券 他

リンゴ並木にぎわい隊の旗がある店舗にて飲食、お買い物をした方に応募券をプレゼント!

この旗が目印

“リンゴ並木にぎわい隊”参加協力店舗一覧(順不動)
 大塚通商店 / pizzeria I sarvo / リトルマーベール / そば処おにひら / 在来屋 / タイホーバン / 渡辺ボタン店 / CREEKS / 一ニ三屋万十 / メガネのナガタ / 太陽堂 / DELI and CAFE & A / 飯田おもちゃミュージアムgrün / カフェテラス三連蔵 / 豆吉本舗 / みつばつし / natural kitchen TESSHIN

当選発表 12/10(水)
 ※当選者の方には事務局よりご連絡いたします。

【お申込み・お問合せは】 0265-22-0416 (飯田動物園)
 リンゴ並木iプロジェクト事務局 0265-52-0850 (グリーン)



説明	リンゴ並木にぎわい隊抽選会セール
----	------------------

説明	ジャumboカボチャ展示、のぼり旗
----	-------------------



説明	かぼちゃランタン作り
----	------------

説明	ステージショー
----	---------

取組の経過	<p>1 りんご並木にぎわい隊抽選会セール りんご並木の各商店(16店舗)の協力のもと、お店の商品を賞品として提供頂き、お店で飲食または買い物をした方に抽選券を渡し応募していただき、締め切り後抽選により当選者に賞品を差し上げる。ポスター、パンフレットの作製、のぼり旗の展示、マスコミ等への情報提供 実施期間 11/8～12/7, 発表12/8、応募総数1374通</p> <p>2 動物園でイベントの開催(12回) 7月～11月にかけて、動物園のステージでマジックショー、フラダンス、紙芝居、ハンドベル、菊花展、子どもダンス等を開催。大勢のお客さんに好評であった。</p> <p>3 りんご並木パンフレットの作製 1000部作製(予定) りんご並木の歴史、モニュメント、商店の紹介、りんご並木のイベント(ゆるキャラ、竹宵祭り、歩行者天国など)の紹介</p> <p>4 ハロウィンイベント ① カボチャの展示 りんご並木の各商店、動物園に11月中ジャンボカボチャを展示 ② カボチャランタンづくり 10/26(日) 動物園にて開催、親子19組、総数52人参加 ③ ハロウィン仮装パレード 10/25(土) ハロウィンの仮装をした子供たちがりんご並木をパレードし、各商店からお菓子をもらう。親子26組、子ども52人参加</p>
取組の効果	<p>1 にぎわい隊の抽選会セールは、多数の応募があり盛況であったが、一方、お店から賞品の提供を頂くなど、お店からの協力も大きかった。お店では経費的な負担も大きかったと推察する。</p> <p>2 りんご並木の各商店にお願いして、カボチャの展示、ハロウィンパレードのお菓子の提供、抽選会の賞品などの協力を戴いたが、どのお店も好意的で協力をしてくださった。</p> <p>3 日頃、りんご並木に来ないお客さんが、りんご並木のお店を知る良いきっかけとなった。</p> <p>4 今後も継続的な取組みを進める中で、協働して取り組む運動となることが出来ると思う。また、イベントのときのにぎわいから継続した誘客をどうするか課題もある。</p>
今後の取組	<p>1 ハロウィンなどのイベントは今年で4回目を迎え、今後毎年、同じ時期に開催し、街の風物行事と定着させていく。</p> <p>2 ハロウィンのカボチャの展示も、カボチャと幟旗を店頭飾ったが、さらに趣向を凝らした飾り付けを行い、多くの市民の方に楽しんでもらう工夫を行う。</p> <p>3 参加者だけの限られた楽しみ方から、通り全体、または市民の方も楽しんでもらえる取組みを行う。</p> <p>4 助成金がなくても、運営できるよう商店等から協力を戴き、資金の確保、運営体制をつくる。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		284,000
うち助成金(見込み)		198,800
主な経費内訳 (上位3項目)	りんご並木パンフレット制作費(見込み)	45,000
	りんご並木にぎわい隊抽選会セール経費	153,215
	ハロウィンカボチャの購入	49,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月14日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	がんばる女性応援フェア
団体名	South-Heart(南心)
代表者氏名	森本 ひとみ
地区名	飯田市

取組みの目的	<p>南信州地域の女性の起業家の方で起業後3年以内の方、又はこれから起業を考えている方、そして南信州地域の女性を応援したいと思っている方や女性を対象に事業を考えている方の事業を応援するための情報発信を目的に活動しています。</p> <p>「がんばる女性応援フェア」のイベントのコンセプトは、2つあります。</p> <p>①ブースを出店していただく方の事業の発信の場を作ることで応援すること。</p> <p>②働いてがんばっている女性、子育てをがんばっている女性、そして癒しを求めている女性を応援することを目的に、来場対象を女性とすること。</p>
--------	---

具体的内容	<p>イベント「がんばる女性応援フェア」を年2回 2014年4月19日(土)と9月14日(日)に開催。ブース出店内容は「医療行為、宗教、占い」以外で制限はありません。販売行為、営業行為も可能です。</p> <p>出店者の方には、ワンコイン(500円)で事業の内容が体験できるサービスを提供していただきます。例 15分の整体 500円、アロマヘアオイル作り 500円</p> <p>来場者の集客方法として前売り券の販売をし、来場者が後日、体験した出店者のお店に足を運ぶようにするため、フェア当日に「ポイントカード」を配布し、ポイントがたまるとイベント当日 体験ができなかったブースやお気に入りのブースのクーポン券と交換。</p> <p>「がんばる女性応援フェア」の公式ホームページ、facebookページを作成し、イベントの情報や、イベント出店者の店舗、営業情報を年間を通じて発信する。</p>
-------	--



説明 会場全体の様子



説明 体験ブース



説明 体験ブース



説明 美容ブース

取組の経過	<p>○2月7日 第1回打合せ…イベントの内容の確認、自己紹介</p> <p>○2月25日 第2回打合せ…チラシの内容について、会場のレイアウト</p> <p>○3月17日 第3回打合せ…前売券及びポイントカードの集客について</p> <p>○4月14日 第4回打合せ…最終確認及び看板制作等</p> <p>○4月19日 “がんばる女性応援フェア Vol.5” 南信州飯田産業センター開催 33ブース出店。264名がご来場。</p> <p>○7月26日 第1回打合せ…イベント内容の確認、自己紹介</p> <p>○8月17日 第2回打合せ…チラシの内容について</p> <p>○8月29日 第3回打合せ…前売券及びポイントカード等の集客方法について</p> <p>○9月8日 第4回打合せ…最終確認</p> <p>○9月14日 “がんばる女性応援フェア Vol.6” 南信州飯田産業センター開催 28ブース出店。325名ご来場。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ブースの出店者が高い広告費をかけることなく、自身の事業の宣伝ができた。 ・出店者の事業、サービスを手軽に、対面で実際に体験することで、お客さまとお店の距離が縮まり 直接顧客が獲得できるメリットがある。 ・飯田市、南信州地域の女性起業家の事業が発展することで、飯田市の地域活性化につながる。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年 年2回「がんばる女性応援フェア」を開催する予定。 ・店舗を持たず、資金力もない女性の事業が軌道にのるまでインキュベーションできる場所を将来的に、飯田市に作りたいと考えています。理由は、飯田市は公民館活動は活発ではありますが、公民館を営業目的に使用することが出来ず、時間借り使用できる施設がありません。時間貸しであれば起業当初の資金的リスクも少なく、事業を継続する可能性がひろがります。またイベントに出店したお店同志がコラボして事業を展開する可能性も高くなります。 ・作成した、「がんばる女性応援フェア」公式ホームページとfacebookページから、イベントやイベント出店者の営業情報を継続して発信していく。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		546,230
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	広告費	350,000
	会場費	160,283
	託児費	33,300

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月14日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	冒険遊び場作り
団体名	冒険遊び場プロジェクトinいいだ
代表者氏名	木下 孝子
地区名	鼎

取組みの目的	<p>ア 年間通した冒険遊び場の運営を実施する。</p> <p>イ 冒険遊び場の活動について広く周知する。</p> <p>ウ 関係団体等へ働きかけを行い協力者の拡大を図る。</p> <p>エ 長野プレーパーク連絡会（塩尻、原村、高遠、上田、飯田）において連携を深めると共に外遊びの大切さ、子どもに対しての大人の役割、怪我や事故などの対応、リスクとハザードの理解と対応などについて学習する。</p>
--------	--

具体的内容	<p>ア 年間7回の冒険遊び場を実施する。</p> <p>イ 年間を通した冒険遊び場を実施すること、広報の仕方（チラシ、フェイスブックなど）を工夫することで活動について周知する。</p> <p>ウ 鼎地区まちづくり委員会、PTAなどに報告及び協力依頼する。</p> <p>エ 長野プレーパーク連絡会への参加、研修、視察を行う。</p>
-------	---



説明 1歳から5年生までの男の子たち



説明 女の子はお絵かき



説明 夏は水遊び



説明 鼎文化祭にて

<p>取り組みの経過</p>	<p>4月29日、6月22日、7月30日、9月21日、11月30日、1月25日(予定)、3月1日(予定) 計7回冒険遊び場実施</p> <p>7月18日 天竜峡夏期大学『遊びは「生きる力」のみなもと～教育から遊育へ』 講座(天野秀昭氏講師)参加</p> <p>11月2日 いいだ子育てカレッジ『パパと過ごす休日』 冒険遊び場プロジェクトinいいだ共催(主催 飯田市公民館、飯田女子短期大学)</p> <p>11月8日、9日「ふるさと県ふれあい広場・文化祭」にて出店</p>
<p>取組の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して、子どもたちは生きていくために必要なさまざまな力(自主性、ものごとをやり抜く気力、創意工夫する力、協調性、思いやり、周りの人とのコミュニケーション能力、忍耐力、判断力、勇気、危険を回避する安全能力)を身につけ成長することができる。 ・子どもが抱えている問題が比較的小さい場合は、遊びこむことで、子どもの心の中、体の中で抱えている問題を自ら解決し、自然と昇華させることができる。 ・冒険遊び場作りを行うことによって様々な年代にわたる交流の場や居場所を作り出し、地域への愛着を醸成し、災害や犯罪につよい地域づくりにつなげることができる。 ・冒険遊び場作りを通じて、子育て世代の地域住民がまちづくりの中心的な担い手となり、生き生きと活動すれば、子どもたちに住民参加のまちづくりのモデルを示すことができる。また、大人にも次の時代を託す元気な子どもたちを私たちの地域で育てるという意識を改めて作ることができる。
<p>今後の取組</p>	<p>子どもたちがいつでも遊びに行ける常設の冒険遊び場を作ることを目的とし、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①冒険遊び場実施回数を増やす。(目安として、来年度8～12回) ②冒険遊び場の運営のノウハウ、遊びに関わる大人の関わり方についての学習の場を作る(増やす)。 ③プレーリーダーを養成する。 ④関係団体に働きかける。 ⑤長野県プレーパーク連絡会で連携し、またともに学びあう場を作る。

○取組経費 (単位:円)

<p>事業費総額(見込み)</p>		<p>130,000</p>
<p>うち助成金(見込み)</p>		<p>90,000</p>
<p>謝礼(交通費込み)</p>	<p></p>	<p>75,000</p>
<p>材料費</p>	<p></p>	<p>25,000</p>
<p>印刷費</p>	<p></p>	<p>13,500</p>
<p></p>		<p></p>

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	南アルプスユネスコエコパーク登録記念、南アルプス魅力発見発信事業
団体名	遠山郷観光協会
代表者氏名	会長 近藤力夫
地区名	飯田市上村・南信濃地区(遠山郷)

取組みの目的	本年度は南アルプスが国立公園に指定されて50周年の記念の年であった。6月には、ユネスコエコパークに登録され、南アルプス及びその周辺地域の貴重な自然環境、文化、食、人々の暮らしが世界的にも高く評価されたところである。当市は、日本百名山の聖岳、光岳を始めとする南アルプス南部を抱える地域であり、エコパーク登録を機に、今後、山岳観光だけでなく遠山郷一帯のエコツーリズムのより活発な展開が期待できる。そこで、この記念の年に、南アルプスの新たな魅力を広くPRする事業に取り組む。
--------	--

具体的内容	国立公園指定50周年及びユネスコエコパーク登録記念事業の開催遠山郷内2か所で実施準備を行った。しらびそ高原(10/5)、道の駅遠山郷(11/15)。 ・内容は、エコパーク記念講演会、エコツアーの実施(しらびそ高原、道の駅周辺)、直売広場などイベントの開催(しらびそ高原、道の駅遠山郷) ・講演会は、2部構成とし、第1部にエコパーク、ジオパークについて、第2部として南アルプスを巡る地元団体の活動の取り組みを紹介。 ・エコツアーはしらびそ高原は尾高山、御池山、慣石クレーター周辺、道の駅が、和田宿周辺とした。お祭り広場は、直売広場のPRの場として開催した。
-------	--



説明 しらびそ高原エコパークまつりチラシ

説明 記念講演会の様子



説明 イベントとおやま丸登場

説明 子供射的の様子

取組の経過	<p>第1弾は、平成26年10月5日(日)しらびそ高原にてエコパークまつりの開催を予定。エコパークを広く知らしめるための講演会や軽トラ市、写生大会、尾高山へのミニ登山、バイキング等盛りだくさんの企画を用意していたが、台風に見舞われ安全性を考慮して当日の早朝に中止とした。</p> <p>第2弾は、平成26年11月15日(土)道の駅遠山郷にて開催。地元の方々を含む多数の方々がエコパーク記念講演を聴講した。飯田美術博物館の坂本正夫先生からは「世界が認めた大自然！南アルプスユネスコエコパーク遠山郷ってすごく不思議なところ」と題して講演をいただき、地域の魅力を再認識すると共に、継続的な学習の必要性を確認した。つづく、遠山山の会の講演についても環境保全とその活用について地域をあげての取り組みの必要性の再確認につながった。</p> <p>また、射的や藤つる原始織物体験、パン作りなどの体験や、温泉とらふぐ「てっさ」の試食会が行われて好評であった。午後には「秋葉街道ウォーキング」が開催され10名ほどの参加者と普段は入ることのできない町屋見学を行いながらガイドと共に地域散策を行った。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスに対する理解が深まり、市の貴重な財産との認識を持ってもらえることで、誇りのもてる地域づくりに貢献した。 -南アルプス及び遠山郷を訪れる観光客(登山者)の増加が期待できる。 ・エコパーク、ジオパークに対する理解が進み、遠山郷の新たな魅力として認識され、新たな観光客(新たな交流人口)の創出 - 教育分野での活用を進める。 ・エコパークの価値を高めてし活動を継続していくことで、南アルプス及び遠山郷は、リニア・三遠南信自動車道開通した際には、他にはない観光資源として大きな役割を発揮することにつなげたい。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・記念講演会を受けて特に地元の人々が、地域の価値を再認識する契機を得たので、 ・まず、地元観光施設職員を中心にガイド講座を実施し、訪れた観光客に案内できるようにする。 ・エコパーク資源を活かした滞在型観光化、リピーターの増加へつなげる活動の展開。 ・遠山郷らしい景観を見たくて訪れる観光客が多い。エコパークを契機としてこの地域の景観保全に向け、関係団体と協調して取り組む。 ・教育機関と連携し、エコパークを教育現場に活かしてもらおう活動を展開。学校や大学等での体験教育、研究活動の拠点地域にしていきたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		562,057
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	PR,記念品製作費	203,040
	チラシ印刷経費	237,240
	バナー製作費	59,616

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	地域の美しい景観を守るための環境保全活動
団体名	特定非営利活動法人川路グリーンカルチャー
代表者氏名	関谷藤吉
地区名	飯田市川路

取組みの目的	私たちは飯田市川路地域を中心に、住民、企業あるいは各種団体に対して、環境保全に関する事業を行い、人の営みと自然環境が調和した美しい地域づくりに寄与することを目的としています。
--------	---

具体的内容	下記の事業を行っています。 ① 除草、除伐による景観形成、環境保全事業 ② 緑化による景観形成、環境保全事業 ③ 農業をはじめとする地域産業を支援する事業
-------	--



説明

工業団地草刈



説明

太陽光発電パネル下草刈



説明

保育園児ジャガイモ収穫体験



説明

環境公園草刈

取組の経過	<p>今回交付を受けました事業内訳は下記のとおりです。</p> <p>平成26年5月 畑の土手の草刈 平成26年6月 杉の木の切断とチップ化 畑の草刈 平成26年7月 ソーラーパネルの下と周辺の草刈 土手の草刈 平成26年7月 ジャガイモ収穫体験 平成26年8月 遊休農地の草刈 河川とその周辺の草刈 平成26年9月 土手の草刈 平成26年10月 ソーラーパネルの下と周辺の草刈 平成26年10月 調整池周辺の木の伐採と草刈</p>
取組の効果	<p>竹藪、庭木、公園の樹木伐採、休耕田、ソーラーパネル下と周辺、土手の草刈、屋根のトヨ清掃等の要望に応え、高齢者、近隣、地域の住民に感謝されるとともに、地域の景観形成、環境保全に寄与した。リピート作業もあり、住民の要望に対応していることを実感している。また、地域活性化事業として、ジャガイモ収穫体験イベントを行い、保育園児、地域住民に感謝される。</p>
今後の取組	<p>地域住民の要望に細かく対応していく。今後も下記の作業が予想され、今までの作業実績を反映し、丁寧に取り組みする。</p> <p>①竹藪、庭木等の伐採 ②草刈、果樹等の収穫 ③ソーラーパネル下及び周辺の草刈 ④トヨの清掃</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		435,600円
うち助成金(見込み)		270,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	刈払機2台	114,000円
	発電機	76,000円
	チェーンソー	90,000円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	丸山小・西中学生と描く「リニア新時代まちづくり構想」の策定
団体名	羽場まちづくり委員会
代表者氏名	会長 佐々木 祥二
地区名	飯田市 羽場地区

取組みの目的	羽場地区の将来を描く、まちづくり基本構想基本計画を策定して、2027年リニア中央新幹線「(仮称)飯田駅」ができる頃に、子供たちの夢や希望が実現している羽場地区にしていきたい。 そのために、子供たちはじめ地域住民の声を拾い上げ、まちづくり委員会が中心となって未来構想の策定に取り組み、羽場地区の進むべき未来への道しるべを確立していく。
--------	---

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市の土砂災害防災訓練・地震総合防災訓練を羽場地区で実施した際、改めて安心安全の地域づくりの必要性や重要性を認識した。リニア中央新幹線のルートが当地区の地下を通ることが判明し、未来への夢や希望が膨らむ半面で、自然環境の変化や生活安全への心配も聞かえてきた。 ・羽場まちづくり委員会では、25年度の市政懇談会における西中学校生徒による「まちづくり未来提言」や羽場文化祭に寄せられた「羽場のあしたを考える作文」を重視し、26年度に羽場の進むべき将来を示す「羽場の未来構想策定委員会」を立ち上げて、構想策定に取り組むことにした。 ・住民アンケートを実施して、住民の意向を拾い出し、分野別に分けて検討していく。 ・丸山小学校と西中学校の生徒にも、まちづくり基本構想の策定に関わってもらい、リニア新時代における羽場地区や、丸山地区との共通課題への対応など、多面的に議論する場を設ける。 ・8月には小中学生を対象に、都留文科大学での受講及び、どきどきリニア館の視察研修、視察後にはワークショップなどを開催して、自分たちが大人になった頃の羽場地区を模索してもらい、未来構想に活かしてもらおう。 ・土地利用計画やゾーニングも検討する ・子供たちの夢や希望を反映し、各分科会は12月までにまとめて、構想冊子を3月に完成させて全戸配布する。
-------	--



説明

8月1日 子供たちが都留文科大学で受講



説明

子供たちが未来構想のワークショップ実施



説明

未来構想策定委員のワークショップ



説明

羽場の未来構想 (校正段階)

取組の経過	<p>1. 羽場の未来構想策定委員会を立ち上げた。</p> <p>2. 3月～4月、全戸配布アンケートを実施。寄せられた将来に対する意見や希望を、分野ごとに集約し、分科会を立ち上げて詳細を討論した。</p> <p>①羽場の自然と伝統文化を守り育てる ②あいさつと交流で笑顔あふれる羽場 ③命を大切に作る住み良いまち(犯罪と事故「ゼロ」のまち) ④女性が輝くまち ⑤ワクワク体験いっぱいの公民館活動 ⑥清潔で花あふれる羽場</p> <p>3. 8月1日には小中学生を対象に視察研修とワークショップを開催した。また8月11日にワークショップを開催して、まちづくりを模索し未来構想を検討した。</p> <p>4. 土地利用計画やゾーニングを検討した</p> <p>5. 10月に各分科会が中間報告をして、情報共有しながら12月までに整理しまとめた。</p> <p>6. 2月16日の羽場地域協議会にて羽場の未来構想を提示、地区内回覧で原案提示</p> <p>7. 冊子パンフは3月に印刷し、全戸配布する。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが羽場地区のことを詳しく知る機会となった。 ・まちづくりの将来像を描くことで、郷土愛が育み、UIターンへの意識も持てた。 ・まちづくり基本構想を策定することにより、住民の地域づくりへの意識を高められ、ムトスの精神が育まれる。 ・丸山地区とは学校区が同じであり、同様の課題や取り組みを進めている。今後も地域間連携を促進して、まちづくりの連携協働を広げていく。 ・リニア新幹線の開通を意識した仕事の仕方、グローバル社会への対応、人づくりにつながった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのまちづくり基本構想を尊重しながら、丸山地区との連携を強化していく。 ・地区独自の課題や問題に対する取り組みを展開しながら、両地区で情報交換していく。 ・子供たちを取り巻く環境においては、両地区が協力して対応し、地域づくりに関わる。 ・共通課題については、従来よりも連携した対応を推進する。 ・リニアを見据えたまちづくりを推進する。 ・地域と学校との連携や協働が活発化する。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		266,000
うち助成金(見込み)		150,000
主な経費内訳 (上位3項目)	構想冊子印刷製本	216,000
	構想ワークショップ	15,000
	リニア他視察研修	35,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	丸山小・西中学生と描く「リニア新時代まちづくり構想」の策定
団体名	丸山まちづくり委員会
代表者氏名	会長 池田 延史
地区名	飯田市 丸山地区

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・羽場丸山地区は本年度まちづくり基本構想の策定をする。未来を担う子供たちが故郷を愛しここで生活できる地域になるよう、子供の夢や意見を反映した構想づくり(プロセス)が重要であり、協働して取り組みたい。 ・両地区の地下をリニアが通ることとなり、共通課題に対応していく必要がある。 ・両地区は小中学校区が同じであり、交通安全等の課題対応も協働した取り組みを推進している。協働連携を進めていきたい。(例:知久町踏切の改良問題、西中学校通学路道路工事、有害鳥獣対策、ほか) ・まちづくりの未来方向性を議論して、住民の意識を高めたい。
--------	--

具体的内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 小中学校から「構想策定員」(小12+教師2、中14+教頭2)計30名を選出。 2 7月下旬に「どきどきリニア館」等リニアと環境関連の視察研修を実施。 3 視察研修の感想と居住地域に対する想いについて、レポートを提出してもらおう。 4 8月に小学生と両まちづくり委員会がワークショップを開催して提言をまとめる。 5 8月に中学生と両まちづくり委員会がワークショップを開催して提言をまとめる。 6 各まちづくり委員会は子供からの提言を尊重し、地区基本構想を検討する。 7 まちづくり委員会はそれぞれ、全家庭に配布する構想の冊子を制作。
-------	---



説明

どきどきリニア館視察



説明

小中学生とまちづくり委員会のワークショップ



説明

構想策定委員研修会



説明

各分科会検討会

取組の経過	6月～ 小中学校へ児童生徒の協力依頼 8月 1日 「どきどきリニア館」視察、都留文科大学学長講話研修を実施し、レポートの提出 8月11日 小中学生と両まちづくり委員会とのワークショップ開催 8月～ 児童生徒からの提言を尊重し、地域基本構想を各分科会で検討 8月～ 地区内住民アンケートの実施 12月10日 策定委員会全体会議で地域基本構想(素案)を策定 12月22日から1月21日 地区内へのパブリックコメントを実施 以下実施予定 1月下旬 地域基本構想の成案完成 2月6日 丸山地域協議会への諮問 2月中旬 地域基本構想の完成 3月中旬 冊子の印刷製本完成 3月下旬 地区内各戸へ冊子配布
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想策定に対して住民の意識が高まる。 ・リニア視察は、両地区共通して現実味を帯びた近未来を創造させる体験となり、地区基本構想に反映できる。 ・地区ごと策定する基本構想だが、両地区共通課題(小中学校、子供の教育関係など)について意見交換と共通討議ができ、より深く構想策定ができる。 ・将来を担う子供たちが地域づくり基本構想に関わることにより、未来を示唆する指針を策定する過程において、現実可能性に言及する内容になる。 ・3つづくり「産業づくり」「地域づくり」「人づくり」に寄与する。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・両地区は今後、基本構想の進捗をお互いに意識して地域づくりに関わる。 ・共通課題について、従来よりも連携した対応ができやすくなる。 ・リニアを見据えたまちづくりに活かせる。 ・小中学校は、両まちづくり基本構想を理解して協働する事例が増える。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		440,000
うち助成金(見込み)		150,000
主な経費内訳 (上位3項目)	構想冊子印刷製本	390,000
	構想ワークショップ	15,000
	リニア他視察研修	35,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	心きらめくプロジェクションマッピング&ライトアップ事業
団体名	橋北面白倶楽部
代表者氏名	座長 相津博人
地区名	飯田市 橋北地区

取組みの目的	<p>旧飯田測候所が登録有形文化財に指定され、整備された。従来はイルミネーションで装飾して旧飯田測候所を知ってもらうことや住民交流を図ってきたが、整備された建物に電飾の取り付けができなくなった。</p> <p>そこで、新たに整備された建物の壁に、南信州に関連した映像をプロジェクションマッピングで映しだすとともに、建物や脇坂門をLEDライトでライトアップして文化財としてのすばらしさを多くの市民に感じてもらうことにより、住民交流の場とし、コミュニティと賑わいを生み出す。</p> <p>使用する電気は、太陽光発電エネルギーを使用するなど、エコとエネルギーへの関心を高める。</p> <p>飯田OIDE長姫高校と連携してイベントを盛り上げる。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクションマッピングにて旧飯田測候所を装飾(イベント実施時) 南信州に関連した映像や、CGで作られた画像を映し出し、住民交流と地区内のコミュニティと賑わいを生み出す。 ・プロジェクションマッピングに使うプロジェクターの電源を、おひさま進歩エネルギーさんの充電器に橋北公民館の太陽光パネルから集めた電気を使う。 ・旧飯田測候所の建物と脇坂門をライトアップする。敷地内は従来の電飾にて飾りつけをする。(1週間程度実施予定) ・電飾装置設置、片付け(面白倶楽部員ほか地域内協力者を広く募って実施) ・ライトアップ設置、片付け。毎日の電源管理(面白倶楽部員、おひさま進歩ほか協力者にて実施)



説明 おひさま進歩さんのパネルを使い発電



説明 OIDE長姫高校さんの人力発電コーナー



説明 旧測候所ライトアップとイルミネーション



説明 プロジェクションマッピングの様子

取組の経過	<p>5月27日 鼎文化センターホールで齋藤秀一さんよりプロジェクションマッピングの説明</p> <p>8月25日 旧飯田測候所でプロジェクションマッピングのテスト</p> <p>11月22日 23日 29日 30日 12月6日 9日(夜間) 10日(夜間) 13日 旧飯田測候所敷地内イルミネーションの飾り付け</p> <p>12月14日～21日 イルミネーションフェスタ開催</p> <p>12月14日～19日 イルミネーション点灯 PM5時半～PM9時まで</p> <p>12月20日 プロジェクションマッピング準備の為イルミネーションを休む予定でしたが雨天の為、準備作業中止で点灯</p> <p>12月21日 プロジェクションマッピング準備の為早朝4時集合 PM3時よりイベント開催 PM5時20分 6時 6時半 7時 プロジェクションマッピング上映</p> <p>12月22日 点灯予定ではなかったが要望が多かったためイルミネーション点灯</p> <p>12月23日 イルミネーション片付け</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わる映像の投影により、地域の一体感を高める。 ・地区住民に建物や脇坂門への関心を高めてもらう。地域の誇りと感じてもらう。 ・電飾の飾りつけを多くの方に関わってもらい、世代間交流と地域への愛着の醸成につながる。 ・再生可能エネルギーの普及促進と、地域内にエネルギーへの関心を高める。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・旧飯田測候所をコミュニティの拠点として利活用を進める。 ・プロジェクションマッピングの企画に飯田OIDE長姫高校さんにも協力を呼びかけたい ・橋北地区内のほかの建造物などへも利用を広げたい。 プロジェクションマッピング (教育会館)(創造館)(浜井場小学校田筒校舎) イルミネーション・LEDライト (春草公園)(教育会館) ・再生可能エネルギーについて住民の理解を広げ、節電意識の高まりを図る。 ・環境教材(人力発電)を、子どもたちを交えて作成しイベントに使うことを考える。 ・おひさま進歩エネルギーさんと協力して人力発電機を作りたい。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	724,279
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	音響LEDライト関係費	514,864
	プロジェクションマッピング関連費	70,000
	イルミネーション備品購入費	44,618

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	心きらめくプロジェクションマッピング&ライトアップ事業
団体名	特定非営利活動法人 南信州おひさま進歩
代表者氏名	松江 良夫
地区名	飯田市 橋北地区

取組みの目的	<p>旧飯田測候所が登録有形文化財に指定され整備された。従来はイルミネーションで装飾して旧飯田測候所を知ってもらうことや住民交流を図ってきたが、整備された建物に電飾の取り付けができなくなった。</p> <p>そこで、新たに整備された建物の壁に、南信州に関連した映像をプロジェクションマッピングで映しだすとともに、建物や脇坂門をLEDライトでライトアップして文化財としてのすばらしさを多くの市民に感じてもらうことにより、住民交流の場とし、コミュニティと賑わいを生み出す。</p> <p>使用する電気は、太陽光発電エネルギーを使用するなど、再生可能エネルギーへの関心を高める。飯田OIDE長姫高校と連携してイベントを盛り上げる。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 旧飯田測候所の敷地内をイルミネーションで装飾 側風塔、東屋、脇坂門、緑地等をイルミネーションで装飾。イルミネーションフェスタ期間中(14日～21日)に点灯。 プロジェクションマッピングにて旧飯田測候所を装飾 春夏秋冬の映像を旧飯田測候所の壁に映し出した。(プロジェクションマッピング) プロジェクションマッピングに使うプロジェクターの電源を、南信州おひさま進歩の蓄電池を使い橋北公民館の太陽光パネルから集めた電気を蓄電し使用した。 イルミネーションに使用する電気の一部を独立型の太陽光発電を電源にして使用した。 環境教材を設置や、蜜蝋ろうそくワークショップを行うことによって環境問題への意識の高揚を図った。



説明 太陽光発電をライトアップに利用



説明 太陽光発電の電気を蓄電し利用



説明 ライトアップとイルミネーション



説明 蜜ろうそく作りのワークショップ

取組の経過	<p>6月中旬:『イルミネーションフェスタ2015』にて、面白倶楽部と南信州おひさま進歩が協働で取組むことを確認。ムトス飯田まちづくり事業に申請書を提出。</p> <p>7月中旬:ムトス飯田助成事業審査通過</p> <p>8月下旬:旧飯田測候所の壁を利用しプロジェクションマッピングのデモ</p> <p>10月上旬:大型LEDライトと音楽との連動のデモ</p> <p>10月上旬:齋藤秀一氏(鼎文化センター)へプロジェクションマッピング協力依頼</p> <p>10月下旬:OIDE長姫高校商業科とクリスマスイベントの協働での実施を依頼</p> <p>11月22日～12月13日:イルミネーションの飾り付け期間</p> <p>12月14日～12月21日:イルミネーションフェスタ開催(PM5時半～PM9時まで)</p> <p>12月21日:プロジェクションマッピング・クリスマスイベント開催</p> <p>＜クリスマスイベント＞PM3時～PM5時＝蜜蝋キャンドルづくりや環境教育クイズを使ったワークショップを実施。</p> <p>＜プロジェクションマッピング上映＞PM5時20分、6時、6時半、7時計4回上演</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーションフェスタ期間中(12月14日～19日)の来場者数:1日あたり約10名～50名。 ・プロジェクションマッピング・クリスマスイベント(12月21日)の来場者数:約2000名。 ・旧飯田測候所や脇坂門など地域で古くから大切にされていた建築物を利用し、イルミネーションやプロジェクションマッピングの投影することによって地域の一体感を高めることができた。 ・電飾の飾りつけなどに多くの関わり、橋北まちづくり委員会・橋北面白倶楽部・南信州おひさま進歩三者の交流の機会となった。 ・再生可能エネルギーの分野に来場者が興味関心を寄せる機会となった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・旧飯田測候所をコミュニティの拠点として利活用を進める。 ・再生可能エネルギーについて住民の理解を広げ、節電意識の高まりを図るため環境イベントを実施する。 ・環境教材(人力発電等)を、子どもたちを交えて製作するイベントを開催する。 ・橋北地区内の他の建造物なども利用し、プロジェクションマッピング、イルミネーションを実施する。 <p style="text-align: center;">プロジェクションマッピング (教育会館)(創造館)(浜井場小学校円筒校舎) イルミネーション・LEDライト (春草公園)(教育会館)</p>

○取組経費 (単位:円)

*橋北面白倶楽部に掲載あり

事業費総額(見込み)		*****
うち助成金(見込み)		*****
主な経費内訳 (上位3項目)		*****

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	「あざれあ」活用による地域担い手レベルアップ事業		
団体名	一般社団法人南信州ここに ・ 春日二八会 ・ 天龍峡この指とまれ		
代表者氏名	代表理事 木下利春	澤柳春好	松尾真由美
地区名	飯田市龍江 「あざれあ」		

取組みの目的	<p>伊那谷を中心とした地域の自然や人材を活用し、多種多様な文化の中で生活する多世代にわたる住民が、互いにその果たす役割を尊重し共生することができる地域社会の実現に寄与する。</p> <p>その中でH25.10より飯田市より「あざれあ」の指定管理を受けたことにより、より天龍峡方面へ力を注ぐこととなった。</p> <p>天龍峡地域における食文化を構築し観光客の誘客につなげる。地域内で活動している食のグループと連携し、あざれあをその主要施設として活用し、食を地域の特産品とするために地域住民・団体が商品開発、情報発信等することにより、地域の食文化を継承し観光地として持続できるよう展開します。</p>
--------	--

具体的内容	<p>あざれあを主要活動場として活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あざれあは、活動場の提供(施設、設備、人材含む)から地元販売所として販売できるような要件を充実(コーディネート、研修会、情報発信(ウェブ・地域への看板案内)、販売しくみ)し、天龍峡周辺店との連携も協議する。 ・内浦有美氏の2回は、地域活性化のための人材育成、今参加者がやらなければダメ、先送りもダメ、参加者が主役となり活動しレベルアップすることで、周辺も刺激される。 ・こめんばなの1回は、実際に地元で五平餅主体に活動している実態の講義とその実習を行い、参加者が感覚をつかむ。 ・長谷川義洋氏の5回は、食に関するイロハから実際に提供する場合の視点を実習を交えて研修し、食提供への一段高い知識と技術を身に着ける。 ・春日二八会は、学習会を行うことで、そば食提供がなぜ必要か、そばはどのような良さがあるのか、喜ばれる提供の仕方などの知識を地域の材料と人材であざれあを活用してそば打ち技術の向上を図り、催しや休日でのそば食提供を行い、接客も含めたそば食のレベルアップを図る。 ・天龍峡この指とまれは、学習会を行うことで知識を地域の材料と人材であざれあを活用してレトルトカレーの研究・製造を行い、天龍峡商店街、地域での販売を行う。二つの活動により、まずは係る個人・団体のレベルアップを図る。
-------	---



説明

8/24内浦講師の講義



説明



写真

説明	説明
----	----

取組の経過	<p>8月24日 内浦有美講師による講座開催1 目的・対象の設定</p> <p>9月13日 内浦有美講師による講座開催2 実施イメージ共有</p> <p>11月 5日 内浦有美講師による講座開催3 企画・商品</p> <p>11月23日 地域振興に欠かせない若い人担い手を参集し 地域がまとまれるような企画、イベント研究</p> <p>12月 9日 長谷川義洋講師による講座開催1 蕎麦づくり実習と各地域の蕎麦文化現状</p> <p>1月 8日 長谷川義洋講師による講座開催2 蕎麦の新つゆづくり実習</p> <p>2月22日 内浦有美講師による講座開催4 新しいカレーについて講義と実習</p> <p>3月 日 長谷川義洋講師による講座開催 新つゆを用いて豊橋で蕎麦・新しいカレー体験を行い、誘客やビジネスにつなげるための状況把握を行う。</p>
取組の効果	<p>○これまでの団体ごとのまとまりから、他の団体とも連携できるような広がりが始まった。</p> <p>○若い方がふさわしい仕組みや仕掛けを考える機会を模索できた。</p> <p>○新つゆを考え、新しい蕎麦として提供し活性化に向けた取り組みが出来るようになってきた。</p> <p>○新しいカレーをつくりを行い、地域活性化に向けた取り組みが出来るようになってきた。</p>
今後の取組	<p>○新しい食の地域での販路が明確にできなかったため、販売店の宣伝等を進める。</p> <p>○地元自治組織等を交えて、域内ブランドとして知らしめる等を進める。</p> <p>○口で味わうだけでなく、目で美味しさが分かるような工夫も進める。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		271,000
うち助成金(見込み)		271,000
主な経費内訳 (上位3項目)	講師謝金	210,000(210,000)
	借用料 会場費 用具費 材料費	50,000(50,000)
	通信費	5,000(5,000)
	資料・消耗品	6,000(6,000)

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	安全安心なまちづくり事業(街頭防犯カメラ設置事業)
団体名	橋南まちづくり委員会
代表者氏名	会長 原 勉
地区名	橋南

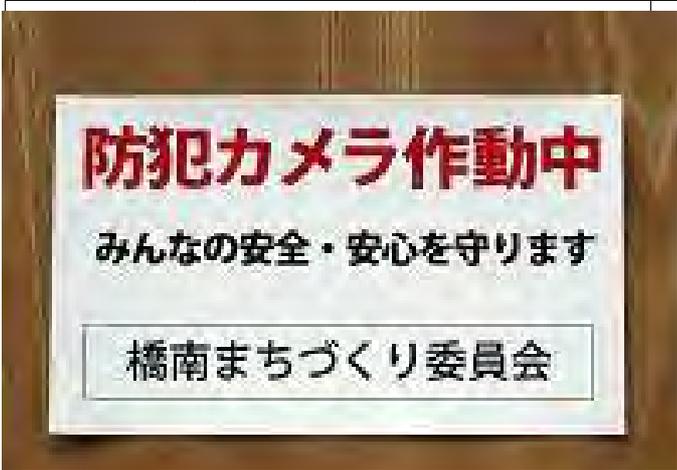
取組みの目的	<p>橋南地区とその周辺は平成24年に165件の犯罪が発生しており、2日に1件の割合いで何らかの事案が発生したことになる。まちづくり委員会では警察との協議において防犯対策にカメラ設置を検討していた。</p> <p>そのような中、平成25年8月3日に飯田駅近くで放火事件が発生し、以降12月1日までに4回の不審火が発生した。(更に26年度に入りトス助成申請後に3件発生)</p> <p>飯田の中心地で交通の要所でもあるこの周辺には、飯田駅、動物園、図書館、美術博物館など公共施設が多数あり、また商店街で食事や買物を楽しむため中心市街地へ来られる方々に対し、安全安心を提供できる対策として、街頭防犯カメラを設置することを今回申請した。</p>
--------	---

具体的内容	<p>○防犯カメラを2カ所に設置(1カ所につき4台のカメラ)</p> <p>○プライバシーの問題や事件発生時には警察とのやり取りがスムーズに行えるよう、地区として設置基準を定め運用する。</p>
-------	---



説明 赤＝放火箇所 緑＝カメラ設置箇所

説明 設置状況



写真

説明 ステッカー

説明

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初は地区独自の助成事業として、自治会に設置を呼び掛けるとともに助成を始める。 ・4月 設置基準を定める。 ・ムトスの助成事業に応募し採択。 ・商栄会では本年経済産業省関連事業で防犯カメラを設置することとなった。 ・面的整備により更に効果を高めるため、商栄会がないところや、隣接する東野地区とも共同して事業を実施。 ・9月 設置完了 ・10月 「防犯カメラ設置済み」のステッカーを付ける。
取組の効果	<p>重大な犯罪に限らず小さなトラブルなども抑止することによって、周辺から安心して買い物客などが街を訪れていただけるようになる。</p> <p>このことは商店街とともに発展してきた地域の為でもあり、まちづくり委員会が安定的に事業を行っていくことにつながる。</p>
今後の取組	<p>単年度では必要箇所に設置しきれないので、引き続き防犯カメラを設置していく。</p> <p>プライバシーの保護も考慮する中で、防犯カメラがあり安心だという意識を周辺地域の方に周知していく。(広報・ICTVなども利用)</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		194,508
うち助成金(見込み)		150,000
主な経費内訳 (上位3項目)	防犯カメラ設置費	186,948
	ステッカー印刷代	7,560

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	安全安心なまちづくり事業(街頭防犯カメラ設置事業)
団体名	東野まちづくり会議 (橋南まちづくり委員会との協働事業)
代表者氏名	会長 會川 義明
地区名	東野

取組みの目的	<p>○中心市街地の一部を形成する東野地区及び橋南地区は、犯罪の発生率が高く、平成24年に165件と2日に1度は中央通りと周辺で何らかの事案が発生しており、両地区としても防犯対策にカメラ設置を検討していた。</p> <p>○そのような中、平成25年8月3日に飯田駅近くで放火事件が発生し、以降12月1日までに4回の不審火が発生した。(更に26年度に入りトス助成申請後に3件発生)</p> <p>○飯田の中心地であり交通の要所でもある飯田駅と動物園、図書館、美術館など公共施設が多数あり、また商店街で食事や買物を楽しむため中心市街地へ来られる方々に対し、安全安心を提供できる対策として、街頭防犯カメラを設置することで今回申請した。</p>
--------	--

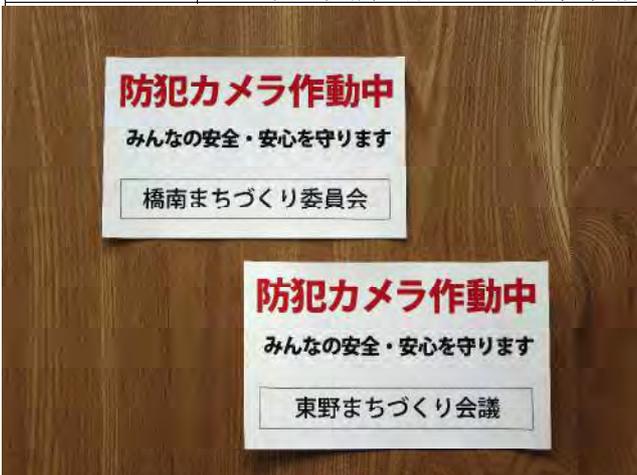
具体的内容	<p>○防犯カメラを2カ所に設置(1カ所につき4台のカメラ) (東野、橋南各2カ所設置)</p> <p>○プライバシーの問題や事件発生時には警察とのやり取りがスムーズに行えるよう、地区として設置基準を定め運用する。</p>
-------	---



説明 赤＝放火箇所 緑＝カメラ設置箇所



説明 カメラ設置状況



説明 周知用ステッカー



説明 カメラ4台、レコーダー1台

	<ul style="list-style-type: none"> ・6月 まちづくり会議役員会で、ムトスの助成事業応募を決定 ・6月 ムトス助成申請 ・7月 自治会へ設置希望調査の実施 ・7月 ムトス助成決定 ・9月 設置完了 <p>(参考)・商栄会では本年経済産業省関連事業で防犯カメラを設置することとなった。 ・面的整備により更に効果を高めるため、商栄会がないところや、隣接する橋南地区と協働して、ムトス助成事業で防犯カメラを設置</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ○重大な犯罪に限らず小さなトラブルなども抑止することによって、周辺から安心して買い物客などが街を訪れていただけるようになる。 ○このことは商店街とともに発展してきた地域の為でもあり、まちづくり会議が安定的に事業を行っていくことにつながる。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○単年度では必要箇所に設置しきれないので、引き続き防犯カメラを設置していく。 ○プライバシーの保護も考慮する中で、防犯カメラがあり安心だという意識を周辺地域の方に周知していく。(広報いいだ・ICTVなども利用)

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		172,044
うち助成金(見込み)		150,000
主な経費内訳 (上位3項目)	防犯カメラ設置費	168,804
	ステッカー印刷代	3,240

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	いのちと看取り 「いのちをバトンしよう」いのちを大切にする地域へ
団体名	看取りの文化研究所 ・ NPO法人飯田ボランティア協会
代表者氏名	二木 はま子 ・ 大藏 正明
地区名	飯田市松尾 ・ 飯田市松尾

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の視点で考えたエンディングノートの作成・出版 ・自分のいのちを次の世代にバトンするために、市民が自らエンディングノートを作成できる力を付けるための勉強会を行う ・自分らしい最期を迎えるために、死と向き合い自分の生き方を考える勉強会を行う。 ・死に逝く人の立場での看取りケアの実践ができるために、看取りの知識、技術、感性を学ぶ場を提供する。 ・市民のエンパワーメントを目的に「いのちを話そう広場」を開催する。 ・「いのち」そして「死」を考えていく中で、「いのち」を大切にする人が育ち、ひいては「いのち」を大切にする地域になっていくことを目的とします
具体的内容	<ol style="list-style-type: none"> 1)エンディングノート「人生最終章の私の願い」の作成と発行 2)「いのちをバトンしよう」勉強会の開催 <ol style="list-style-type: none"> ①エンディングノートの必要性和書き方について ②絵本を活用して死生観を育む ③大切な人を亡くした遺族の悲嘆に寄り添う(グリーフケア) ④私ができる「いのちをバトン」を考える 3)絵本の朗読と「いのちを話そう広場」の開催



説明 第2回講座 手話通訳者について学習中



説明 第5回講座、多職種が交流



説明 ゲストを招いて司会・進行



説明 参加者からの活発な意見

取組の経過	<p>○4月～6月 エンディングノート作成準備 ○6月 エンディングノート印刷・出版 ○「いのちをバトンしよう勉強会」開催(7回)⇒参加の方にエンディングノート配布 ①7月16日 記入してみようエンディングノート ②8月29日 死生観を育もう・特養喬木荘松葉施設長の「延命医療の選択で戸惑った体験発表」 ③9月26日 記入してみようエンディングノート ④9月28日 体験しようエンゼルメイク ⑤10月31日 家族の悲嘆へのケア・特養ゆい飯島施設長の「家族の悲しみに寄り添う体験発表」 ⑥11月26日 記入してみようエンディングノート ⑦ケアに活かす「人生の物語」ー参加している方に「わたしは〇〇をいのちのバトンをしたい」と考えて書いてもらった ○いのちを話そう広場開催(2回)ーいのちをテーマにした絵本を使っのちに関する想いや、感じたことを自由に話そう ①1月20日 ②2月10日 ○エンディングノートを150冊福祉施設・図書館・飯田市の保健師さんなどへ寄贈する ○「いのちをバトンしよう勉強会」に、手話通訳者を配置して、聴覚障がいの方の参加を積極的に呼びかけた。</p>
取組の効果	<p>○協働で開催したこと、また、テーマが市民の切実なニーズと合致したことで、参加者から「講座を手伝いたい」という声が出されて、受付業務、アンケートのまとめなど主催者と参加者、参加者相互の交流やネットワークづくりに繋がった。 ○エンディングノートは死の準備でなくどう生きるかを考えるために書くことが理解された。 ○家族を亡くしてつらい思いをしていた方や介護をして悩んでいる方が、自分の思いを語る時間があって、次へ繋がっていく場となることができた。 ○市民の皆さんと、介護職・看護職等の専門職と、また、葬儀業・仏教関係の方など、多方面の参加者があって、それぞれの立場での取り組みを聞くことができ、今までに無い大きな成果であった。(いのちをバトンしよう231名参加・いのちを話そう広場1月は18名参加) ○聴覚障がいをお持ちの方が2名参加をしてくれた。 ○参加者が自分の死と向き合い死生観を育むことができた</p>
今後の取組	<p>○「いのちと看取り」をテーマとした講座は、息の長い取り組みが求められています。引き続き新年度もシリーズで講座を計画し、死生観を育み、いのちについて考える地域になるように活動していきたいと考えます。 ○大切な人を亡くした遺族の悲しみを癒すための「グリーフカフェ」を開催したいと思います。 ○エンディングノートの必要性を理解していただけるよう、市民の皆さんのニーズに合わせて活動して行きたいです。 ○「いのちや死」について考える様々な専門家がいますが、そのような講師を外部から招き、シンポジウムなどを開催する事も今後の希望です。 ○いのちをテーマにした絵本を使っのちの学びの場(いのちを話そう広場)を行って行きたいです。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		507,000円(見込み)
うち助成金(見込み)		300,000円(見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	エンディングノート作成・印刷経費	274,600円
	謝金(講師と手話通訳者)	94,000円
	印刷代	63,000円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

(ふりがな)	いいだしりついいだひがしちゅうがっこう		
団体名称	飯田市立飯田東中学校		
(ふりがな)	こうちょう みぶ ひでふみ		
代表者氏名	校長 壬生 英文		
設立年月日	昭和22年4月		
ホームページ	http://higasijh.ed.iidanet.jp		
活動内容	 <p>夏休み中、親子でりんご並木の除草をしました。</p>  <p>11月。来年度入学する小学生と収穫をしました。</p> <p>飯田市のりんご並木は、昭和28年、飯田大火からの復興の中、飯田東中生の発案でスタートしました。一面の焼け野原は復興され、きれいな市街地となりました。そして、その時の中学生の「自分たちの手で美しい街をつくろう」という願いは、今もなお、“並木のころ”として、受け継がれています。</p> <p>飯田東中学校の生徒は、りんごを育て収穫するために活動しているのではなく、りんごの世話を通して、人と人が助け合う街づくりの一助となり自分自身が成長できる事を願い、りんご並木を守り続けています。この並木を通る時、りんご並木に込められている願いを感じてください。</p>		
PRしたいこと	<p>飯田大火からの復興や東中の校舎焼失にあたり、全国の方々からのたくさんの支援をいただきました。</p> <p>私たち飯田東中生は、東日本大震災などで苦労をされている方々の力になればと、『時代をこえた恩返し』をキャッチフレーズに、陸前高田の中学校や飯田市に避難されている南相馬の方、避難所の方々にりんごやアルミ缶回収で得た資金を届けました。このりんごを食べていただき、少しでも笑顔を取り戻していただければと願っています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>りんごの木の管理はとても手間のかかる仕事です。中学生だけではできないことが山ほどあります。消毒などは、アドバイザーの皆さんやシルバー人材センターの方々のお世話になっています。また、きれいに咲き誇る花々は、下伊那農業高校の皆さんが育てた苗を、中学生と高校生と一緒に植えたものです。りんご並木は、多くの方々の力と応援で守られています。飯田東中学校りんご並木後援会や花を植える会をはじめとする地域の皆さんと連携し、これからもこのりんご並木を守っていきたいと思います。</p>		
困っていること	<p>街の真ん中にある皆の並木通りですが、ときどきペットボトルや空き缶などのゴミが捨てられていることがあります。私たちも、きれいな並木通りになるよう頑張っ手入れしていきますので、地域の皆さまのご協力をお願いします。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特にありません。摘果作業や収穫作業の折には、是非とも参加して頂きたいです。

(ふりがな)	えぬびーおー かつどうほうじん おおだいらじゅく		
団体名称	NPO活動法人大平宿をのこす会		
(ふりがな)	だいひょうりじ いつぼ おさむ		
代表者氏名	代表理事 井坪 修		
設立年月日	1976年		
ホームページ	http://www.odaira.org		
活動内容	<p>1、建物保全活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家屋の保全及び清掃、草刈り。井戸川、黒川清掃による飲料水の保全。 <p>2、近隣登山口の管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 摺子木山自然園の手入れおよび小屋の管理。安平路小屋の管理 ・ 大平峠より大平宿までの旧道整備 <p>3、生活体験者受け入れ業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生の宿泊体験の補助 		
	   		
PRしたいこと	<p>昭和45年集団離村を行った大平宿は、単に廃村では無く、電気・水道が使用でき宿泊ができる江戸～明治時代の建物群として、一般に広く開放されています。現代日本では、なかなかできない「薪でおこした火を囲炉裏で自由に使う」ことができる日本唯一の場所です。</p> <p>建物は湿気が大敵です。この湿気を飛ばすため、囲炉裏で火を焚き生活体験をしていただき建物の保全に努めます。体験者は自由に囲炉裏を使い、ご自身で飲食を楽しんでください。かまどで炊いたご飯と囲炉裏であぶった肉、マキで沸かしたお風呂。是非、試してみてください。10年後、「リニアで行ける電気と水道のある廃村」を目標としていきます。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>【連携中】(社)日本ナショナルトラスト協会、(特)日本民家再生協会、生活文化同人、景観ボランティア明日香・・・大平宿の各民家の修復作業</p> <p>【連携したい団体、したいこと】南信州観光公社やアルプス冒険クラブといった、「本物の自然などで本物の体験」を行う諸団体と連携し、間口の広い体験活動を行い、大平宿の認知向上および生活体験を行うことで建物保全につなげていきたい</p>		
困っていること	<p>1、会員自体の高齢化、会の中心的人材の育成、広報機能や計画立案機能を強化したい</p> <p>2、建物自体の老朽化対策、大きな修復からも20年ほど経過しており、大平宿そのものの消滅が見えつつある。この数年で大がかりに手を入れる頃。</p> <p>3、広く大平宿を広報するにあたり、トイレの水洗化を是非行いたい(公衆トイレだけでも)。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・入会金、年会費若干あります ・何をしてはいけないという決まりや、何をすべきだとかはありません。 ・大平宿にとって良いことを、話し合いをして実践していきましょう。 ・そして一緒に囲炉裏を囲みましょう！ ・食材実費を頂きます
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・何をしてはいけないという決まりや、何をすべきだとかはありません。 ・大平宿にとって良いことを、話し合いをして実践していきましょう。 ・そして一緒に囲炉裏を囲みましょう！ ・ボランティア保険、食材実費を頂きます

(ふりがな)	さきくろのふくろの会		
団体名称	猿蓑の泉保養会		
(ふりがな)	ひらさわ 英治		
代表者氏名	平澤 英治		
設立年月日	昭和61年7月20日		
ホームページ			
活動内容	 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・泉と泉周辺の清掃 ・通常週1回清掃見回り及び便所清掃管理 		
PRLしたいこと	来客者が気軽に水汲みが出来る、環境に良いこと。 (何處か来たいと思える様)		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	磐安会生産森林組合、飯田市観光課		
困っていること	駐車場が狭い		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	永年 ^{75歳以上} 泉に關心を有する人 (熱心者)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	永年關心を有する、永年ボランティアとして参加出来ること。(50代~60代(中高年))

(ふりがな)	いなしがくかい		
団体名称	伊那史学会		
(ふりがな)	はらだ のぞむ		
代表者氏名	原田 望		
設立年月日	1952年 8 月 1 日		
ホームページ	伊研協のホームページ参照		
活動内容	<p>毎月、郷土史誌「伊那」は発刊。 年次大会(本年で60回)における学術講演会の開催。 郷土巡礼(456回)による地域の歴史探訪。 古文書クイズによる学習など</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>泰阜村への郷土巡礼(第456回)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>九州への郷土巡礼(第455)</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>伊那が昭和27年に復刊して以来64年、一度の休刊も無く毎月発行を続け、その論文総数は8千件を超え、いまや郷土の文化的資産となっている。 このままでは遠からず絶滅せざるを得ない。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	郷土巡礼で地域の探訪		
困っていること	会員の高齢化と活字離れ		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	月刊郷土史誌、年会費6,000円(1部550円)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだぶんかきょうかい		
団体名称	飯田文化協会		
(ふりがな)	やたかこうじ		
代表者氏名	会長 矢高仰児		
設立年月日	年 月 日		
ホームページ	https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/41/jigyou-kyoukai.html		
活動内容	<p>毎年、11月の休日、4日間に亘って開催される「伊那谷文化芸術祭」は、今年で第28回となった。</p> <p>この芸術祭は、飯田文化協会と飯田文化会館の主催で行なわれ、昨年は、出演団体数74団体、75ステージ、出演者2,000人、期間中の観客を含めると、総人数が述べ一万人余に及ぶ、この地域の最大の芸術祭である。その運営方法や出演ジャンルの多彩さは、県内・国内でも類を見ない特色あるものとして多方面から注目され、昨年来、県外からの視察も増えている。</p>		
PRしたいこと	<p>伊那谷文化芸術祭への出演団体を軸とする、飯田下伊那地域の舞台芸術創造団体で活動する愛好家によって任意に組織された団体。広い視野をもって地域の文化・芸術に目を向け、飯田文化会館と共に、舞台芸術の資質向上と地域社会における共通財産としての認識を高め、より多くの市民が文化・芸術に親しむことによって、心豊かな生活を営むことのできる地域づくりを目指している。</p> <p>さらに、飯田文化協会の組織力と長期間に亘る活動により蓄積されてきている様々なノウハウを通じて、地域文化の振興を図っていく過程において、舞台芸術創造団体の個としての、あるいは団体・ジャンルの「声」を文化行政に反映していく活動も推進している。</p> <p>また、地域で事業や公演を行おうとする舞台芸術の団体への協力、後援を積極的に行っている。</p> <p>飯田文化協会は、これまでに、伊那谷文化芸術祭の開催を主な事業とする中で多くの文化芸術活動の団体設立に関わってきた。飯田に初めてのオーケストラをと設立された「飯田交響楽団」、高齢者の活動の場をと設立された「飯田シルバーコーラス」、そして「童謡唱歌をうたう会」、さらには「飯田少年少女合唱団」「演劇宿」「子ども演劇教室」、そして社会人による人形劇団「寺小屋」設立への支援。このほかにも、同じジャンルを組織して発足した、「飯伊一般吹奏楽連絡協議会」近年設立された「飯田下伊那合唱連盟」など、伊那谷文化芸術祭を取り巻く団体とその仲間のパワーによって、そして飯田文化会館の支えがあって成し得た事業である。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	芸術祭運営スタッフ 条件はありません。



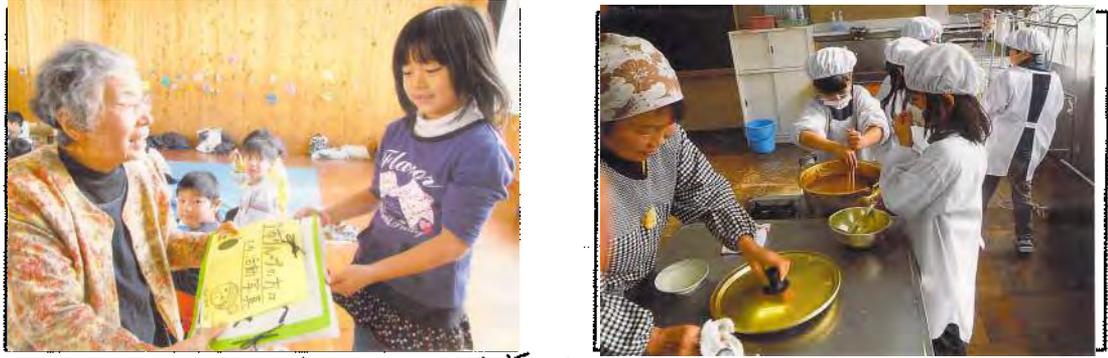
(ふりがな)	いいだしみんすいそうがくだん		
団体名称	飯田市民吹奏楽団		
(ふりがな)	こばやし けんじ		
代表者氏名	小林 憲司		
設立年月日	1982年6月15日		
ホームページ	http://iidashisui.blog3.fc2.com/		
活動内容	<p>毎週月・水曜日の午後7時から9時半まで野底山森林公園ふもとの専用練習場で練習しています。年1回の定期演奏会、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストへの出場、市内外で開催されるイベントへの参加が主な活動です。</p> <p>団員は18歳から50歳代まで幅広い年代が所属しており、親・子・孫の3世代が一緒に演奏できるような団を目指しています。</p> <p>演奏活動とともに、団員相互の交流を深めることも目的の一つであり、阿南町での合宿やレクリエーションなどの交流事業を積極的に行っています。楽しく演奏することはもちろんのこと、演奏技術向上のため外部講師を依頼し定期的な指導を受けています。</p> <p>地域の音楽文化向上のために活動することも重視し、様々な音楽イベントへの参画と、次代を担う子供たちの指導にも力をいれています。</p>		
PRしたいこと	<p>一般の音楽団体ではあまり例のない団所有の練習場を上郷黒田に構えています。また、打楽器や楽譜も多数所有しており、練習環境に恵まれています。</p> <p>現在全パートについて団員募集を行っています。</p> <p>入団希望の方は練習場専用電話0265-52-3350にご連絡ください。(練習時間以外は事務局に転送されます。)</p> <p>しばらく楽器に触れていなかった人もやる気があれば大丈夫。私たちと一緒に活動しませんか？</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	演奏会や講習会の共同開催など。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	当団の活動に対し賛同いただける方で、基本的には18歳以上の一般社会人を入団の条件としています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	定期演奏会などのスタッフ(裏方)としてお手伝いいただける方を募集しています。音楽経験がある方は大歓迎ですが、特に条件はありません。



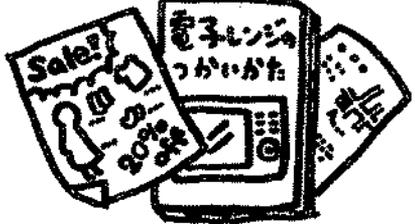
(ふりがな)	いいだしょうねんしょうじょがっしょうだん		
団体名称	飯田少年少女合唱団		
(ふりがな)	やたか こうじ		
代表者氏名	育成会長 矢高 仰児		
設立年月日	1989年7月1日		
ホームページ	飯田文化会館ホームページ内(http://www.city.iida.lg.jp/site/bunkakaikan/)で、団員募集や定期演奏会等の情報を発信。		
活動内容	<p>飯田下伊那地域の合唱好きな園児から高校生まで25名程が集い、庄司裕江氏、岡島綾香氏、塩澤哲夫氏各先生の指導のもと活動している。</p> <p>通常練習:毎週土曜日午後4時-6時o合唱音楽を中心に、からだを動かすことによって音楽の基礎を楽しく学べる「リトミックJとrソルフェージュJも行う。</p> <p>定期演奏会:年1回開催。平成26年度は、9月7日(日)午後2時より飯田市公民館で開催。伊賀良小学校合唱団、飯田女声コーラスの皆さんをゲストに迎え、愛唱歌、子供のためのミュージカル『海の子・うみぼうず』、合唱コラボレーションなどを披露o約400人の観客に楽しんでもらうことができた。(写真参照)</p> <p>合宿:年に1回実施。定期演奏会に向け、集中的に練習を行う。</p> <p>その他:長野県少年少女合唱祭や伊那谷文化芸術祭に毎年参加。飯田女子短期大学の庄司ゼミナールの皆さんとの合唱交流会も行う。</p>		
			
PRしたいこと	<p>合唱団の活動を通じて、学年や地域を越えた仲間と絆を深め、豊かな感性や思いやりの心をはぐくむことに繋がっている。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	なし		
困っていること	<p>中高生は部活動や習い事等で忙しく、また子どもたちの興味を多様化してきており、団員数が伸び悩んでいる。今後の活動をさらに発展させるべく、活動の場(演奏発表会の機会)を広げ、団員増加に繋げていきたい。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	幼稚園・保育園の年中児～高校3年生(保護者の送迎が可能な人)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	いいだしれんごうふじんかい		
団体名称	飯田市連合婦人会		
(ふりがな)	もりもと みほこ		
代表者氏名	森本 美保子		
設立年月日	1957年 5月		
ホームページ			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○行政事業への参画 (やまびこマーチ、人形劇フェスタ、生活展ほか) ○各地区行事に参加協力 (文化祭、運動会、ふれあい広場、市民のつどい) ○平和運動 (災害募金、世界平和運動、平和学習研修) ○環境問題への取組 (資源物回収、ゴミ問題学習、もったいないの気持ちで食材を活かす料理学習) ○福祉活動 (床ずれクッション製作配布、ふれあい広場への参画) ○家庭教育学習 ○国際交流関係協力 (国際交流の夕べ) ○伊勢市との親善交流 (婦人会交流会、小学生交流会への協力) ○各種学習会への参加 		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育団体として、まちづくりに貢献。 ○行政の行事や各地区公民館に協力 ○生涯学習の場 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習 ○ボランティア活動 		
困っていること	○会員の高齢化		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	婦人ならどなたでも
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	



(ふりがな) 団体名称	上飯田婦人7市グループ		
(ふりがな) 代表者氏名	マツ シノ ミナモト 松下みよ子		
設立年月日	昭和62年5月 日		
ホームページ			
活動内容	 <p>○丸山小学校=年生と野菜作り。 子供の作てみたい作物を手助けし成長と収穫を共に 表の試食会を開く</p>		
PRしたいこと	<p>○地域の子供等と親しくなり 朝夕のあいさつ又は季節の収穫 を主とする野菜に目を向け話し合 える</p>		
他団体との連携 が可能なこと・し たいこと			
困っていること	高齢により、若い人の仲間が欲しい		
会員募集(募集の 場合は○、しない場合 は×)	条件等		
ボランティア募 集(募集の場合は○、 しない場合は×)	条件等		

(ふりがな) 団体名称	いいだ かんこうがいのどのかい 飯田観光ガイドの会		
(ふりがな) 代表者氏名	しみず まさあき 清水 正明		
設立年月日	平成 8年 10月 21日		
ホームページ			
活動内容	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現地研修会の様子</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">パンフレット(1面)</p>	
PRしたいこと	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光ガイドの会パンフレット「案内人と歩く城下町飯田」の改訂版発行、関係施設に配布 2. やまびこマーチ「おもてなしコース」・「案内人と歩く5Kmコース」のご案内 3. 「飯田駅観光案内所」に於ける土・日・祭日・イベント時の案内所業務支援 4. 月例会の座学・現地研修による観光案内スキルの向上、研鑽 5. りんごん翌日の清掃活動への参加 6. 観光案内 <ol style="list-style-type: none"> ①丘の上ガイド ②しらびそ高原～下栗の里案内 ③秘境駅探訪列車 ④桜守ガイド ほか 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ol style="list-style-type: none"> 1. 飯田、下伊那地区の観光案内は、ご依頼があればどこでもご要望にお応えできるように準備しています。是非お声をお掛け下さい。 2. 生活している場所でも、案外知らないことが多くあります。一度案内人と一緒に住み慣れた地区を歩いてみませんか 思わぬ発見があるかも知れません。 3. ご案内はお一人様から団体様まで可能です。お申し込み窓口は飯田市観光課です。 		
困っていること	<ol style="list-style-type: none"> 1. 飯田、下伊那地区の観光案内は、ご依頼があればどこでもご要望にお応えできるように準備しています。是非お声をお掛け下さい。 2. 生活している場所でも、案外知らないことが多くあります。一度案内人と一緒に住み慣れた地区を歩いてみませんか 思わぬ発見があるかも知れません。 3. ご案内はお一人様から団体様まで可能です。お申し込み窓口は飯田市観光課です。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 飯田・南信州に愛着のある方で、ご案内する事に興味があり、かつウィークデーの日中にガイドが可能な方。 2. 年会費 1, 000円
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな) 団体名称	こうどく ほんの むら 22の わ 朗読奉仕の会「声の輪」		
(ふりがな) 代表者氏名	なかむら ちよこ 中村 千代子		
設立年月日	年 月 日 昭和 57年 4月		
ホームページ			
活動内容	  <p>よりよい読みの力をつけよう 講師と招聘し研修する</p> <p>パソコンの録音操作を 先輩の指導にていよ。</p>		
PRLしたいこと	<p>目の不自由な方へ 「生活に必要な情報」 「各社書籍」を 音声化して お届けしますよ!</p>  		
他団体との連携 が可能なこと・し たいこと	図書館等と連携する団体との協力。 (文章講座、婦人文庫、子供の本研究会等)		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> 録音装置(パソコン)の操作技術習得の今一歩。 「声の本」の書き過程の中で 特に校正-編集段階の専門的力不足。 		
会員募集(募集の 場合は○、しない場 合は×)		条件等	
ボランティア募 集(募集の場合は○、 しない場合は×)	○	条件等	<ul style="list-style-type: none"> 受け手の不自由を理解し「必要なとき」「必要な方」を「必要な人」に「必要な形」で提供する努力の要する人 パソコンが使える人

(ふりがな)	いいだこどもげきじょう		
団体名称	飯田子ども劇場		
(ふりがな)	わだ ひろこ		
代表者氏名	和田 裕子		
設立年月日	1973年 12月 1日		
ホームページ	http://iidakogeki.web.fc2.com/		
活動内容	<p>子ども達の感性や想像力、生きる力を育むために、以下の活動を行っています。</p> <p>○定期的な舞台鑑賞 舞台劇・人形劇・音楽・芸能など様々なジャンル(子どもの頃に様々な価値観に触れることで視野を広く、感性の幅を広げる) 赤ちゃんから、高校生まで成長に合わせた内容を届ける。 鑑賞作品を通して広い世界に触れる⇒劇団との交流会・原作の紹介・勉強会など</p> <p>○キャンプやおまつり等の体験と子どもの自主的な参加を意識した活動</p>		
	 <p>『ピノキオ』鑑賞の前に、むすび座さんに来ていただいて交流会。本物のピノキオの人形の</p> <p>『パペット落語』鑑賞の後、笑福亭鶴笑さんから、世界中で落語をしてきて、見たこと・感じたこととお話していただきました。</p>		
PRしたいこと	<p>会員が自分達で計画・運営している会です。子どもも、自主的に関わられるように、取り組んでいます。「私の子どもから、私達の子どもへ」の意識で、周りの子ども達、地域全体が豊かな文化の中で安心して暮らせるように願っています。特に、毎年行なっている「おまつり」は、子どもも自主的に模擬店を出したり、当日の会場準備から片づけまで大人も子どもも一緒に行なって、経験をつんでいます。写真:おまつり 上 模擬店/下 発表</p>		
			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>◎大型の舞台鑑賞の共同開催</p> <p>◎自主活動の地元協力者</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	どなたでも！年齢制限ありません。親子でも、大人だけでも、いくつになっても歓迎です。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特になし

団体名称 (別称)	黒田人形保存会 くろだ にんぎょうほぞんかい (所在地 飯田市上郷下黒田)		
(ふりがな) 代表者氏名	かいちょう たかだ まさお 会長 高田正男 飯田市上郷黒田1331番地(電話0265-52-5991)		
設立年月日	黒田人形の初まりは元禄年代(西暦1600年)で以来遠々と伝承され、一度も途切れた事が無く現在も伝承しています。保存会組織にしたのは昭和28年4月です。		
黒田人形専用舞台	間口8間・奥行4間・総二階建て。「出桁造りの本格構造・古さ・大きさ」が人形専用舞台としては日本一との事で、国有形重要文化財に指定。所在地 飯田市上郷黒田2346番地。		
黒田人形浄瑠璃伝承館	脇舞台も備えた本格舞台・観客席150人程・楽屋4室等々もあり芸能上演や、稽古及び発表会に最適の重厚和風建物で時間で貸出しもします。所在地・飯田市上郷黒田2344番地2。電話 0265-56-6623 (非常勤)		
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/puppet/kuroda/	問合せ先・上郷公民館 電話0265-24-7744	
活 動 内 容	<p>郷土に伝承している「浄瑠璃で演じる人形芝居」を更に伝承していくのが保存会の目的ですが、その芝居の実技を担当する座員は保存会会員とは別で、同好の会を募集しています。(この座員は、黒田以外に住む人でも構わず非常勤同好クラブ的なもので稽古や上演の時に参加出席してもらえば良いものです)この人形芝居とは、三味線の伴奏で語る義太夫に合わせて人形を動かして演じる人形芝居であり、淡路人形や文楽と同じで、日本独特の伝統芸能であり黒田人形は国の無形文化財に指定されています。</p> <p>よって座員には、義太夫を語る「太夫」、その伴奏の「三味線を弾く人」、人形を動かす「人形遣い」、その外に「裏方」なども必要となります。その外題の内容は、人情世話物語りや歴史に残る物語り等があります。義太夫や三味線は専門家が来て各個人毎に教えて貰えます。</p> <p>上演は、定期公演と依頼を受けて行う上演があります。定期公演は毎年4月の第二日曜日の午後1時からと、その前夜6時30分から、の2日間で黒田人形専用舞台で行います。他には、いいた人形フェスタや、伊那谷の四座の発表会がありますし、上演を依頼されれば出張上演も行います。この頃は結婚式披露宴などの席へも、上演に出向いています。</p>		
P R し た い 事	<p>上記の定期公演は郷土伝統芸能で入場無料ですでお出掛け下さい。</p> <p>団体や会社等の行事のアトラクションに呼んで下れば出張上演します。結婚式披露宴などの席へにも、目出度い芸の「寿式三番叟」を10分位なので上演に呼んでくれれば出向いています。</p> <p>一緒にやって下さる方を増やしたいので、人形を動かす「人形遣い」、義太夫を語る「太夫」、その伴奏の「三味線を弾く人」、マンツーマンでお教えします。気持ちのある方は、保存会事務局ともなっている上郷公民館(電話 0265-24-7744)へお問い合わせ下さい。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×) 基本的にはアボランティア同様です	○ 条件	高陵中学校にクラブ活動の黒田人形部もあり、保存会で人形をやっているメンバーは、高校生から青年やサラリーマンや自営者等々の男女と主婦や熟年の人達が、現在30余人程実演に携わっています。 人形つかい、三味線弾き・語る太夫などのほかに、他の仕事もあります 例えば写真カメラ・ビデオ撮影 や裏方などやって頂く方も必要です。 要員募集の条件等は特にございません。一緒に楽しくやって下さる方を募集しています。上郷にお住みで無くても結構です。お問い合わせは、黒田人形保存会事務局の上郷公民館(電話0265-24-7744)へお願いします。	



(ふりがな)	飯田交響楽団		
団体名称	飯田交響楽団		
(ふりがな)	やたか こうじ		
代表者氏名	矢高 仰児		
設立年月日	1989年より		
ホームページ	http://www.geocities.co.jp/MusicHall-Horn/2592/		
活動内容	<p>毎週水曜日 19時～ 場所は主に飯田文化会館にて練習しています。</p> <p>5月 オーケストラと友に音楽祭「そよ風コンサート」に参加予定</p> <p>10月頃 飯田交響楽団定期演奏会予定</p> <p>11月 伊那谷文化芸術祭に参加予定</p> <p>その他ご依頼があれば、出張演奏も考えていきたいと思ひます。</p> 		
PRしたいこと	<p>20周年記念に合唱団と第九演奏会を機に、第21回定期演奏会では、第九でソリストを務めて頂いた上沼純子さんと共演しました。</p> <p>5月のそよ風コンサートではお子様も楽しんで頂けるようなプログラムを用意しております。本格的なオーケストラ演奏から、となりのトロやアナと雪の女王のような映画音楽にも挑戦致します。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>合唱団や劇団とのコラボレーションも考えていきたい</p> <p>その他にも地元で活躍されている音楽家との協奏曲等</p>		
困っていること	<p>弦楽器の団員を募集しています。特にコントラバス、ビオラ、ヴァイオリン、トロンボーン、トランペット経験者大募集です。</p> <p>お気軽にお越し頂ければと思います。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ご自身で楽器を持っていればOKです。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	演奏会等の当日スタッフのお手伝いを頂ける方募集しております。ご協力頂ける方、ご連絡お待ちしております。

(ふりがな)	かがくこうさくきょうしつすいしんけんきゅうかい		
団体名称	科学工作教室推進研究会		
(ふりがな)	ほんだ ひでのり		
代表者氏名	本田 英則		
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日		
ホームページ	なし		
活動内容	 <p>年間4回の子ども科学工作教室を実施 第1回 三極モーターカーの製作 三極モーターを組み立てて電池で動く車を製作します 第2回 ソーラーカーの製作 太陽光パネルを搭載した車を製作して太陽光で動かします 第3回 天体望遠鏡の製作 8種類の筒を組み合わせる天体望遠鏡を製作します。 第4回 センサーロボットの製作 音で動く4本足のロボットを製作します。</p>		
PRしたいこと	<p>飯田下伊那の小学校4年生から6年生までの子どもを対象にして45名定員で行っています。</p> <p>各回のキット代金は個人負担です。10の企業等から指導に来てくれて、個人的な指導をしてくれるので、保護者は同伴しなくても一日じっくり製作し、完成して持ち帰れます。</p> <p>製作したものを動かして遊んだり、天体を観測したりできます。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	現在、飯田下伊那の企業9社と飯田OIDE 長姫高等学校の生徒さんなどが毎回指導に参加してくれます。他にも指導を希望する企業などがありましたら受け入れます。		
困っていること	科学工作教室推進研究会への参加企業は9社です。もっと参加企業を増やしていきたいと思っています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	募集はしていませんが、飯田市工業課で受けれています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	しもぐりさとのかい		
団体名称	下栗里の会		
(ふりがな)	のまき たけし		
代表者氏名	野牧 武		
設立年月日	平成15年 6月30日		
ホームページ	なし		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>下栗いも会議</p> <p>毎年、信州大学農学部の支援を受けて下栗芋栽培増進への研修会議を開催</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>下栗ふれあい祭り参加</p> <p>下栗ふれあい祭りで地元の農産物特産品の販売</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>下栗で自分たちが楽しみながらできる事を考えて無理のない範囲で活動し、毎年、慰労を兼ねて先進地の視察研修を行っています。</p> <p>先進地視察研修(田原市)</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	下栗自治会との連携による環境整備、ふれあい祭り等の活性化活動。遠山郷観光協会、下栗案内人の会と連携して観光客の誘致。		
困っていること	会員の高齢化と後継者不足		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	下栗里の会の活動に参加できる人
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	下栗集落で開催する事業。イベントに参加できる応援隊

(ふりがな)	きざわちくかつせいかさしいんきょうぎかい		
団体名称	木沢地区活性化推進協議会		
(ふりがな)	まつした きよし		
代表者氏名	松下 規代志		
設立年月日	平成3年 4月 1日		
ホームページ	http://tohyamago.com/kankou/kizawa/index.html		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>祭りに参加する子供たち</p> <p>7年目を迎えた、浜井場小学校のふるさと体験学習受け入れを行い、農家民泊体験や霜月祭体験による地域の方々との触れ合いにより、地域の活性化につながっている。また、今年度は学校の地元北橋地域の方々との文化祭への参加による交流(霜月祭り公演)も実施した。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>40数年ぶりに復活した機関車</p> <p>地域の資源の一つである、旧遠山森林鉄道の復活に向け、「夢をつなごう遠山森林鉄道の会」が、梨本ていしゃばにレールを敷設し、機関車を走らせる活動をしています。木沢地区活性化推進協議会としても地域活性化の資源として活用できるよう、支援を行っています。</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>地域の宝である旧木沢小学校(木造校舎)を拠点に、地域資源を活かした様々なイベント企画・実行を行い地域の活性化に繋げている。施設は市の指定管理を受け施設改修も行われ、木造文化遺産としても大切に保存していきたい。</p> <p>2014.6.11には、当地域を含むユネスコエコパーク登録がされ今後、様々な資源を点と点でつなげ連携して活用することで遠山郷全体の活性化につなげて行く。遠山郷の豊かな自然、貴重な歴史文化、人情をはじめ地域の資源を活かした活動により、交流人口を増やし、地域の活性化を図る。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>各種イベント、ツアーの企画を他団体と連携して行うことで、企画の内容が充実できる。遠山郷の魅力を活用した各種企画により、観光客に長く滞在してもらい地域経済の活性化につなげられる。10年目となる、月1回開催される「遠山藤原学校」の開催により、全国各地からの来校者との交流が行われ、特に沖縄の方々との相互交流は4年目となる。</p>		
困っていること	<p>現在の会長を中心に活動しているが、役員の高齢化による後継者育成や、地域の拠点となる学校の保存、活用の充実への取り組み方法が課題である。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会の趣旨に賛同できる方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	木造校舎の維持管理活動(清掃ほか)

(ふりがな)			
団体名称	秋葉街道を愛する会		
(ふりがな)	さいとう ひろむ		
代表者氏名	斉藤 寛武		
設立年月日	年 月 日		
ホームページ			
活動内容	 <p>H26年 6月 8日 秋葉街道小川路峠線の整備作業。 H26年 6月 6日 秋葉街道信遠ネットワーク総会参加。伊那市長谷 H26年 7月 1日 秋葉街道信遠ネットワーク飯田の会総会参加。南信濃木沢 H26年9月6～7日 南アルプス千丈ヶ岳登山。 H26年10月19日 秋葉街道小川路峠線の2回目整備作業。 H26年10月26日 「第21回小川路峠へ登ってみよう」共催。</p>		
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>左:小川路峠より中央アルプス越しに木曾御嶽山の噴煙を望む。 右:小川路峠より南アルプスを望む。</p>		
困っていること	活動予算が不足。助成等の指導、案内を望む。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	上久堅地区住民
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きねはらがっこうおうえんだん		
団体名称	杵原学校応援団		
(ふりがな)	かなざわ ひでお		
代表者氏名	金澤 英雄		
設立年月日	2005年5月		
ホームページ	http://kinehara.net/		
活動内容	  <p>○年間を通じて活動を行っております。平均月に1～2回程度の事業を旧山本中学校、通称「杵原学校」を核にして実施しています。</p> <p>○主に、こども教室開催、農業体験、農場の運営、里山散策、大人向けの勉強会、南信州観光公社の体験教育旅行受入、その他校舎や敷地内の整備作業も行っております。</p> <p><子ども教室・農業体験・食文化教室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモ、さつまいも、白菜、大根など植付、収穫体験 ・土器づくり、リースづくり、おやすづくり、餅つき、紙飛行機づくり ・柏餅、ジャガイモ料理、ソーメン流し、おやき、さつまいも料理、五平もち、ケーキ作り、餅料理、恵方巻き <p><里山・屋外体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプ、里山散策、探鳥会 <p><施設等整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大掃除、剪定 		
PRしたいこと	<p>○地域の方が講師になって、経験から生まれた知識を元に、杵原学校を中心にした屋内外活動や自然に触れることからの本物体験を行っています。</p> <p>○同様に地域の伝統、文化の継承を行っていくための活動もしています。</p> <p>○この様な活動を通じて地域の活性化や、地域起こしにつながる活動にしていきたいと考えています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○個々の取り組み内容では出前の講師対応も可能なものもありますのでご相談ください。</p> <p>○木造校舎の保存、利活用を行っている団体と交流を深めたいです。</p>		
困っていること	<p>○今後、応援団員の平均年齢の高さからくる事業の継続性の問題</p> <p>○若い団員の確保</p> <p>○各事業での講師人数確保</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	時間とやる気のある方歓迎、経験不問。 費用負担は軽微ですが、報酬はほぼ無いので、それでも構わない方、地域外の方でも入会はOKです。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	基本は会員と同様です。 ボランティア即、団員可ですのでお気軽にご参加下さい。 会則、会費などの複雑な縛りはありません。

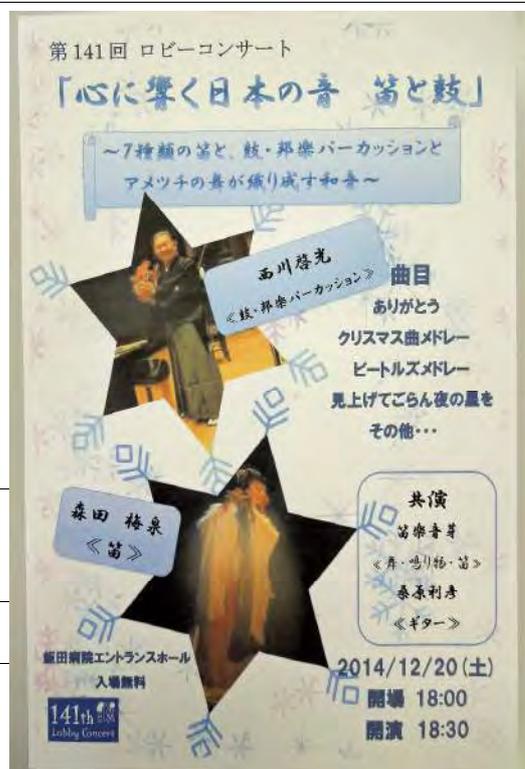
(ふりがな)	おもしろかがくこうぼう		
団体名称	おもしろ科学工房		
(ふりがな)	みうら ひろこ		
代表者氏名	三浦 宏子		
設立年月日	平成13年 6月 日		
ホームページ	http://www.i-kagaku.net		
活動内容	  <ul style="list-style-type: none"> ・理科実験ミュージアム 4月～11月 (50回) ・出前工房(31回) ・保育園、小学校等の支援活動(18回) 		
PRしたいこと	<p>飯田市出身のサイエンスプロデューサー後藤道夫先生の「故郷飯田の子どもたちに科学の楽しさと不思議さを知ってもらいたい。科学を好きになってもらいたい。」という想いから始まった。かざこし子どもの森公園おいで館に拠点を置き、理科実験ミュージアムを開催している。大人でも子どもでも楽しい実験をめざし、科学をより身近に感じてもらうため、身のまわりにあるものを使った理科実験、工作の指導、実演を行っている。</p> <p>日常のあつと驚く不思議な体験や感動を通じて、子どもたちに考える力や科学の興味を持ってもらい、科学の楽しさを知った大人たちには、科学を通して地域活動の輪を広げ、地域を活性化の一助になりたい。</p> <p>また、飯田にしかない「超電導ジェットコースター」を使った珍しいサイエンスショーも実施している。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業に結びつけた実験メニューの開発、実施をしていきたい。 ・地域の青少年関係団体と連携しながら科学の輪を広げていきたい。 		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	理科好きな方、子ども好きな方なら特に資格は問わない。



**おもしろ
科学工房**
<http://www.i-kagaku.net>

(ふりがな)	とおやまやまのかい		
団体名称	遠山山の会		
(ふりがな)	こざわきんぞう		
代表者氏名	小澤欣三		
設立年月日	平成12年頃 (以前よりの活動を統合)		
ホームページ			
活動内容	  <p>登山道丸太柵の設置(易老渡上)H26.6 転落防止柵の土砂出し(西沢渡上)H26.6</p>    <p>聖岳記念登山 小聖にて H26.7 中学登山サポート 熊伏山 H26.7登山道倒木処理 面平上 H26.9</p>		
PRしたいこと	   <p>聖岳(百名山) 光岳(百名山) 池口岳</p> <p>こんなに素晴らしい自然が身近にあることを 自分の眼と体で確かめてみてください！</p>		
他団体との連携 が可能なこと・し たいこと	他団体と情報交換をしながら大勢の人が気楽に山を楽しめるようにしたい。		
困っていること	アクセス道路や、登山道の整備が間に合わないこと。		
会員募集(募集の 場合は○、しない場 合は×)	○	条件等	入会金2000円、年会費2000円。一緒に山岳と酒を楽しめる老若男女。
ボランティア募 集(募集の場合は○、 しない場合は×)	○	条件等	一緒に登山道整備等の環境保全に汗を流してくれる人。

(ふりがな)	しゃかいりりょうほうじん りつざんかい いいだびょういん		
団体名称	社会医療法人 栗山会 飯田病院		
(ふりがな)	ちば きょう		
代表者氏名	院長 千葉恭		
設立年月日	明治36年 9月 1日(1903)		
ホームページ	http://www.iida.or.jp		
活動内容	<p>当病院は、病院理念の具現化として「医と文化の融合」を掲げ、各種の文化事業に取り組んでいます。特に一流の演奏家を招いて病院ロビーで毎月1回行う「ロビーコンサート」は非常に好評を博しており、さらにロビー空間への絵画・写真作品などの展示活動等は「公開」の精神に貫かれております。</p> <p>また、最先端精神科医療を学ぶ「精神科公開ゼミ」、院内での事例研究発表を行う「飯田病院学会」などの活動も活発に行っています。</p> <p>病院そのものを地域におけるアメニティー空間として一般に開放するなど、文化による「交流」の場を地域に創出しています。</p>		
	 		
PRしたいこと	<p>諸活動の中でも特に病院ロビーをコンサート会場として使用し、入院患者さんをはじめ来院者が、一流の演奏家による生の音楽を無料で気軽に楽しむこと出来る「ロビーコンサート」は、毎月1回、原則として土曜日に開催しておりますが、平成27年1月で142回となり市民の皆様から極めて高い評価をいただいております。</p> <p>さらに地域の著名な作家や飯田市スポーツ少年団絵画・飯田市動物園写生大会絵画の入選作品の展示、愛好家団体による写真作品の常設展示なども人気となっています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	特になし		
困っていること	特になし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	



(ふりがな)	きたがたころうにきくかい		
団体名称	北方古老に聞く会		
(ふりがな)	きのした かずよし		
代表者氏名	木下 和義		
設立年月日	平成 8 年 1 月 21 日		
ホームページ			
活動内容	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 北方地区内の伝承された、故事来歴、文化、風俗、習慣等を古老より聞きとり文書化し啓発し、後世へ伝えることを目的としています。 ○ 歴史的 content のもので、研修視察を同伴で、年一回開催。今年度は、満蒙開拓 ○ 公民館等他団体と協力し、地域学習活動。今年度北方区民祭参加 ○ 年度毎の研究内容を小冊子にまとめ、啓発する。(本年度は、北方地相撲力士たち) ○ 地域内埋蔵文化財発掘現場での研修、古文書調査。 		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設立以来18年の経過 北方の今昔説話他小冊子あり。 歴史情報を望む。 ※北方今昔マップ品切れ 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伊賀良公民館での、ゲームウォーキング、学ぼう会等への協力、北方分館への文化祭参加、笠松登山の説明等。 		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ○ お話をお聞き出来る先輩の減少 ○ 会員の高齢化 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	北方地域の歴史的なことに関心のある方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだぼらんていあきょうかい		
団体名称	NPO法人 飯田ボランティア協会		
(ふりがな)	おおくらまさあき		
代表者氏名	理事長 大蔵 正明		
設立年月日	平成16年8月9日		
ホームページ	無し		
活動内容	  <p>みんなで支える福祉のまちづくりを目的で活動しています。 福祉まつり「ふれあい広場」、福祉映画上映、福祉人材育成、福祉講座開催、バルーンで笑顔ふくらませたい、災害まちづくり事業、防災運動会、防災体験講座、ボランティア活動応援、東日本大震災被災地支援、災害ボランティア活動、介護フォローアップ講座、生活サポーター講座、ボランティア養成講座など活動しています。また、いのちと看取りについての講座を開き、エンディングノートも作成し出版しました。</p>		
b	<p>ボランティアは、まず自分が楽しむのが最初の一歩です。ワクワク・ドキドキが次へ繋がって行きます。喜んでくださる笑顔に、なんだかやる気がムクムクわいてくる！！→たのしいよ～～新しい自分が発見できます。一緒にやりましょう。お待ちしております。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>連携は可能です。 行政・社協・企業・地域・その他団体の皆さん・福祉施設の皆さんなど、いろんな連携をして活動が広がっていくと楽しいですね。気楽に声をかけてください。お願いします。三遠南信地域の災害ボランティア団体と連携し、防災協力協定を仙台市宮城野区福住町内会・豊川防災VCの会・なごやボラネットのみなさんと結んでいます。 平成26年度は「看とりの文化研究所」と協働事業をしました。</p>		
困っていること	<p>若い方・シルバーの方大募集・パソコン好きな方来てね。 ボランティアでパソコン打ち込んだり、行事のスタッフして下さい。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	「みんなで支える福祉のまちづくり」活動をいっしょにしてくださる方。個人会員・団体会員両方あります。会費も負担下さいませ。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	面白そう、やってみたいと思ってくださる方、ぜひぜひ！！

(ふりがな)	みんなのいえ ぬくぬく		
団体名称	みんなの家 ぬくぬく		
(ふりがな)	なかだいら しゅんじ		
代表者氏名	中平 俊次		
設立年月日	平成14年11月		
ホームページ			
活動内容	<p>月1回開催。午前10時～午後3時まで昼食と昼休みをはさんで運営。 軽い体操、歌、お話し、ゲームやクイズなど、ご利用者同士スタッフも加わっての会話に重点を置いている。笑ってしゃべって、お腹がすき、昼食がおいしいとは全員の声。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">楽しく歌をうたっている 大好評の昼食風景</p>		
PRしたいこと	<p>参加される方の喜びの声が、我々スタッフのやる気を支えてくれる。 次回の開催通知を首を長くして待っている。 あと何日で、ぬくぬくに行けると待っている日々は、生きがいを感じるという。 「ぬくぬくから帰った日は顔つやが違う」という家族の音がたくさん寄せられている。</p>		 <p style="text-align: center;">スタッフNさんのかくし芸で爆笑の渦</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域の民生委員の方々より、独居者の情報などいただき、この会にお誘いしている。また、民生委員のOBの方が何人も、スタッフに加わってくれている。		
困っていること	時又の「ふれあいセンター」の改築が迫っている。改築後はこの会場が使えなくなると思われる。公民館は我々の予約が取れないケースが出てくるので、会場の確保が難しくなりそう。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	独居、または昼間に独りになる方で、概ね80代以上の方。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	みなみしんしゅうたけよいのかい		
団体名称	南信州竹宵の会		
(ふりがな)	せきじま ともひろ		
代表者氏名	関島 友弘		
設立年月日	平成15年		
ホームページ	なし		
活動内容	  <p>例年6月に竹宵まつり百万人のキャンドルナイトに参加 大晦日に川路・麻績(座光寺)・北辰(八幡)・一色(鼎)の各神社で除夜の竹宵を実施</p>		
PRしたいこと	<p>地域の有志が荒れた竹林を伐採し、竹ぼんぼりを製作しては、地区の神社前などで竹宵を行い、ろうそくの光で幻想的な世界を演出してきた。</p> <p>全国規模で行われているキャンドルナイトの一環として、南信州で例年6月に実施している「竹宵まつり 百万人のキャンドルナイトin南信州」に参加し、身近な素材である竹を利用して環境に対する啓発活動を行っている</p> <p>また竹を粉末したものを材料として、県の農業試験場と連携を取り家畜飼料に混合する試験研究をするなど、あらたな産業づくりを行っている地区もある。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体の依頼により、会場(飯田りんごん・県政タウンミーティングなど)を竹ぼんぼりによるライトアップで演出した経過がある。		
困っていること	竹ぼんぼりを活動ごとに用意するため、材料となる太い竹の確保。 会員の人手不足・高齢化		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし

（ふりがな）	おおみやどおりさくらほぞんかい		
団体名称	大宮通り桜保存会		
（ふりがな）	たけだ としふみ		
代表者氏名	会長 武田 年史		
設立年月日	昭和46年4月1日		
ホームページ			
活動内容	 <p style="text-align: center;">第37回大宮通り桜まつり</p>  <p style="text-align: center;">木質チップ敷設作業</p> <p>・平成26年4月6日、第37回大宮通り桜まつりを開催しました。（桜並木の歩行者天国（一部）、子ども写生大会、和太鼓演奏、高校吹奏楽部演奏、スポーツ少年団カラーガード隊マーチング披露など）</p> <p>・日常的に行っている桜の保護、管理、清掃・美化活動のほか、今年度は土壌改良と根の保護を目的として、木質チップの敷設を行いました。これにより雑草抑えの効果や景観が向上しました。</p>		
PRしたいこと	<p>大宮通り桜並木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和22年の大火の後に防火帯として整備された。 ・昭和27年頃にソメイヨシノを中心に150本の桜が植えられた。 ・総延長は、大宮神社から市公民館までの700メートル ・昭和61年にりんご並木と合わせて「日本の道100選」に選ばれた。 <p>桜並木の再整備に向けて</p> <p>桜並木の再整備は、保存会はもとより東野地区の長年の夢です。平成26年度において、再整備に向けた調査費が予算化され、コンサルタント会社による整備方針（案）の作成のための懇談会が複数回開催されています。桜保存会も懇談会に積極的に参画して、桜並木の望ましい姿を検討しています。</p>  <p style="text-align: right;">大勢の人で賑わった桜まつり （昭和53年）</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	東野地区は、桜並木のほかイチョウ並木、中央公園など「桜と緑溢れる居住空間」となっている。桜保存会が核となり、桜並木はもとより東野地区全体の緑を守り育てる活動へと展開していきたい。		
困っていること	会員の高齢化に伴い、清掃活動等の負担感が増してきている。		
会員募集（募集の場合は○、しない場合は×）	条件等		
ボランティア募集（募集の場合は○、しない場合は×）	条件等		

(ふりがな)	かざこしいそくらぶ		
団体名称	かざこし体操クラブ		
(ふりがな)	こばやし てるお		
代表者氏名	小林 照男		
設立年月日	2000年 4月 1日		
ホームページ	http://kazakosi1.seesaa.net/		
活動内容	<p>平成26年度の活動について報告します。 当クラブでは、生涯にわたりスポーツに親しみ豊かで楽しい生活が送れるための一助になればと、幼児・小学生を対象とした体操教室を実施しています。</p> <p>特に小学生低学年までの時機は、ゴールデンエイジと呼ばれ運動能力の発達が目覚ましく、この時期までの体験が人生におけるスポーツとの関わり方を方向づけると言っても過言ではありません。</p> <p>体操教室では、この点に留意し、器械体操に加え体づくり運動や陸上、球技など幅広い運動を通じた指導を行っています。</p> <p>本年度は、従来実施している体操教室に加え、一般の親子を対象とした親子体操教室を11/22に実施し、幼児・小学生の部とも定員を大幅に上回る参加をいただきました。</p> <p>また、「マット運動や逆上がりの教え方がわからない」といったニーズに応えるため、指導法をまとめたDVDの製作を行い、飯田・下伊那地方の小学校に配布する予定です。</p>		
PRしたいこと	<p>当クラブは、子ども達の心と身体の健やかな発達を第一に考え、活動しています。ゴールデンエイジを迎えるまでに、身体を動かすことの楽しさを体験してもらうため、様々な指導者による多彩な活動を行っています。子ども達とともに、活動に関わる指導者も成長していけるような楽しいクラブづくりに心がけています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	陸上、ボール運動(サッカー、バレー)など他クラブと交流したいと考えています。		
困っていること	活動を一緒に手伝ってくれる指導者を募集しています。器械体操の経験は問いません。子ども達と一緒に身体を動かすことが好きな方、連絡ください。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし



(ふりがな)	ウメガクボシゼンアイゴカイ		
団体名称	梅ヶ久保自然愛護会		
(ふりがな)	ナカガミマサハル		
代表者氏名	中上正晴		
設立年月日	平成11年 10月 20日		
ホームページ			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月19日(土)第8回「カタクリ祭」を開催。開花期間中1000人以上の方々が訪れました。毎年ながら椎茸駒打ち体験、魚の掴み取り、商工会の出店、大瀬木そばクラブによるサービスなど各コーナーとも大賑わいでした。 ・ 6月21日(土)には、県地方事務所主催による希少植物保護対策のひとつとして、「ササユリ」の観察会で(約60名参加)飯田市北方のササユリ保存会の方々と一緒に、梅ヶ久保公園のササユリも案内をするとともに鑑賞しました。 ・ 訪れた方々と身近な自然の価値を継承できる交流をしている。 ・ 年2回の定例の草刈作業を始め、必要により花及び歩道の整備維持管理作業等を進めています。 		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月中旬頃に第9回「カタクリ祭」を計画しています。是非カタクリの花の自生地にお越しください。 ・ 随時発行している「愛護会だより」16号発行予定です。 ・ 秋には牧野飯田市長手植えモミジの紅葉が美しいです。(写真参照) 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	    		
困っていること	ザゼンソウ自生地がイノシシと思われる動物に掘り起こされ、再生が困難です。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		

(ふりがな)	ながのはらちいきづくりいんかい こうみんかながのはらぶんかん		
団体名称	長野原地域づくり委員会 公民館長野原分館		
(ふりがな)	おぎうえ けんぞう		
代表者氏名	荻上 憲三		
設立年月日	平成19年4月1日 長野原区自治組織である地域づくり委員会の一組織となる		
ホームページ	作成していない		
活動内容	 <p>【地区内事業三つの柱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野原納涼夏祭り…分館、壮年団、煙火会が中心になって8月15日に実施。【写真…下欄「PR…」】 ・おんび…松、竹取り～おやす作り～焼きいも大会～おんび作りを一連の伝統行事として小中PTA、竹炭の会と協力して実施【写真…左上】 ・長野原文化祭…各団体や個人の一年間の歩みを作品展示、試食販売、芸能部門で発表し合う。地区内全団体との連携にて実施【写真…右上】 		
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	分館として行ってきた行事や活動を継続する中で、他の委員会・団体との連携協力がより確かになり、本館事業(竜丘全地区)への関わりも積極的。他地域の団体等との連携は特に考えてはいない。		
困っていること	転入居住者が増加する地区の課題として… ○多くの人が参加し、知り合い触れ合い繋り合う地区に根づく活動を展開する。 ○世代間交流(高齢者と子供)の場と機会を広げていく。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	かみひさかたかんこうきょうかい		
団体名称	上久堅観光協会		
(ふりがな)	かいちょう ながぬまよしろう		
代表者氏名	会長 長沼善朗		
設立年月日	年 月 日		
ホームページ			
活動内容	<p>(1) 秋葉街道事業</p> <p>①「第21回 小川路峠へ登ってみよう」 (10月28日 74名参加) 観光パンフレットの配布 PR</p> <p>② 秋葉街道の整備</p> <p>(2) 神之峰城址関連事業</p> <p>① 神之峰、歴史資料館周辺整備作業</p> <p>② 郷土歴史資料館展示イベント (絵描き会; 26年雨天中止)</p> <p>③ 神之峰活性化委員会の立ち上げ (環境整備作業実施)</p> <p>④ 紹介チラシ「神之峰通信」の発行(4回)</p> <p>(3) その他</p> <p>① 成人式に上久堅観光パンフレット配布PR</p> <p>② 北田遺跡「月見の宴」実施(10/7; 100名参加)</p>		
PRしたいこと	<p>上久堅観光パンフレット(ひさかたガイドマップ)は平成24年度ムス飯田助成金をいただき作成しました。ぜひ取り寄せいただき、ガイドブック片手に上久堅へ足を運んでください。神之峰、白山社、秋葉街道等の歴史散策と眺望が楽しめます。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		



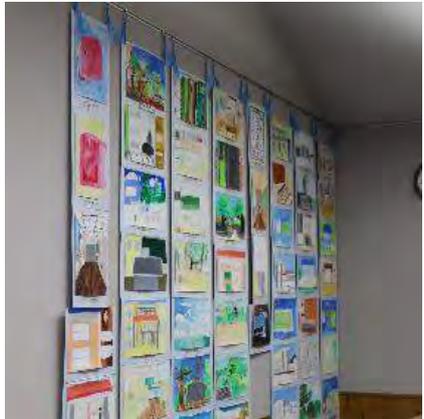
整備された秋葉街道をトレッキング
(小川路峠へ登ってみよう)



神之峰城址整備作



(ふりがな) 団体名称	にほんごんりゅうぎいの けいしやうじっしゆいんかい 日本伝統芸能継承実行委員会		
(ふりがな) 代表者氏名	きたはら いく 北原 郁		
設立年月日	H 24 年12月16日		
ホームページ	TBS		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・月2日間 公民館での 飯田に伝わる伝統芸能(踊り中心)の普及活動。(飯田古巻物唄・奴音頭・竜峡音頭など) ・年三回の公演(和遊楽)・天龍峡ヒトリへの参加 ・飯田邦楽芸能祭への参加 		
PRLしたいこと	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>飯田市には多くの芸能が古くから作り継がれてきた。 現在は身にある機会も、目にする機会も少なくなり、後継者不足の状態です。 貴団が素晴らしい飯田の芸能を残そうと、各分野の専門家が集まり活動して行く</p> </div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>PRやコマーシャルを、イラスト・写真・マンガなど自由に入れて、楽しく情報発信してください！</p> </div> </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	たつおかじどうじゆうがほぞんけんしょういいんかい		
団体名称	竜丘児童自由画保存顕彰委員会		
(ふりがな)	しもだいら かつひろ		
代表者氏名	下平 勝熙		
設立年月日	平成23年10月17日		
ホームページ			
活動内容	<p>大正時代に全国的に有名となった竜丘の自由画教育。その原画は竜丘小学校に保管されています。 レプリカを作成し、地区内金融機関や文化祭に展示するなど、活用をすすめています。 平成26年度には、自由画保存顕彰委員会を竜丘公民館の特別委員会に位置づけました。</p> <p>自由画教育の提唱者である山本鼎の企画展が、上田市の市立美術館完成に合わせて開催され、竜丘からも当時の児童自由画を貸し出しました。そして、自由画保存顕彰委員会のメンバーで上田市を訪れ、上田市立美術館の滝沢館長、小笠原学芸員と保存顕彰に向けた情報交換等を行いました。</p>		
			
PRしたいこと	<p>自由教育についての学習活動を続ける中で、自由画の適切な保存と顕彰を行うことを目的に、地域住民が主体となり進めてきました。 レプリカ(パネル)が完成し、小学校や地域での学習活動に活かしていきます。そして、地域の誇りである自由教育、自由画教育の気風を後世につなげていきます。 現在も竜丘小学校6年生が「後世に残す1枚の絵」として、自由画に取り組んでいます。写真は竜丘地区文化祭に展示された「後世に残す1枚の絵」です。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	自由画の適切な保管について、技術面、ハード面等での協力。現在、自由画の裏打ちに、中性紙であるひさかた和紙を使用しています。 レプリカを活用した、自由教育の学習会など。		
困っていること	自由画の適切な保存のための、資金、場所など。 自由画の顕彰。レプリカの活用方法。 自由教育の資料等の保存方法。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	自由教育に興味のある方。または造詣のある方。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きっずやまもとだいさくせんすいしんいんかい		
団体名称	キッズ山本大作戦推進委員会		
(ふりがな)	ひごてるゆき		
代表者氏名	肥後 照幸		
設立年月日	平成23年 7月		
ホームページ			
活動内容	<p>山本のすべての人が子どもたちの親(P)であり教師(T)であるという理念のもと、山本の子どもたちのために「見守り」「教え」「はぐくむ」活動を展開しています。</p> <p>左側の写真は、山本の未来を託す子どもたちを育てていくのにそれぞれの立場でどんな活動の連携ができるのかについてグループワークで意見交換を行った「山本の子どもを伸ばすフォーラム」(6/4)の様子です。</p> <p>右側の写真は、山本小学校体育館に旭ヶ丘中学校吹奏楽部、合唱部、キッズ山本大作戦コーラス隊、伊賀良IGR SOUND、阿智高校吹奏楽部、飯田市民吹奏楽団、山本小学校6年生が集まり、コラボしたりして音楽を楽しんだ「キッズ山本大作戦音楽フェスタ」(11/9)の様子です。</p>		
PRしたいこと	<p>2月14日(土)には旭ヶ丘中の部活動、地域の少年文化スポーツ団体(小学生)などが一堂に会する発表参加型交流会「ウインターフェスタ」を実施する予定</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きょうほくちくでんとうぶんかほぞんけいしょうぷろじえくと		
団体名称	橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト		
(ふりがな)	まきのひとし		
代表者氏名	牧野仁志		
設立年月日	22年 2月 1日		
ホームページ			
活動内容	  <p>かつて、橋北地区に多くあったお練り祭りのお囃子を、もう一度、復活させたいと思いからこのプロジェクトを立ち上げました。 飯田美術博物館に保管されていた伝馬町2丁目のお囃子を和太鼓奏者：塩原 良さんに依頼し復活。月に2回の練習を重ねて、地区の文化祭で発表しました。現在は、オリジナルの新囃子などのレパートリーも増え、子どもからお年寄りまでが塩原 良さんと吟遊打人の皆さんの指導で練習を重ね、橋北地区の伝統芸能の復活、保存、継承に頑張っています。</p>		
PRしたいこと	<p>橋北地区に住む方たちで太鼓も横笛も初めてふれる事からスタートしましたが、現在は他地区に住む方も参加して下さり楽しく練習しています。私たちが一番PRしたいことは、お忙しい中、芸能生活30周年を迎えた和太鼓奏者：塩原 良さんと吟遊打人の皆さんに太鼓や横笛を教わっていることです。いつか、あのような演奏が出来ることを夢見て平成28年春のお練り祭りに向けて練習を頑張っています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>私たちは美博に残る譜面と屋台の写真等の資料でしか情報を得ることが出来ません。出来れば昔のお練り祭りの屋台のことなど知っている方のお話を聞きたいと思っています。 また、お練り祭りで昔にあった催し物を復活させようと思っている団体がありましたら情</p>		
困っていること	<p>お囃子の復活を目標にここまで来ましたが、ムトスさんからの補助金も終了し、今年から、まちづくり委員会のバックアップと会員の月謝を活動費にあてていますが、活動していくには厳しいです。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	基本は、橋北地区在住ですが、屋台囃子に興味のある方、一緒に昔のお練り祭りを復活させたいと思う方であればどなたでも結構です。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	よねがわかい		
団体名称	米川会		
(ふりがな)	かわて としお		
代表者氏名	川手 敏雄		
設立年月日	昭和58年4月		
ホームページ			
活動内容	  <p>米川会は、基本理念である「ここに住んで良かったと思える地域づくり」の施策として『美しく咲き誇る“春のサクラ・ミツバツツジ”、色鮮やかな“秋のモミジ”が素晴らしい魅力的な景観を呈した“桃源郷”』実現のために『千代・米川桃源郷プロジェクト事業』を立ち上げ植栽事業等を行っております。ムトス事業としての取組は以下です。 ○H24: 米川・八幡神社下の遊休農地を活用してスイセンなどの草花園を創りました。 ○H25: 千代・米川城平公園周辺の遊休農地に「ラベンダー園」を創りました。</p>		
PRしたいこと	<p>米川区の真ん中を流れる一級河川「米川」には清流に棲む『カジカガエル』が生息しています。平成7年より毎年7月第1土曜日に「カジカガエル」と「米川」の清流の保全を願い『千代河鹿がえるまつり』を開催しております。以来20年、多くの子供達が参加する地域全体の祭りへと発展しました。ぜひ皆さん「かじかがえる」の声を聞きにお越しください。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	『千代河鹿がえるまつり』などを通して竜東地区の他団体と連携をして行きたいと考えております。		
困っていること	米川会は、地域社会の発展に寄与することを目的として昭和58年4月に住民・出身者の30名ほどの会員で発足しました。しかし、現在は過疎化、少子化、高齢化の流れの顕在化とともに会の活力も衰退しているのが現状です。今後の会員を増やすなどの方策が危惧です。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	米川区以外の方でも会員になれます。『千代河鹿がえるまつり』や他の事業に興味のある方でしたらどなたでもOKです。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特別な条件は有りません。『千代河鹿がえるまつり』や他の事業の運営活動に協力していただける方を募集しております。

(ふりがな)	ハナ エ		
団体名称	花 依		
(ふりがな)	コイシミネ ユウコ		
代表者氏名	小石峯 裕子		
設立年月日	2012年 12月 20日		
ホームページ			
活動内容	<p>花 依は、2014年度中にまちづくり、地域作りの文化交流活動中で、地域の文化祭、芸能発表会、敬老活動、国際交流会および高木村民間団体の秋菊祭り活動など、積極的姿勢で活躍しました。特に独特の異国風の歓楽舞踊知られた市民に、結婚式祝い活動としても要請されました。</p>		
			
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	のそこやましりんこうえんもみじまつりじっこういんかい		
団体名称	野底山森林公園もみじ祭り実行委員会		
(ふりがな)	やまだまさし		
代表者氏名	山田 雅士		
設立年月日	平成23年7月5日		
ホームページ	 		
活動内容	<p style="text-align: center;">きみも芸術家！木の実と葉っぱの宝で遊ぼう！ 上郷小学校児童による人形劇</p> <p>今年度で4回目を迎える「野底山森林公園もみじ祭り」は、11月3日(月)に開催され、3,000人もの来場者で賑わいました。今年の特徴は、地域資源を活かした住民主体のイベントです。おもしろ科学工房による、理科実験「超低温のふしぎな世界とリニア」や、野底山森林公園で拾った木の実や葉っぱを使っての工作教室「きみも芸術家！木の実と葉っぱの宝で遊ぼう！」、上郷小学校児童による、野底山に伝わる伝説や当地域を代表する果物「りんご」をモチーフにした人形劇の上演などがありました。</p> <p>また、毎年大好評の味自慢グルメブースや木工体験教室、園内もみじライトアップ(11月4日～9日)なども大盛況でした。</p>		
PRしたいこと	<p>12年後のリニア開通を見据えて、上郷地域は野底山森林公園を特色ある地域密着型の公園にすることで交流人口の拡大と地域の活性化を目指しています。</p> <p>こうした取り組みの一環として、野底山森林公園の色鮮やかな紅葉を地域内外の人々に親しんでいただけるよう、今年度も野底山森林公園もみじ祭りを開催しました。</p> <p>野底山森林公園は、平成26年度から上郷地域まちづくり委員会が指定管理を受け、管理運営しています。野底山の目指す姿、「四季を通じた憩いの場」を提供するために春は野底山森林公園さくら祭り、秋は野底山森林公園もみじ祭りを今後も開催しますのでぜひ野底山にお越しください。</p> <p style="text-align: center;">モーリー君も待ってます！</p>  <p style="text-align: center;">モーリー君と戯れる子ども</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

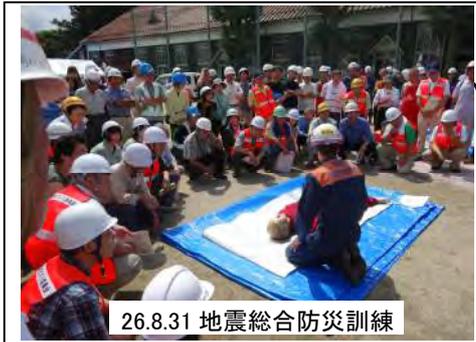
(ふりがな)	たつえこうみんかん		
団体名称	龍江公民館		
(ふりがな)	なるみ かずひこ		
代表者氏名	鳴海 和彦		
設立年月日	昭和22年		
ホームページ	龍江地域づくり委員会 (http://www.tatue.jp/)		
活動内容	 <ul style="list-style-type: none"> • 地区内の催事に歌いながら、中学校の思い出を語り続ける • 校歌をCD化し、地区内希望者に配布 • 地区外希望者に販売(同級会・ふるさと会など) 		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> • 龍江の四季、自然を歌っている • 10番までの歌詞がある 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の人口減少 • 少子高齢化 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	たつえこうみんかん		
団体名称	龍江公民館		
(ふりがな)	なるみ かずひこ		
代表者氏名	鳴海 和彦		
設立年月日	昭和22年		
ホームページ	龍江地域づくり委員会 (http://www.tatue.jp/)		
活動内容	 <ul style="list-style-type: none"> ・冊子をもとに地区内散策の実施(公民館事業「ふるさと探検」) ・冊子を用いた小学校での授業展開 ・地区内希望者に配布 ・成人式にて、新成人に配布 ・地区外希望者に販売(同窓会やふるさと会など) 		
PRしたいこと	・この一冊で龍江の歴史、名勝、神社、寺、文化が学べる		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人口減少 ・少子高齢化 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	まきびと		
団体名称	薪 人		
認証年月日	平成24年 3月 3日		
(ふりがな)			
代表者氏名	嶋村 浩		
主な事務所の所在地	事務局(NPO法人 南信州おひさま進歩内) 飯田市馬場町3-411		
ホームページ	http://makibito.org/		
主な活動分野	5 環境		
活動内容	<p>薪人は、薪ストーブの利用をはじめ、薪に関わる人々の集いです。</p> <p>私たちには、自然とのつながりを保ちたい、多少不便であっても化石燃料に依存しない生活が必要だという想いがあります。そして、この地域を大切に守り、未来へ引き継ぎたいと思っています。</p> <p>薪人は、会員相互の絆を深め、親睦と協働の仲間づくりをしながら、薪と楽しく関わっていく取り組みをします。</p>		
PRLしたいこと	<p>【活動目標】</p> <p>① 自分の家の薪棚をいっぱいしよう！</p> <p>② 仲間と楽しく、気持ちの良い汗を流そう！</p> <p>③ 活動を通じて余裕ができれば、地域の役に立つことをしよう！</p> <p>上記を活動目標に作業で汗を流し、作業終了後には懇親会を行うなど仲間と楽しく活動をしています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	昨年度には、高森の薪団体「森倶楽部たかもり」とも搬出作業を行うなど、単独では出来ない現場があれば、他の団体とも連絡を取り合いながら連携しています。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会員随時募集中！薪ストーブユーザーはもちろん、森林など関心のある方どなたでも参加可能です。お気軽にお問合せください。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ボランティアも合わせて随時募集しています。



(ふりがな)	きょうほくまちづくりいいんかい		
名 称	橋北まちづくり委員会		
(ふりがな)	みやざき えいじ		
代表者氏名	宮崎 栄治		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」		
メールアドレス	kyouhoku@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「豊かな歴史・文化がいきづき、活力にあふれ、誰もが健康で安心して暮らせる明るいまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康で生きがいをもって暮らせるまちづくり ○安心、安全で快適なまちづくり ○人材育成と、各世代が交流しあい、顔の見えるまちづくり ○まるごと博物館事業・個性のあるまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 旧飯田測候所 オープンイベント、イルミネーションフェスタ 旧飯田測候所の整備が完成、リニューアルオープンを祝って、指定管理者のおひさま進歩エネルギーと共催で5月10日にオープンイベントを開催。地域コミュニティの拠点として、スタートした。 12月のイルミネーションフェスタでは、おひさま進歩とOIDE長姫高校とも協働し、新たにライトアップとプロジェクションマッピングに挑戦、2000人が鑑賞した。</p> <p>2 地域間交流「遠山霜月まつり」招聘 浜井場小学校5年生が毎年ふるさと学習でお世話になっている南信濃木沢地区に、文化祭で「遠山霜月まつり」を披露してもらった。両地域間の交流を深めた。</p> <p>3 菱田春草生誕地公園の整備 東京の国立近代美術館の菱田春草生誕140年の特別展を、地区の研修として鑑賞し、春草の偉業に触れた。 公園整備の実施設計について協議を重ね、地域にふさわしい公園づくりを目指す。平成27年3月29日竣工式の予定、維持管理・活用の会の組織を固める。</p>		
	 <p>旧飯田測候所オープンイベント 伝統芸能復活プロジェクトのお囃子とともに</p>		
	 <p>文化祭での遠山霜月まつり公演 浜井場小学校6年生の笛とともに</p>		
	 <p>生誕140年 菱田春草展鑑賞 東京国立近代美術館</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○旧飯田測候所の利活用 ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○歴史的建造物の保存活用、空き家の利活用 		
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容・条件	○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用

(ふりがな)	きょうなんまちづくりいいんかい		
名 称	橋南まちづくり委員会		
(ふりがな)	はら つとむ		
代表者氏名	会長 原 勉		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」		
メールアドレス	kyounan.machi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<ul style="list-style-type: none"> ①まちづくり委員会の活性化と総合力の発揮 ②安心して住めるまちづくりの形成 ③環境にやさしいまちづくりの推進 ④プロジェクト及び新市庁舎建設事業の推進 ⑤地育力の醸成 ⑥道路・河川等の環境整備 ⑦中心市街地活性化の促進 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ○橋南公民館移転についての検討 ○市庁舎整備事業への協力(毎月の定例会議開催他) ○りんご並木の活性化 りんご並木周辺を活用した事業の実施(後援会賛助会員の取り組み、収穫祭に参加、周辺清掃など) ○橋南夏まつり、文化祭、りんご参加等イベントの実施 ○地育力醸成と伝統芸能文化の継承活動 夏休み子ども教室や放課後子ども教室、児童クラブを活用して、地域の伝統芸能を教え、地域への愛着を育む活動を行う。 (松一獅子舞子ども教室、天龍太鼓子ども教室、おひまち) ○ラベンダーの維持管理(追手町～通り町) ○連続放火事件を受け「ごみの朝出しの徹底」と「街頭防犯カメラの設置推進」 ○第60回風越登山マラソン大会(合庁スタート)への協力 ○飯田市メイン会場として防災訓練の実施 		
			
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容・条件	

(ふりがな)	はばまちづくりいいんかい		
名 称	羽場まちづくり委員会		
(ふりがな)	ささき しょうじ		
代表者氏名	会長 佐々木 祥二		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」 http://www.minapo.jp/		
メールアドレス	habamachi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で 目指すまちづくりの目標	○安心安全で住み良いまちづくり (平成22年度～)		
重点事業又は特徴ある 事業や活動	<p>「安心・安全で住み良い羽場地区」を目指して、リニア中央新幹線「(仮称)飯田駅」が実現する平成39年までを見据えた、羽場地区まちづくり基本構想・基本計画「羽場の未来構想」の策定に取り組みました。</p> <p>本策定は平成26年3月の全戸対象アンケートに始まり、小中学生はじめ住民のご意見ご要望を協力団体・有識者・公募の方々等とともに「羽場の未来構想策定委員会」において話し合い、6分科会を立ち上げて検討しました。</p> <p>小中学生には山梨リニア実験線の視察研修を実施し、夢や希望を掲げていただきました。</p> <p>「羽場の未来構想」は、住民の想いを形にし、まちづくりの方向性を示した大切なものです。</p> <p>「羽場の未来構想」を柱に据え、より良い地域づくりを進めます。</p>		
			
			
			
			
			
NPO等他団体との連携 が可能なこと・したいこと	○丸山地区と合同で、知久町踏切の拡幅、鳥獣被害対策の推進、リニア対策など、共通課題を検討して取り組む。		
ボランティア募集希望の 有無・内容	○	内容・ 条件	羽場セントラルパーク(公園)、大平街道、猿庫の泉などにおいて、環境美化を中心に協働する。

(ふりがな)	まるやままちづくりいいんかい		
名 称	丸山まちづくり委員会		
(ふりがな)	いけだ のぶし		
代表者氏名	池田 延史		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」		
メールアドレス	machi-maruyama@aq.wakwak.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>自主・自立の精神の下、丸山地域自治区住民の参加により、住民一人ひとりが豊かさを実感できる、安全・安心で潤いのある地域づくりを進める。(平成26年度丸山地区基本構想・基本計画を策定)</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○特徴 風越山(かざこしやま)を地域のシンボルと位置づけ、風越山麓公園、かざこし子供の森公園の有効利用とともに、安全・安心なまちづくりのための事業を推進します。まちづくり委員会を組織し、8委員会(総務委員会、厚生委員会、建設委員会、広報委員会、生活安全委員会、健康福祉委員会、環境保全委員会及び公民館)による各種事業に取り組んでいる。</p> <p>○主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報をわかりやすく広く住民へ周知するため、公民館報とまちづくり広報とを統合した広報「まるやま」の年4回発行事業 ・風越山麓公園で遊ぼう等の各種イベント、あいさつ運動推進事業 ・地区要望取りまとめ要望事業 ・防災意識の高揚と防災訓練の実施 ・交通安全運動、防犯灯管理事業 ・いきいき教室、福祉移送サービス、声掛け運動等の事業 ・環境整備、環境カレンダー作成配布等事業 ・各種公民館活動(運動会、文化祭、各種社会教室講座及び各種団体活動支援事業) ・リニア中央新幹線丸山地区対策委員会による関係機関との調整事業 ・丸山地区基本構想・基本計画の策定(H26策定) ・丸山公民館耐震化工事実施(H26) 		
			
	<p style="text-align: center;">基本構想・基本計画策定研修会</p>		<p style="text-align: center;">地区市民大運動会</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	放課後子ども教室のボランティアスタッフ 第1・2・3水曜日午後3:20～4:30、土曜日(学期に1回程度)午前9:00～11:30 子どもが好きで一緒に遊んでいただける方

(ふりがな)	ひがしのまちづくりかいぎ
名 称	東野まちづくり会議
(ふりがな)	かいがわよしあき
代表者氏名	会長 會 川 義 明
ホームページ	http://www.minapo.jp
メールアドレス	higashinokaigi@gmail.com
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	東野まちづくり会議は、飯田市が地域自治組織を平成19年度に導入したことに伴い、従来の東野連合自治会に代わって発足した自治活動組織です。専門委員会として、総務、生活安全、健康福祉、環境保全、公民館があり、東野地区が、元気で住みよい地域になることを目指して、総合的なまちづくり活動に取り組んでいます。
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 桜と緑溢れる快適な居住空間づくり</p> <p>①桜並木の再整備に向けた取り組み 桜並木再整備に関する調査費が予算化(地域計画課)され、コンサルタント会社による整備方針(案)の作成のための懇談会が複数回開催されている。桜並木再整備検討委員会、大宮通り桜保存会等関係団体はもとより、沿道住民など地区を挙げて桜並木の望ましい姿を検討している。</p> <p>②住民の支え合いによる明るい地域づくりに向けた活動 住民支え合いマップを作成するため、全世帯対象にアンケート調査を実施し、支援希望世帯への訪問調査活動を行っている。要支援世帯のマップ化は26年度末を予定</p> <p>2 まちづくり会議の主な活動</p> <p>①総務委員会活動 防災対策への取り組み、道路等改良・補修箇所の点検活動、財産区山林の管理、東野自治会館の管理、東野便りの発行(情報発信)</p> <p>②生活安全委員会活動 高齢者等事故防止・安全啓発活動、防火・防犯活動等</p> <p>③健康福祉委員会活動 住民支え合いマップ作成に向けた訪問調査、生活習慣病・がん予防活動、がん検診受診率向上活動</p> <p>④環境保全委員会活動 ごみの分別・軽量化への取り組み、リサイクル回収事業活動、ごみ出し困難者支援活動</p> <p>⑤公民館委員会活動 文化事業の実施(文化部)、会報発行等広報活動(広報部)、健康づくりの輪を広げる活動(体育部)、親子スポーツ交流会、手作り体験事業等の実施(育成部)、文化、歴史、福祉及び環境等分野をテーマとした講座の継続的開催(若草の里「東野講座」)</p> <p style="text-align: center;">桜並木を考える懇談会の様子</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	
ボランティア募集希望の有無・内容	

(ふりがな)	まつおちくまちづくりいいんかい		
名 称	松尾地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	おぎそ ひろと		
代表者氏名	会長 小木曾 博人		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」		
メールアドレス	matuo@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○松尾地区基本構想 自分たちのまちは自分たちの手で、やらまいか松尾「共生、共働、サステイナブルコミュニティ」</p> <p>○松尾地区のまちづくり 重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが心と力を合わせる元気なまちづくり ・安心して暮らせる安全なまちづくり ・子どもから高齢者まで健やかに暮らせるまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○越中八尾「おわら風の盆」の招聘 平成26年度の特別企画として開催。叙情豊かで優美な踊りを900名余が堪能。踊り連盟の皆さんや小学生との共演もあり、住民の文化度向上につながった。</p> <p>○地域安全大会「松尾の子どもは松尾で育てる住民大会」 平成21年度から開催。26年度は小中学生や保護者など約650名が参加。各種団体が実行委員として参画し、多様な主体の協働により開催した。</p> <p>○鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ 平成23年度から開催。八幡宮を中心とした地域の活性化、住民の郷土意識や一体感の醸成、関連事業による人づくりを目的として開催した。</p> <p>○学校支援ボランティア(松尾小学校への支援) 松尾を良く知り、専門的な技術等をお持ちの方が、年5回、クラブ活動を指導。</p> <p>○グリーンベルトの保全 松尾西部の段丘にあるグリーンベルト(緑地帯)の保全活動。26年度は飯田市の里山保全事業を導入し、間伐等を実施。</p>		
	 <p>おわら風の盆の招聘</p>  <p>松尾の子どもは松尾で育てる住民大会</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	グリーンベルト保全活動の実施(竹林伐採、間伐等)

(ふりがな)	しもひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	下久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう ちく かずひこ		
代表者氏名	会 長 知久 一彦		
ホームページ	http://www.shimohisakata.com(下久堅地区まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>第8次下久堅地区基本構想「今 そして未来へつなぐ里 ひさかた」平成25～29年度</p> <p>①みんなの絆で未来へつなぐ里づくり ②みんなで助け合い、安心・安全に暮らせる里づくり ③誰もが安心して暮らせる健康・福祉の里づくり ④いきいきとした人と自然の調和する里づくり ⑤地域に愛着と誇りがもてる心豊かな教育・文化の香る里づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1)地域の団体や下久堅小児童等の協力で「梶曲輪の桜保全」「桜の苗づくり」「紙すき」などの活動を継続している。</p> <p>(2)国道256号下久堅バイパス、(主)飯田富山佐久間線などの地区内幹線道路網整備により、リニア・三遠南信自動車道の高速交通網に対応すべく取り組んでいる。</p> <p>(3)公民館・自治振興センターの移転改築による地域力の向上 地区民の念願である公民館・自治振興センターの移転改築が行われ、地域住民にとって利用しやすい地域の拠点となるよう取り組んでいる。</p> <p>(4)地域ぐるみで子育て支援 児童クラブ・放課後子ども教室などによる子育て支援にあたり、保護者・住民ボランティアが参加・協力している。また、「地域は大きな教室」をモットーに平成26年度に下久堅子ども応援隊が発足した。</p> <p>(5)ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)南信州ステージへの支援と協力</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>梶曲輪の桜保全</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>選手による説明(TOJ)</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>(1)公民館・自治振興センターの移転改築に伴い、JA下久堅支所と併設になったことから、地域のコミュニティー強化と農業振興面から新たな連携や展開を期待している。</p> <p>(2) UIターン者の定住を支援するための農業技術支援者等の確保</p>		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	<p>・放課後子ども教室のボランティアスタッフ(平日の午後3時～6時の活動に参加可能な方)</p> <p>・地元高校生・飯田女子短期大学生の協力も歓迎します。</p> <p>・ひさかた和紙保存会活動への協力と会員増強</p>

(ふりがな)	かみひさかたちく まちづくりいいんかい		
名 称	上久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	しおざわ かずし		
代表者氏名	会 長 塩 沢 一 志		
ホームページ	http:// kamihisakata.sakura.ne.jp		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「住んでみたい 住み続けたい元気な郷“上久堅”」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>従来の最重点課題『少子化対策』『高齢者健康対策』を実施。</p> <p>1. 『上久堅児童クラブ』事業 住民ボランティアによる園児預かり事業。夏休み春休み児童クラブも開始。 北田遺跡公園における土偶祭の実施</p> <p>2. 『上久堅子育て支援の会』事業 有志会員(約100名)の出資により、毎年祝い金贈呈式典を開催。 出生、入園、入学祝の贈呈。子育て事業活動への支援を実施</p> <p>3. 若者定住住宅建設に向けた取り組み 20年度より教員住宅等の用途変更3棟。新築6棟完成入居により9世帯増加。</p> <p>4. 高齢者健康対策事業 (1)「食工房 十三の里」高齢者向け配食サービスの実施(週2回;75歳以上20名) (2)高齢者健康対策 健康講演会の実施(年2回;糖尿病について) 健康セミナー(年3回;歯科、高血圧、骨密度測定) 常会健康教室の実施(8会場;糖尿病) 公民館共催ウォーキング(年4回)</p>		
	 <p style="text-align: center;">健康講演会</p>  <p style="text-align: center;">子育て支援祝金贈呈</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	ちよちくまちづくりいいんかい		
名 称	千代地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	ふじもと よしと		
代表者氏名	会 長 藤本 良人		
ホームページ	http://chiyo-x.jp 千代地区まちづくり委員会		
メールアドレス	chiyo@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>豊かな緑と果てなきロマン～千年の里 千代・千栄を紡ぐ～</p> <ol style="list-style-type: none"> そこに住む人々が、心豊かに生き生きと暮らせる地域 特有の魅力が醸し出され、地区内外の多くの人々による交流が活発な地域 地域の力を結集して支え合い、前へ向かって歩もうとする活力に満ちた社会 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ol style="list-style-type: none"> 平成26年度重点事業 <ol style="list-style-type: none"> 千代公民館の竣工に伴う備品等の整備 飯田市合併50周年記念事業 飯田ストック2014の開催 大学生フィールドワークとの協働による音楽イベント開催による交流人口の増加と地域の活性化を図る 千代ネギの普及に向けた取り組み ・生産者による「千代ネギの会」の設立、活動の支援 和歌山大学観光学部との連携事業 ・秋津野塾(和歌山県田辺市)との交流、相互学習 ・都市農村交流活動を主とした持続的な地域づくりの方策の検討 特徴的な活動 <ol style="list-style-type: none"> 棚田百選「よこね田んぼ」の保全管理、体験修学旅行受入れ 社会福祉法人しゃくなげの会と連携した「地域の子どもやお年寄り地域で守り、育てる」取り組み 		
			
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	「よこね田んぼ」保全活動の協働や助言		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	「よこね田んぼ」保全作業(草刈り・田植え・稲刈り等)

(ふりがな)	たつえちいきづくりいいんかい		
名 称	龍江地域づくり委員会		
(ふりがな)	ふじもと みちはる		
代表者氏名	会長 藤本 典治		
ホームページ	http://www.tatue.jp		
メールアドレス	tatue@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>誰もが住みたい地域 “みんなで創る 豊かで元気な 住みよい龍江”</p> <p>①人が行き交う和みの地域づくり「憩」 ②便利で豊で住みよい地域づくり「豊」 ③健康で生き活きと暮らせる地域づくり「活」 ④安全で安心して快適に暮らせる地域づくり「安」 ⑤思いやりを持って支え合う地域づくり「絆」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1) 三遠南信自動車道、千代、天龍峡、龍江ICを生かし地区内アクセス道路の整備促進。土地利用計画の策定充実。空家の利用促進。 (2) 天龍峡を核とした観光資源の開発。花の里構想の実施。地域の魅力の発掘。 (3) 災害時助け合いマップの活用。日常的に助け合いが出来る土壌の醸成。 (4) 社会教育活動を通じ、住民相互の信頼関係の構築、結びつきを高める。 (5) 「第3次龍江21構想」に基づき定住人口や交流人口、観光人口を増やす地域振興の在り方についての研究および積極的取り組み。 (6) 地域振興住宅建設の受け入れ。 (7) 出会いのプロデュースを通じ結婚を支援する。 (8) 高齢者が健康で明るく生活できるよう支援する。 (9) 龍江ホームページの積極的活用</p>		
			
	会長による小学校への出前講座		今田人形渋谷公演時の地区宣伝活
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	なし	内容・条件	

(ふりがな)	たつおかちいきじちかい		
名 称	竜丘地域自治会		
(ふりがな)	きのした かずひこ		
代表者氏名	木下 和彦		
ホームページ	http://tatuoka.nagano.jp		
メールアドレス	tatuoka@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>・竜丘地区基本構想(2014年度～2030年度)の将来像「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」を実現するための7つの「丘づくり」</p> <p>①住民の支え合いによる丘づくり ②地域資源の保全・活用、景観形成による丘づくり ③災害予防活動と豊かな人間関係による丘づくり ④歴史文化の活用で人材育成を進める丘づくり ⑤地域産業の振興と地域ぐるみ支援による丘づくり ⑥秩序ある適正な土地利用による丘づくり ⑦地域力の強化による丘づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【基本構想を実現するための手立て】</p> <p>・「景観・環境」及び「教育文化」分野に重点的に取り組み、短期的、中・長期的な重点事業を実施することで「環境・文化地区」を目指す。</p> <p>【特徴的な取り組み】</p> <p>・①独自財源の確保による持続可能な地域づくりの実現②自然エネルギーの自給率のアップ③地域課題を解決するための売電収益による再投資を目的に、地域自治会による太陽光発電事業の導入を決定。飯田市生涯学習センターの北棟に整備し、平成27年度より本格的に売電事業を行う予定。</p> <p>・基本構想を実現するための重点プロジェクトとして、「良好な景観づくりプロジェクト」がスタート。ビューポイント・ビュースポットを発見するためのフォトコンテストとガーデニングコンテスト、ガーデニング講習会を実施。</p> <p>・各家庭における「環境家計簿」の取り組みにつなげるため、環境委員会が主体となって環境家計簿への記録等を実践した。</p> <p>・竜丘を知る教材「丘のみちしるべ」を改訂するため、新たな地域資源の掘り起しと住民参加型の編集作業を積極的に進めた。</p>		
			
	基本構想説明会		ガーデニング講習会
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	太陽光発電事業の導入については、(株)おひさま進歩エネルギーの専門的なノウハウを活かしアドバイスを受けた		
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	かわじまちづくりいいんかい		
名 称	川路まちづくり委員会		
(ふりがな)	せきじま まさなお		
代表者氏名	会長 関島 雅直		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>地区キャッチコピー「不老長寿の郷 心も体も生き活きと」 地区目標 『豊かで活力ある安全安心な川路』 基本方針 1 住民協働による支え合い 2 産業振興と若者定住 3 安全安心・快適生活環境づくり 4 歴史文化と川路を思う心豊かな人づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>H22年度に策定した「地区目標・地区計画・土地利用計画」を踏まえた地区キャッチコピー「不老長寿の郷」を掲げ、4つの重点施策にむけて次の各種事業に取り組んでいます。</p> <p>1. 川路を思う人材育成 ①後継者育成・保育園・小学校との連携 「天龍峡夏期大学」「川路の明日を考える研究集会」「川路通学合宿」「学友林学習」 ②天龍峡文化の伝承・発展 「名勝指定80周年記念 天龍峡をどり・秋の彩典(十勝磨崖原字展・焼き物展)」</p> <p>2. 「心も体も生き活きと」健康・福祉の郷づくり ①ウォーキングで10歳若く 「天龍峡・ささゆり見学ウォーキング」「実践講座」 ②福祉基金で健康・福祉・子育て推進 「婚活支援」「糖尿病予防講座」「生涯骨太クッキング」</p> <p>3. 産業振興と若者定住 ①リニア・天龍峡大橋開通を見据えた取組 「天龍峡花の里そば祭り」 ②天龍峡再生・エコーバレー・花の里整備・6次産業拠点 「天龍峡温泉交流館の指定管理制度導入にむけた支援」</p> <p>4. 災害に強く日々の生活が快適な郷 ・「空家対策にむけた所有者意向調査と分析」 ・「災害に強く景観にすぐれた竹林・里山整備の実施」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が行う経済活動 ・地域が行う子育て活動 ・地域が行う環境活動 		
ボランティア募集希望の有無・内容	今のところなし	内容・条件	

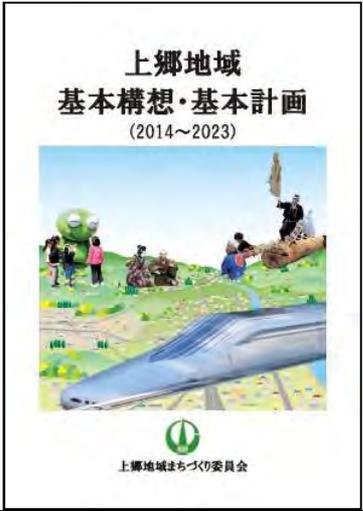
(ふりがな)	みほまちづくりいいんかい		
名 称	三穂まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう いとうかつひこ		
代表者氏名	会 長 伊 東 克 彦		
ホームページ	http://www.iida-miho.sakura.ne.jp/		
メールアドレス	miho@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>自然とロマンの里 三穂 「子どもから高齢者まで 元気な声が響き渡り 活力あり 支え合い 心豊かな 人も自然も輝ける里」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1. 持続可能な地域づくり ①君崎ふれあい広場整備 世代間交流の拠点として平成20年度から各種補助事業等を活用して整備を進めている。平成26年度は森林づくり県民税を活用した里山整備事業、里山集約化事業により公園周辺の山林整備(4.3ha、一部夜明山整備を含む)を実施。整備された山林は子供たちの遊びの場としての活用を検討している。 ②地域資源の保存・活用 地域内には旧小笠原家書院や雄杉雌杉などの文化財があるが、その保存や活用がなされていない。地域の財産を次代に継承するためには今何をすべきかを検討するため地域内外の有識者や関係者により懇談会を開催し今後のあり方を検討した。</p> <p>2. 地域情報の発信 平成25年度から進めてきた地域キャラクター「みほっち」を商標登録。地域内で生産・販売可能な品目について登録を行った。今後は、農産品に限らず地域の情報発信に活用していく。</p>		
			
	里山整備事業		商標登録「みほっち」
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容 ・ 条件		

(ふりがな)	やまもとちいきづくりいいんかい		
名 称	山本地域づくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう なかじま ゆうぞう		
代表者氏名	会長 中 島 雄 三		
ホームページ			
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「美しく、心豊かに、集うさと 山本」 この言葉を旗印に、地区内外を問わず、全ての人々が楽しめる地域、住んでよかった、来てみてよかったと言われる地域を皆で創出する。 ＜10の地域づくり目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土地を活用した住みよい地域づくり ○自然が豊かで潤いのある地域づくり ○思いやり支え合う地域づくり ○安全に暮らせる地域づくり ○文化や歴史・スポーツに親しむ地域づくり ○地域自治の推進と交流の地域づくり ○拠点が整備された地域づくり ○産業の発展する地域づくり ○健康で快適な地域づくり ○ひとが育つ地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【飯田山本おひさま広場の整備】 山本東平と大明神の境付近に、土地所有者王子マテリア(株)、隣接地で太陽光発電事業を行っている(株)シーエナジーの協力と、長野県地域発元気づくり支援金により、コミュニティー広場の整備を始めた。9月には関係者が集まり芝張り作業を行い、約1500㎡の芝生広場を整備した。また、広場の一部には、おひさま進歩エネルギー(株)のメガさんぼプロジェクトを活用し太陽光発電設備を設置してもらい、災害等の非常時には電源が確保され避難広場として活用できるとともに、売電収入の一部を寄付してもらうことにより、広場の維持管理費に充てる。来年度以降、補助金等を活用し、遊具等の設置を検討する。</p> <p>隣接するシーエナジー(株)の太陽光発電所と合わせて、「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」に基づく地域公共再生可能エネルギー活用事業(第2号)に認定された。</p> <p>【杵原学校多目的ホール屋根への太陽光発電設備設置事業】 指定管理を受けている杵原学校多目的ホールの屋根へ、おひさま進歩エネルギー(株)のメガさんぼプロジェクトを活用して太陽光発電設備を設置する。有事の際には電源を提供してもらい応急避難施設としての防災機能を向上する。また、売電収入の一部を寄付してもらうことにより、施設の維持管理費用の他、交流事業経費に充当する。地域公共再生可能エネルギー活用事業(第3号)に認定された。</p> <p>【杵原学校名誉校長就任活動】 杵原学校応援団と協力し、映画母べえで先生役として主演した吉永小百合さんを名誉校長にお願いしてみよう活動を行った。現在は、同映画の監督である山田洋次さんを名誉校長に迎えようと活動を継続している。</p> <p>【地区内の雪かき体制の検討】 建設部会を中心に、地区内の雪かき体制について検討を行い、大雪の際には、自主防災会が中心となり、みんなでできるだけ雪をかこうと呼びかける体制をマニュアル化した。</p> <p>【二ツ山市営住宅跡地の活用】 29年度二ツ山市営住宅の建築完了に向け、残る跡地の活用についての検討を始めた。</p> <p>【デジタル無線による防災訓練の実施】 本年度から変更した山本地区防災マニュアルに従い、共同募金配分事業によりデジタル無線機を4台購入し、今年初めてデジタル無線機を使った防災訓練を実施した。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 条件	



(ふりがな)	いがらまちづくりきょうぎかい		
名 称	伊賀良まちづくり協議会		
(ふりがな)	ひらさわ よしひこ		
代表者氏名	平澤 嘉彦		
ホームページ	http://igaraiida.com		
メールアドレス	igara@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>伊賀良地区基本構想(2011～2020)「緑輝き、人と文化が行き交うまち 伊賀良」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人に自然に優しい土地利用 2 誰もが安心して暮らせる地域づくり 3 自然を大切に、「地の利」を生かした産業づくり 4 香り高い文化の創造 5 心が通い合う地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【西部山麓活用推進事業】 自然に恵まれた西部山麓一帯を、市民に親しまれる憩いの場、観光客を呼べる資源として地区民の手により整備を進めている。 ・もみじの植樹と雑木の伐採 ・沢城湖周辺の手入れと清掃作業 ・西部山麓フェスティバルの開催</p> <p>【ふれあい広場事業】 健康福祉委員会が中心となって地区内健康福祉団体が一堂に会し、高齢者、子供、障害者等住民相互の交流を目的に開催するイベント。</p> <p>【ひまわり子ども委員会事業】 「子育てを地域で支援していこう」という趣旨で、地域自治組織発足時から独立した委員会として設置。20歳未満を対象に子育て支援事業を展開している。 ・乳幼児学級 ・ミニキャンプ ・スポーツ大会、かるた大会 ほか</p> <p>【青色回転灯搭載車パトロール事業】 まちづくり協議会が導入した青色回転灯搭載車を活用し、地域住民の安全を守るため迅速できめ細かい広報・啓発活動及びパトロール活動を展開している。</p> <p>【あいさつ運動】 「あいさつ・声かけ運動に取り組むことにより、地域の連帯感を強め、思いやりの心を醸成するとともに、不審者の入りづらい安全で住みやすい地域をつくるための事業。 ・7月と10月を強調月間とし、組合全戸が立ち番を行い、小学生、中学生、通勤者に「あいさつ・声かけ」を行っている。</p> <p>【アップルロードのりんご並木事業】 飯田の玄関口「飯田IC」周辺に植えられたりんごの木を「人と道にやさしく」を合い言葉に、地域を挙げて大切に守り育てている。この活動には伊賀良小学校の児童も参加し、毎年全校生徒による収穫、そして「収穫祭」も開催している。</p>		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容	条件	

(ふりがな)	かなえちくまちづくりいいんかい		
名 称	鼎地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	さわやなぎ ただお		
代表者氏名	会 長 澤 柳 忠 夫		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぼおたる」 http://www.minapo.jp/ 鼎公民館 http://www.kanae.sakuraweb.com/		
メールアドレス	kanae@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>『豊かで 潤いある 元気な 鼎』 ～かなえよう 住みよいまち かなえたい 心安らぐまち～</p> <p>【行動理念】 私たちは、飯田市の一員として、飯田市のまちづくりの基本にある『自然と文化の調和と地球環境保全』『自主自立の精神と多様性』を念頭に、自分たちの地域を自分たちの力や考えで、『住み続けたいまちづくり』のためにまちづくり委員会が中心になって行動していきます。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【鼎地区パワーアップ事業】 鼎地区では、特色ある地域づくりや人づくりを推進するため、地区独自の『パワーアップ事業』を実施しています。自主グループの活動や事業、まちづくり委員会で実施しがたい事業などに助成しています。また、各区で所蔵する美術工芸品の修復や祭り関連事業の備品の整備等についても助成を行っています。平成26年度は13団体 約220万円を助成する予定です。</p> <p>【公立保育園・幼稚園の統合民営化】 鼎地区内にある公立保育園・幼稚園3園(鼎幼稚園、鼎東保育園、鼎みつば保育園)体制を鼎東保育園と鼎幼稚園を統合して2園(鼎みつば保育園、統合保育園)体制とし、民営化の手法で新園舎を建設し、保育サービスの充実を図っていきます。地区内の同意も得ることができ、来年度本格的に動き出します。</p> <p>【公民館事業】 鼎公民館では、乳幼児学級、夏休み中の「かなえっこどっきどきスクール」、地育力向上講座ふるさと再発見「ずんずんず～ん隊」、子を持つ親のための「おとなのBU KATU」など、子育てに対する多彩な活動を行っています。</p>		
			
	保育所民営化研究委員会		かなえっこどっきどきスクール
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	かみさとちいきまちづくりいいんかい		
名 称	上郷地域まちづくり委員会		
(ふりがな)	やまだ まさし		
代表者氏名	山田 雅士		
ホームページ			
メールアドレス	kamisato@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 リニア本体工事に関し、上郷地域がJR東海に提出した意見書をもとに、JR東海に対し早期の情報提供と誠実な対応を行うよう、行政機関と連携しながら進めていく。</p> <p>2 リニア駅へのアクセス道路の整備に関する積極的な関与と、リニア駅及び駅周辺の機能を具体的に検討していく。</p> <p>3 上郷地域基本構想・基本計画に掲げた目指す将来像の実現のため、(仮称)基本構想・基本計画推進会議の設置を行い、進行管理を行っていく。</p> <p>4 上郷地域の適正な土地利用の誘導を図るために、地域土地利用計画を策定していく。</p> <p>5 野底山森林公園の指定管理者として、リニア時代を見据えた地域密着型の公園づくりへの一歩を踏み出すとともに、活動拠点であり中核的な機能を有する管理棟の建設と公園内施設の整備を市と協議し進めていく。</p> <p>6 上郷地域まちづくり拠点施設の基本設計に向けて、市と協議し進めていく。</p> <p>7 上郷東保育園新園舎の建設と周辺整備を市と協議し進めていく。</p> <p>8 組合に加入しやすい環境を整え、加入に向けて積極的に取り組んでいく。</p>		
			<p style="text-align: center;">J R 東海事業説明会</p>
			
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容・条件	

(ふりがな)	かみむらまちづくりいいんかい		
名 称	上村まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう くま がい えい ざぶ ろう		
代表者氏名	会 長 熊 谷 栄 三 郎		
ホームページ	飯田・下伊那地域コミュニティサイト 南信州ぼおたる		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>上村振興計画 「環境・伝統文化・人々がかかがやく上村」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【小水力発電導入に向けた取り組み】 上村程野地区にある小沢川を活用した小水力発電導入に向けた取り組みを行っている。</p> <p>小水力発電は、遠山谷の急峻な地形を有効活用でき、過疎化・高齢化・少子化に悩む上村地区にとって地域を活性化できる手段として期待を寄せているところである。</p> <p>現在、小水力発電の事業主体を立ち上げるため旗振り役・調整役・推進役及び推進役補佐を5名選任し、毎週火曜日にインターネットを利用した弁護士とのネット会議・水力発電の技術的内容についての勉強会を開催している。また、小水力検討協議会も随時開催している。年度末までには事業の進捗状況などを地区住民に説明する予定である。さらに、売電収益の活用として上村御膳の開発グループを立ち上げ月1回程度研究会を開催し、昔から上村地区で食されている食材・料理を観光などで活かせるよう取り組んでいる。</p> <p>再生可能エネルギー買取価格が少しでも高いうちに導入を考えている。今後も地域住民の合意形成を図りながら、事業実施に向けて取り組んでいきたい。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	みなみしなのまちづくりいいんかい		
名 称	南信濃まちづくり委員会		
(ふりがな)	たまおき よういち		
代表者氏名	会 長 玉 置 洋 一		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」 遠山郷観光協会 http://www.tohyamago.com/		
メールアドレス	南信濃自治振興センター minamisoumu@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	地域づくりの7つの目標 1 住みたい、住み続けたい郷づくり 2 快適に暮らせる郷づくり 3 南信濃らしさを活かした産業の郷づくり 4 安心安全に暮らせる郷づくり 5 豊かな自然と共生する郷づくり 6 誰もが健やかに暮らせる健康と福祉の郷づくり 7 学びあい、文化を守る郷づくり		
重点事業又は特徴ある事業や活動	○地域福祉プロジェクト 南信濃まちづくり委員会の地域福祉検討チームとして平成25年6月に地域福祉プロジェクトを設置、各団体の代表からなる20名で構成されている。 当地域は、高齢化率が55%と市内でも格段に高く、1人暮らし、高齢者のみの世帯も多く、さらには面積は広大な上、集落も点在している状況にあるため、高齢者の孤立化を防ぐためには、地域で見守り、地域で支え合う仕組みの構築が必要ではないかという気運が高まり、事業の展開に至っている。 今年度は、新たに「地域サロン」を月1回開設、家に閉じこもりがちな高齢者に、囲碁・将棋・健康麻雀・カラオケ等で楽しい一時を過ごすよう事業展開を図っている。 今後も、地域住民が支えあいながら、安心・安全に暮らせるよう地域づくりに努めて行く。		
	【主な取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の定例会の開催 ・ふれあいサロンの開設(月1回) ・地域全体での声かけ運動の実施 ・声かけカレンダーの配布(全戸) ・安心メモの配布《緊急時連絡先》 (1人・高齢者世帯等へ配布) ・みんなで支えある明日の南信濃を語る会(シンポジウム)の開催 		
		ふれあいサロンの様子	
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	あり	内容・条件	地域にお住まいの方で、地域福祉に活動していただける方

(ふりがな) 団体名称	とこひ さいり かりどう ほむじん よっぱ 特定非営利活動法人よっぱ		
認証年月日	12年2月10日		
(ふりがな) 代表者氏名	りじ ひまら ほかあき 理事 今林隆昭		
主な事務所の所在地	飯田市山本997-1 TEL0265-25-2894		
ホームページ			
主な活動分野	保健、医療又は福祉の増進を図る活動		
活動内容	<p>1. 生きがいデザイナーズ(定老協) 介護予防を目標、とこひ週一日 開催(年間60日) 利用会員数(約70名)</p> <p>2. 二次予防高齢者介護予防事業 1クール15名 週一回3ヶ月計12回 年間2クール実施を目標</p>		<p>活動状況の写真を入れてください</p> <p>山本地区夏まつり参加</p>
PRLしたいこと	<p>健康と長生き としてピンポイント を目標に活動しています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	山本地区に限定
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	同上

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん くらりねっと		
団体名称	特定非営利活動法人 くらりnet		
認証年月日	2003 年 7月 24 日		
(ふりがな)	よしかわ あつし		
代表者氏名	吉川 篤		
主な事務所の所在地	飯田市上郷別府3304-3 かがやきパレット内		
ホームページ	http://www.clari-net.org/		
主な活動分野	NPO支援、まちづくり		
活動内容	<p>『NPOと創る 新しい社会』～ NPOや市民活動で、社会を良くしようとする人たちを支援し、住み続けたいまちづくりをすすめます。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修・講習会の開催 ・特定非営利活動法人設立・運営支援 ・NPOのネットワーク形成・コーディネート ・飯田下伊那地域コミュニティーサイト『南信州 ぽおたる』の運営 ・長野県みらい基金との連携、県内NPOとのネットワーク促進 ・行政・企業とのパートナーシップ促進事業、企画・運営 ・市民活動を起爆剤とする、地域社会の活性化促進 他 		
PRしたいこと	<p>市民活動、NPOの事業をもう一步前へ。 地域や社会の中にある、「ここがもうちょっとこうなったらいいのに」「ここがこうなったら、もっと暮らしやすくなる」といった、課題の解決や夢や理想の実現に向かって活動する市民団体の支援をしています。</p> <p>「実際のところ、NPO法人ってどんな組織？」という法人設立のご相談や、「NPO法人を作ってみただけれど、こんなことで迷っている」といった相談をお受けしています。（初回相談無料、相談日は事前にご連絡ください。）</p> <p>特に、事務所を持ち、人を雇用し、仕事をする事業型NPOが増えることで、行政や民間企業の手の届かない部分で社会を支える役割を果たすことができるよう、運営相談・資金調達についてのご相談にも応じます。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>飯田下伊那地域コミュニティーサイト『南信州ぽおたる』をご活用ください。 このホームページは、インターネット上に地域の情報が集まる場を設けることにより、飯田下伊那地域の市民団体、ボランティア団体の情報発信ができる『掲示板』です。 飯田下伊那地域の全ての市町村が運営に協力しています。 市民団体、ボランティア団体の皆さんは無料で情報発信ができますので、ぜひご活用ください。</p> <p>『南信州ぽおたる』 http://www.minapo.jp/</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん あやめ	
団体名称	特定非営利活動法人 あやめ	
認証年月日	平成16年 6月 18日	
(ふりがな)	まきうち のぶおみ	
代表者氏名	牧内 信臣	
主な事務所の所在地	飯田市川路2682番地	
ホームページ		
主な活動分野	老人介護福祉	
活動内容	<p style="text-align: center;">特定非営利活動法人あやめ理念</p> <p>特定非営利活動法人あやめは多くの皆さんに支えられて誕生した発足の原点をしっかりと心に刻み、地域福祉の拠点として地域の人に愛され、信頼され、住み慣れた地域で最後までその人らしく住み続けられる地域づくりに貢献できる施設としての役割を果たして行く。</p> <p>1、利用者様の尊厳を守ります 2、利用者様の個々の思いに寄り添い利用者様のたくさんの笑顔を受けよう努めます 3、地域やご家族の支えになる施設を目指します 4、職員は生き生きと笑顔でサービスにあたります</p> <p>NPO法人あやめは、今年で11年を迎えます。さろんあやめ(宅老所)と介護相談センターあやめ(居宅)の併設で始まりました。三穂のまめだに(宅老所)も開設して、無事2年が経ちました。どの事業所も地元の方にたくさん利用して頂いております。</p>	
PRしたいこと	<p>川路宅老所さろんあやめには、年を取った事によって、ちょっと困っているお年寄りが来られます。例えば、日中家族が仕事などでお年寄りが1人になってしまい話し相手がいなかったり、トイレに行っても失敗してしまったり、お風呂に入るのが一人では危なかったり、今までご飯の支度ができていたのにできなくなってしまったり・・・といった少し誰かの見守りやお手伝いが必要なお年寄りが来ています。さろんあやめでは川路の人を中心に、三穂や龍江・竜丘・千代などから一日10～15人の利用者さんが来られます。同じ地域に住む同年代の友達・知り合いと一緒に、活動し易い少人数で、いろんな昔の仕事・活動をする・・・今の時期でいうと、昔ながらに杵と臼を使って餅つきをしたり、五平餅づくりもくろみを拾ってきて、それを割ってみんなに協力してもらいながらくろみをぬいたり、それをつぶしてたれを作ったり、その味をみてもらったり、ごはんを丸めてもらったり、いろんな手間を掛けてその人それぞれができる仕事(役割)をして頂いております。</p> <p>宅老所は古い民家に手摺りやスロープ(階段などをなくして斜めの床にすること)などお年寄りにやさしい改築がしてあります。建物は昔からあるので、お年寄りにとっては施設というより、知り合いの家に来ている感覚で過しています。</p> <p>医療と福祉が連携し、地元で高齢者福祉の拠点となるよう目指します</p>	
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>餅つき</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>五平餅づくり</p> </div> </div>	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等 個人・団体を問わず、是非連絡下さい。宜しくお願いします。

(ふりがな)	ちゅうごくきこくしゃとう のための かいご・ふくしのかい にいはお		
団体名称	中国帰国者等のための介護・福祉の会ニイハオ		
認証年月日	2004年 12月 27日		
(ふりがな)	くまがい かふね		
代表者氏名	熊谷 加舟		
主な事務所の所在地	長野県飯田市鼎切石4080-1		
ホームページ			
主な活動分野	保健、医療又は福祉の増進を図る活動		
活動内容	<p>中国帰国者等に対して、介護や福祉に関する事業を行い、誰もが安心して生活できる地域づくりに寄与することを目的とする。</p> <p>①中国帰国者等への生活福祉相談 ②中国語を話す医療・介護福祉支援者の養成と派遣 ③中国帰国者等への介護事業の提供 ④中国社会と日本社会との国際交流</p> <p>写真は市内4ヵ所で開催している中国帰国者向け日本語教室関係者の合同芸能交流会の様様</p>		
PRしたいこと	<p>鼎切石で運営している「宅老所ふれあい街道ニイハオ」は一般のディサービスですが中国帰国者を積極的に受け入れています。</p> <p>現在30数名の方がご利用されていますが、うち半数近い方が満蒙開拓団として旧満州で幼少を過ごし、幾多の苦難の末、帰国された人達です。</p> <p>介護サービス提供はもとより高齢となられた帰国者仲間の皆さんの憩いの場ともなっています。</p> <p>写真はニイハオでの餃子づくりの様子</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	中国残留孤児援護基金／中国帰国者支援交流センター 日中友好協会 長野県日本中国交流協会		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん みんなのて		
団体名称	特定非営利活動法人 みんなの手		
認証年月日	平成17年8月19日		
(ふりがな)	くまがい げんしゅ		
代表者氏名	熊谷 元守		
主な事務所の所在地	飯田市鼎中平1884-1		
ホームページ			
主な活動分野	保険 医療 福祉		
活動内容	<p>高齢者を始めとする地域の多くの人達に対して移送介助サービス ホームヘルプサービス、家族支援サービス 子育て支援サービスなどに関する事業を行い、地域福祉の向上と住みやすいまちづくりに寄与することを目的として活動しています。</p> 		
PRしたいこと	<p>介護保険ではサービスを受けられない多くの方々への生活支援です。信頼と安心をモットーに地域福祉の向上と住みやすいまちづくりを目指して活動しています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	介護事業所、地域包括支援センター等と連携して進めていきます。		
困っていること	利用者、ボランティア共に高齢化が目立ってきました。今後の課題です。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	どなたでも
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	75歳までの方 どなたでも

(ふりがな)	とくていひえいり かつどうほうじん みなみしんしゅう おひさましんぽ		
団体名称	特定非営利活動法人 南信州おひさま進歩		
認証年月日	2004年5月27日		
(ふりがな)	まつえ よしお		
代表者氏名	松江 良夫		
主な事務所の所在地	〒395-0027 長野県 飯田市 馬場町3-411		
ホームページ	http://www.ohisama-shinpo.or.jp/		
主な活動分野	5 環境		
活動内容	①地球温暖化防止を図る活動 ②まちづくりの推進を図る活動 ③社会教育の推進を図る活動 ④子供の健全育成や環境教育の推進を図る活動 ⑤前号に掲げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言、援助の活動		
PRLしたいこと	○保育園、幼稚園での環境教育をテーマにしたパネルシアターの実践 ○省エネ講座や環境家計簿を使った講座の開催 ○環境体験イベントの企画(例:太陽光発電のキッドを使ったワークショップ) ○旧飯田測候所を活用した環境イベント 上記に興味関心がある方はぜひNPO法人南信州おひさま進歩(0265-24-4821)までお問い合わせ下さい。		
			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	○他団体と連携して地球温暖化防止活動や環境教育の推進を図る事業。 ○公民館やまちづくり委員会との関係により環境問題を主として地域のまちづくりに関わる事業。		
困っていること	○一緒に活動してもらえぬ新規会員を求めています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地球温暖化防止や南信州おひさま進歩の活動に関心がある。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん はんいがくせいぼうはんたいさくしえんきょうかい
団体名称	特定非営利活動法人 飯伊学生防犯対策支援協会
認証年月日	2006年12月21日
(ふりがな)	いわさき まさる
代表者氏名	岩崎 愈
主な事務所の所在地	〒 395-0041 飯田市中央通り4丁目43番地 新星ビル4階
ホームページ	
主な活動分野	○地域安全(子どもの安全)
活動内容	○子どもの防犯意識高揚のためオリジナル防犯テキストの(小中学生用) 作成配布 ○学校の安全対策として、防犯機器の寄贈、防犯器具の考案及び寄贈 ○防犯意識高揚のための防犯ポスター・防犯カレンダーの作成支援 ○防犯教室、防犯訓練の共同開催、通学路防犯パトロール ○防犯テレビ番組の作成並びに放映
PRしたいこと	○子ども達を犯罪から守るためには、子ども達に対する防犯教育徹底するとともに、子ども達が自ら「自分の身体は、自分で守る」ことが最も大切であると考え、「イカのおスシ」の普及に努めている
他団体との連携が可能なこと・したいこと	○子ども達を守る各種地域ボランティア団体との連携・協力
困っていること	
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	

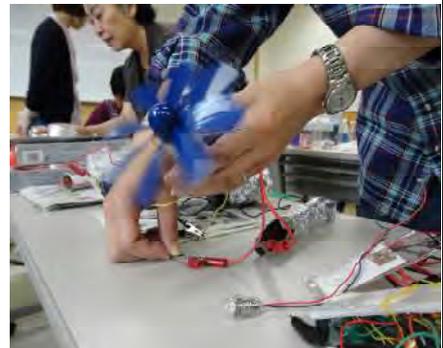


(ふりがな)	ななわのかい		
団体名称	特定非営利活動法人 七和の会		
認証年月日	平成20年 1月 22 日		
(ふりがな)	かわて としあき		
代表者氏名	川手 利明		
主な事務所の所在地	飯田市龍江8810番地4		
ホームページ			
主な活動分野	・地域住民の福祉増進・不動産の有効利用による地域活性化・地域資源の掘り起こしによる、地域振興・会員相互の連携		
活動内容	○天龍峡桜街道さくら祭り協賛 平成26年4月		
	○ほたる祭りの開催 平成26年6月28日(土)		
	○きのこ祭りの開催 平成26年10月13日(月)		
			
	○野菜の産直の店運営 野菜作りのメンバーです⇒		
PRしたいこと	<p>○27年度もほたる祭り、きのこ祭りを開催いたします。多くの人のご参加をお願いいたします。</p> <p>○産直の店は「ふれあい七話館」と称し毎週日曜日開店しています。地域の主婦を主体に活動しています。新鮮な野菜を販売していますが、口コミで現在販路拡大中です。また「ふるさと便」システムを作り飯田地方出身で関東・関西方面に在住する方に新鮮な野菜を送っています。</p> <p>開店直後完売したきのこ祭りのにぎわい⇒</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	ほたる祭りは平成24年度から龍江4区地域づくり委員会と共催しています。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	年会費・販売手数料が必要
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん らぶりーず		
団体名称	特定非営利活動法人 ラブリーズ		
認証年月日	平成24年 2月 28日		
(ふりがな)	むらい ともこ		
代表者氏名	村井 倫子		
主な事務所の所在地	〒395-0806 飯田市鼎上山4036 サロン花*花		
ホームページ	http://www.lovely-s.org		
主な活動分野	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援 ・高齢者支援 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て、高齢者のためのサロン運営 ・毎月1回「花*花通信」の発行 ・料理、ソーイングなどのワークショップ ・託児(サロン預かり、外部イベント託児請負等) ・家事代行(子育て世帯、高齢者世帯) ・子育て中の女性を対象とする起業応援セミナーなどの開催 <p>※別所にて宅老所を運営 宅老所 きらら (飯田市山本592-2)</p>		
PRしたいこと	<p>働くママさんたちのサポートをしています。お子さんを預けていただいて、ママに自由な時間を持ってもらいたい。また、子育て中の悩みを先輩おかあさんやママ友と共有する。</p> <p>サロン花*花はそんな人と人との交流と、時間の交流を目的としています。高齢者の方がひとりでは大変な家事も、ちょっとだけお手伝い。気軽にご相談いただきたいと考えています。</p> <p>お掃除、買い物など、主婦の目線でお手伝いいたします。</p> <p>さまざまな年齢の方たちと関わることで、毎日少しずつの楽しいとうれしさを増やしていきたい。それがわたしたちの思いです。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	現在、いろんな団体のみなさんからイベント時の託児をご依頼いただいております。今後、同じ方向性のみなさん方と一緒になにか企画して実行できればよいと考えています。		
困っていること	スタッフ不足 おかあさんたちの相互協力によってこれまで運営をしてきましたが、子育て注のおかあさんが働くということは、まだなかなかむずかしいです。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	サロン託児登録(預ける側)…入会金1000円/ お子さん1人につき1時間500円 イベント託児スタッフ(預かる側)…時給850円(交通費あり) 家事代行スタッフ…時給900円(交通費あり)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	サロン託児スタッフ(預かる側)…時給400円



(ふりがな) 団体名	かんきょう たいけん		
	特定非営利活動法人 環境わくわく体験スクール		
認証年月日	平成24年 4月 5日		
(ふりがな) 代表者氏名	ゆざわ まりこ		
	湯澤 眞理子		
主な事務所の所在地	〒395-0151 飯田市 北方 2645番地15		
主な活動分野	おやこ環境わくわく体験講座&環境・子育て講座		
活動内容	<p>(1) おやこ環境わくわく体験講座の提供 (環境への意識・実践力を高めることにつながる科学実験・科学工作などの体験活動や自然や生き物観察)</p> <p>①燃料電池を作ろう ②風力発電とミニ扇風機作り ③ソーラーカー作りとソーラークッカーで調理 ④静電気・フランクリンモーター実験 ⑤紫外線で色が変わるスライム作り&紫外線発色ビーズでストラップ作り ⑥果物電池時計 ⑦和紙で作る良く上る六角凧づくり ⑧草木で紙漉き・染物 ⑨LEDで光ファイバーイルミネーション作り ⑩廃油キャンドルとクリアキャンドル作り ⑪廃油石鹸づくりと大きなシャボン玉作り ⑫地球46億年の歴史と化石のレプリカ作り ⑬葉脈標本作りと森林の働き ⑭色々な発電比較実験 (燃料電池・火力発電・水力発電・温度差発電・フランクリンモーター・バケツ電池・お茶電池・墨電池・果物電池・風力発電・圧力発電・スライム電池・花力発電他) ⑮エコワットで調べる省エネ家電 ⑯星座観察会 ⑰植物や昆虫の観察 ⑱ペットボトルロケット作り ⑲再利用品で作るリュース笛&竹で作るウグイス笛 ⑳美味しい水と水質検査 ㉑電池のいらぬラジオ作り ㉒放射線測定と霧箱で放射線を見よう ㉓色水手品と酸性雨と緑の焼きそば ㉔ペットボトルで掃除機作り ㉕エネルギーカードゲーム・環境カルタ ㉖夜間表示版づくり ㉗液体窒素の超低温実験とリニアモーター ㉘二酸化炭素による温暖化実験・雲の発生実験とサイダー作り ㉙二酸化炭素の性質を知るわくわく実験 ㉚ダイオキシンの塩化ビニール ㉛虫型ロボット作り ㉜牛乳パックで、箱カメラ作り ㉝牛乳パックで、おしゃべり貯金箱づくり ㉞共振振り子とイラキラモビール作り ㉟べっこう飴作り・エコクッキングと食品添加物 ㊱糸で洗剤のいらぬたわし編み ㊲間伐材でマイ箸作り 他多数開発中</p> <p>(2) 環境・子育て講座の提供</p> <p>・環境先進国デンマークという国 ・子どもの発達と環境と教育の在り方 ・地球温暖化の現状と環境・桐林リサイクルセンターの取り組みと3R 他</p>		
PRしたいこと	<p>☆桐林リサイクルセンターにて、月2回程度「親子環境わくわく体験講座」行い、環境のことを楽しく学習でき、親子のふれあいができると好評をいただいています。本年度は、講師陣の充実のもと、500名以上の皆さんにご参加いただきました。学校配布のチラシや「週刊いいだ」等のお知らせをご覧いただき、お申込み下さい。出前講座(親子レク・理科授業・保育活動等)もご利用下さい。</p> <p>☆詳しくは下記までお問い合わせください。</p> <p><連絡先> 桐林リサイクルセンター TEL: 0265-26-1050 FAX: 0265-26-1050</p>		
他団体との連携	・出前講座		
困っていること	・経費面		
会員募集	○	条件等	どなたでも、大歓迎です！講師としてもご活躍いただきたい。
ボランティア募集	○	条件等	どなたでも、大歓迎です！



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん けああんどきゅあ		
団体名称	特定非営利活動法人 ケアアンドキュア		
認証年月日	平成 25年 2月 18日		
(ふりがな)	はら ゆきお		
代表者氏名	原 幸夫		
主な事務所の所在地	飯田市北方1270番4号		
ホームページ			
主な活動分野	①保健・医療・福祉 ⑥災害救援		
活動内容	現在、NPOとしての活動は未実施です。		
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん ひよりこうせいかい		
団体名称	特定非営利活動法人 日和向晴会		
認証年月日	平成26年5月21日		
(ふりがな)	おかだ ちずこ		
代表者氏名	岡田 千寿子		
主な事務所の所在地	飯田市 座光寺1419-1		
ホームページ	現在製作中 (http://www.hiyorikoseikai.org)		
主な活動分野	障害福祉全般		
活動内容	<p>1.保険、医療または福祉の増進を図る活動 2.学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 3.社会教育の推進を図る活動 4.子供の健全育成を図る活動 5.職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動</p> 		
PRしたいこと	<p>様々な体験を積み重ねていながら、自分の持てる力を、自分の持てる力を存分に発揮し、家族や仲間たちとともに、ひとりひとりが「生きる底力」を身につけ「自分色」で輝いていくことができるよう、多角的に支援していきます。また、ひとりひとりの思いを汲み取り、それに寄り添い既存の事業の他に、それに答えることのできる新しい事業を作り出していき、専門技術の向上や、より良い福祉の実現に向かって、柔軟な事業展開を行っていきます。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流- ・地元民間企業との連携- ・情報発信基地として学習・交流の場に- 		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特になし
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特になし

人と人が手をこぎつないで結び合っています。そしてリンゴの形が「結」に昇華することをイメージしています。多様な主体の協働とムトスの精神が、まちづくりの輪をこぎつないでまわっています。




ムトス飯田ロゴマーク
















～「ムトス」は 地域づくりの合言葉～

ムトス飯田

多様な主体の協働によるまちづくり

飯田の語源とも言われる「結い」は、「多くの人の協力と役割分担により一つの事を成し遂げる仕組み」であり「協働」です。その前提には一人ひとりの「自立」が欠かせません。飯田のまちづくりの底流には、この長い歴史が息づいています。

●ムトスとは

「ムトス」とは、広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味であり、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は昭和57年「10万都市構想」において理想とする都市像の実現に向けての行動理念として「ムトス」を使用しました。平成19年4月1日施行の飯田市自治基本条例にもムトスの精神について謳われています。「ムトス」を地域づくりの合言葉に、私たち一人ひとりが持つ「愛する地域を想い、自分ができることからやってみよう」という自発的な意志や意欲により、具体的な行動で地域づくりをしていくことをめざします。

<p>■ムトス飯田表彰事業</p> <p>「ムトス飯田の精神を広めるために」という寄付を契機に、昭和60年度に創設されました。毎年、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰しています。</p>	<p>■ムトス飯田助成事業</p> <p>ムトス飯田推進委員会は、飯田市の交付金を財源に、団体や個人による独創的で波及効果のあるまちづくり活動に対して、助成をしています。</p>
<p>■ムトス飯田交流会・学習会</p> <p>市民協働や相互連携を築くことを目的に、毎年、多くの市民や団体等と呼びかけて、実践事例や課題などを語り合う交流会（または学習会）を開催しています。</p>	<p>■一般社団法人 ムトス飯田市民ファンド</p> <p>市内の特定非営利活動法人を対象に、200万円まで「無利子の融資」（貸金業）をしています。</p>

ムトス飯田推進委員会

〒395-8501 飯田市大久保町 2534 飯田市役所内 電話 0265-22-4511

ムトス飯田30周年記念 2015.2作成

ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう！市民協働を推進します